

事後調査報告書（工事の施行中その5）
－（仮称）神宮外苑地区市街地再開発事業－

調査項目 土壌汚染、生物・生態系（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちよう並木の保全状況（4列）、自然との触れ合い活動の場、廃棄物、環境保全のための措置（大気汚染、騒音・振動）

環境影響評価書の提出 令和5年 1月10日

事後調査計画書の提出 令和5年 1月17日

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

1.1 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名称：三井不動産株式会社

代表者：代表取締役社長 植田 俊

所在地：東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

名称：宗教法人明治神宮

代表者：宮司 九條 道成

所在地：東京都渋谷区代々木神園町1番1号

名称：独立行政法人日本スポーツ振興センター

代表者：理事長 芦立 訓

所在地：東京都新宿区霞ヶ丘町4番1号

名称：伊藤忠商事株式会社

代表者：代表取締役 小林 文彦

所在地：東京都港区北青山二丁目5番1号

1.2 代表する事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名称：三井不動産株式会社

代表者：代表取締役社長 植田 俊

所在地：東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

2. 対象事業の名称及び種類

名 称：(仮称)神宮外苑地区市街地再開発事業

種 類：高層建築物の新築、自動車駐車場の設置

3. 対象事業の内容の概略

本事業は、東京都港区北青山一丁目、北青山二丁目、新宿区霞ヶ丘町の各一部に位置する計画地面積約 174,700m²の土地に、スポーツ施設、オフィス、商業、宿泊施設、駐車場等を主要な用途とする建築物を計画するものである。

対象事業の内容の概略は、表-1 に、建築計画の概要は、表-2 に、計画地の位置は、図-1 に、現況図（着工前）は、図-2 に示すとおりである。

また、配置計画は、図-3 に、断面図は、図-4(1)～(4)に、緑化計画は、図-5 及び表-3 に示すとおりである。

表-1 対象事業の内容の概略

項 目	内 容
計 画 地	東京都港区北青山一丁目、北青山二丁目、新宿区霞ヶ丘町の各一部
計 画 地 面 積	約174,700m ²
延 床 面 積	約560,800m ²
最 高 高 さ	約190m
主 要 用 途	スポーツ施設、オフィス、商業、宿泊施設、駐車場等
駐 車 台 数	約1,070台
工 事 予 定 期 間	2023年～2037年（令和5年～令和19年）
供 用 時 期	2037年（令和19年）（全体供用予定）

注1) 変更届（令和7年9月）の変更内容を反映している。

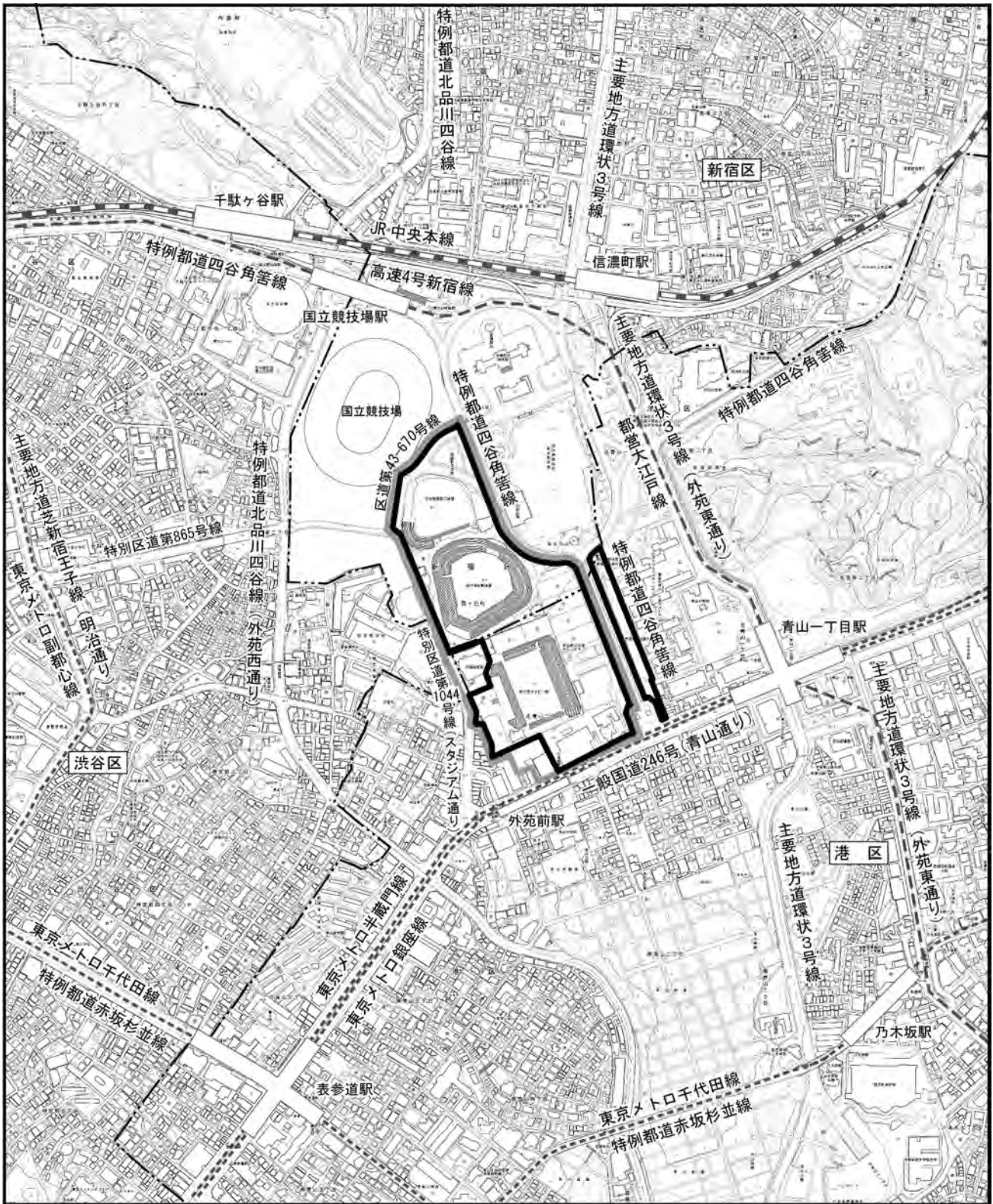
注2) 今後、関係者協議等により変更になることがある。

表-2 建築計画の概要

項目	ラグビー場棟	複合棟A	複合棟B	文化交流施設棟	野球場棟及び球場併設ホテル棟	事務所棟
計画地面積	約174,700m ²					
延床面積	約72,500m ²	約127,300m ²	約30,300m ²	約2,000m ²	約115,700m ²	約213,000m ²
	合計 約560,800m ²					
最高高さ	約48m	約185m	約80m	約6m	約60m	約190m
主要用途	ラグビー場、文化交流施設、商業、駐車場等	オフィス、商業、駐車場等	宿泊施設、スポーツ関連施設、駐車場等	公園支援施設、商業等	野球場、宿泊施設、商業、駐車場等	オフィス、商業、駐車場等
階数	地上8階 地下1階	地上40階、 地下2階、 塔屋1階	地上18階、 地下1階、 塔屋1階	地上1階	地上14階、 塔屋1階、 地下1階	地上38階、 地下5階
構造	RC造、S造	S造、SRC造	S造、SRC造	S造、SRC造	RC造、SRC造	S造、SRC造
駐車台数	合計 約1,070台					

注1) 変更届（令和6年9月）の変更内容を反映している。

注2) 今後、関係者協議等により変更になることがある。



凡例



計画地

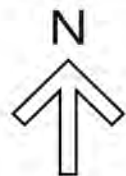


神宮外苑地区地区計画に定める神宮外苑地区 (b区域) の範囲



区界

注) b区域とは、神宮外苑地区地区計画に定めた、神宮外苑地区内の緑豊かな風格ある都市景観を保全しつつ、スポーツクラスターと魅力ある複合市街地を実現することを目標に、既存スポーツ施設で現在行われている競技の継続に配慮しながら、関係者が相互に連携・協力してまちづくりを進める区域。

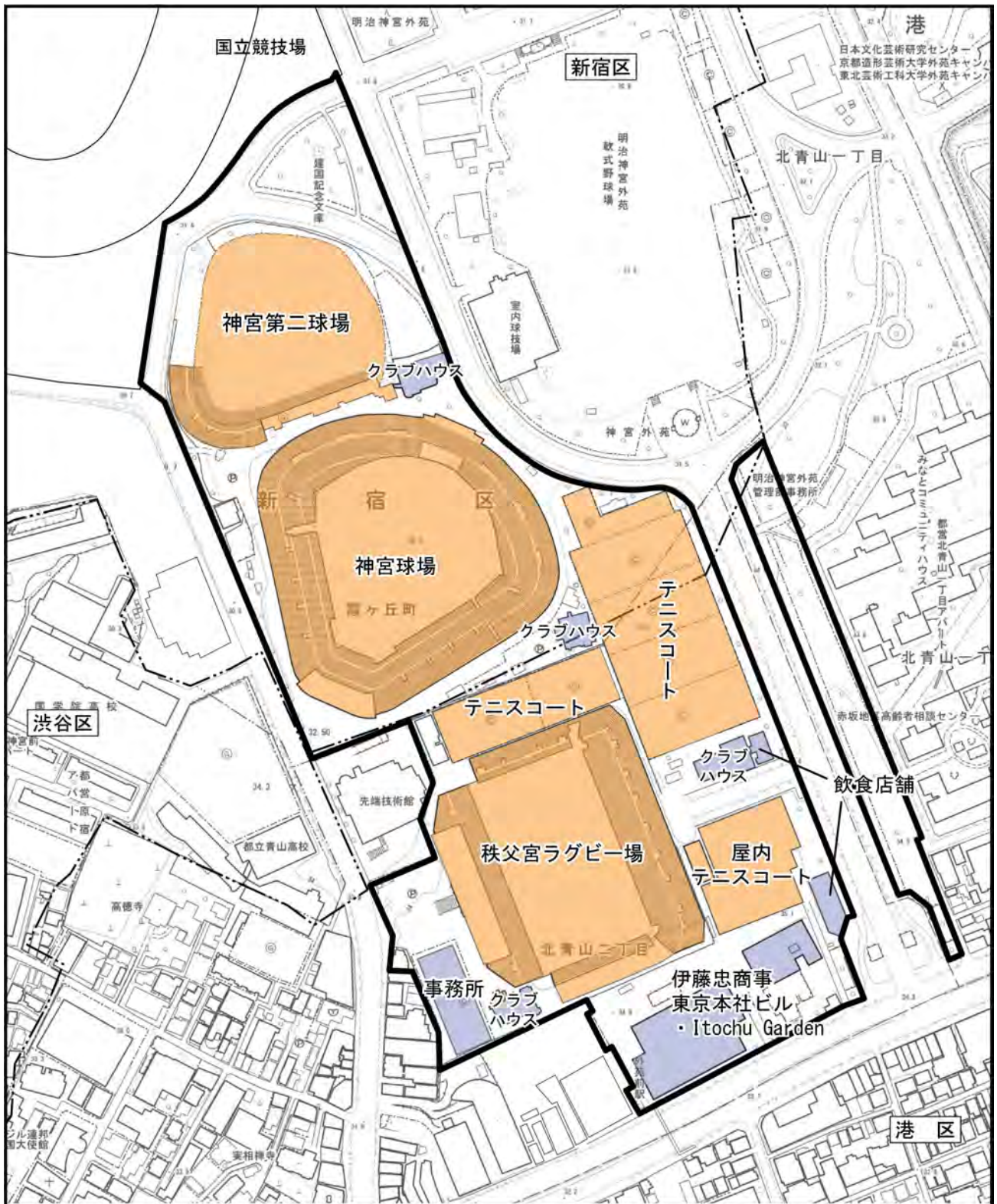


S=1/12,000





0 100 200 300m

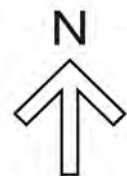


図-1 計画地位置図



凡例

-  計画地
-  区界
-  スポーツ施設
-  スポーツ施設以外の施設



S = 1 / 4,000

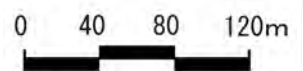
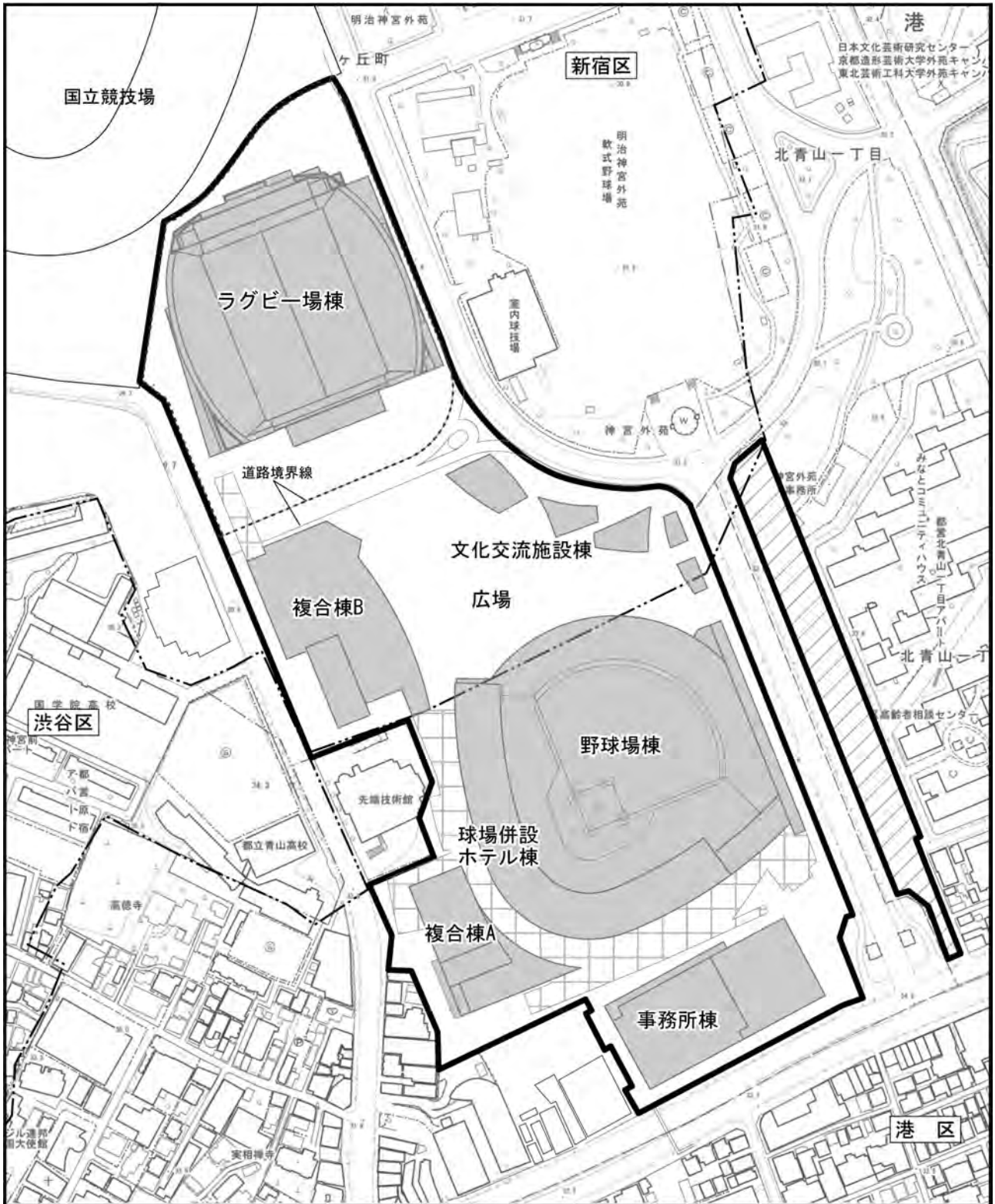


図-2 現況図 (着工前)



<p>凡例</p> <p> 計画地 区界 ラグビー場棟敷地範囲 建築物 デッキ 緑地 </p>		<p>N</p> <p>S = 1 / 4,000</p> <p>0 40 80 120m</p>
<p>注1) 変更届(令和6年9月)の変更内容を反映している。</p> <p>注2) 計画については今後変更の可能性がある。</p>		

図-3 配置計画図

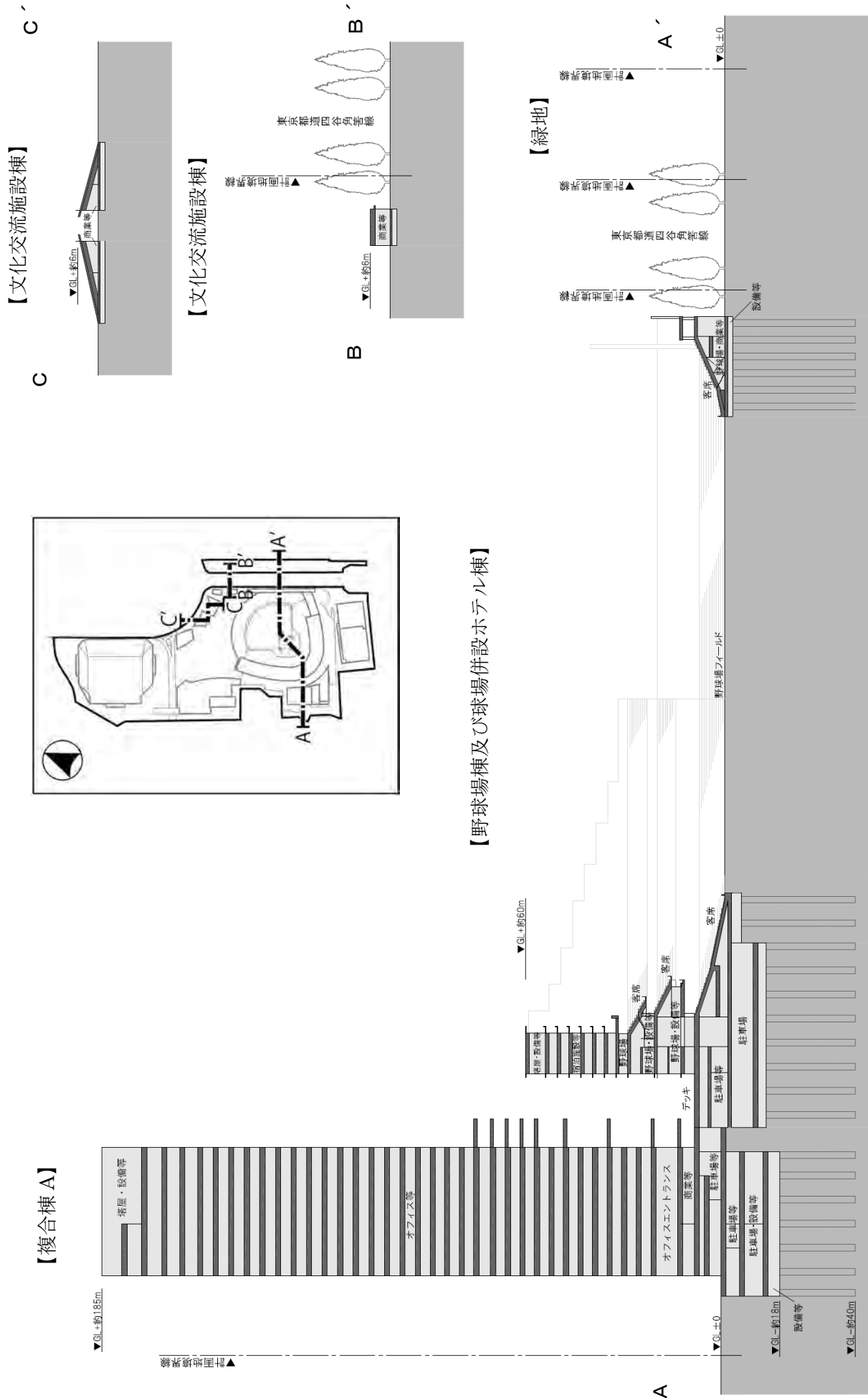


図-4(1) 断面図(A-A'、B-B'、C-C') S=1/1,600

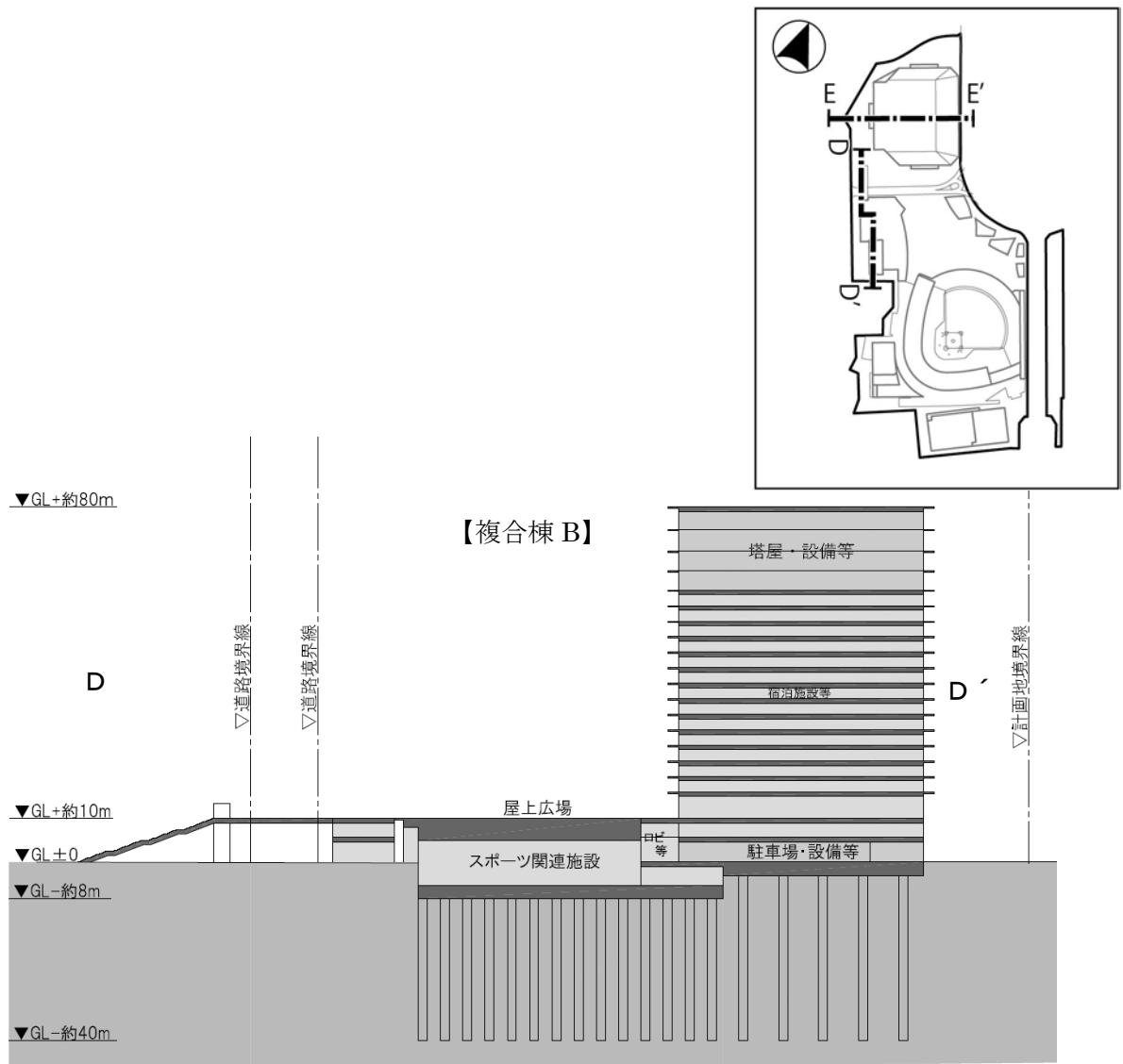
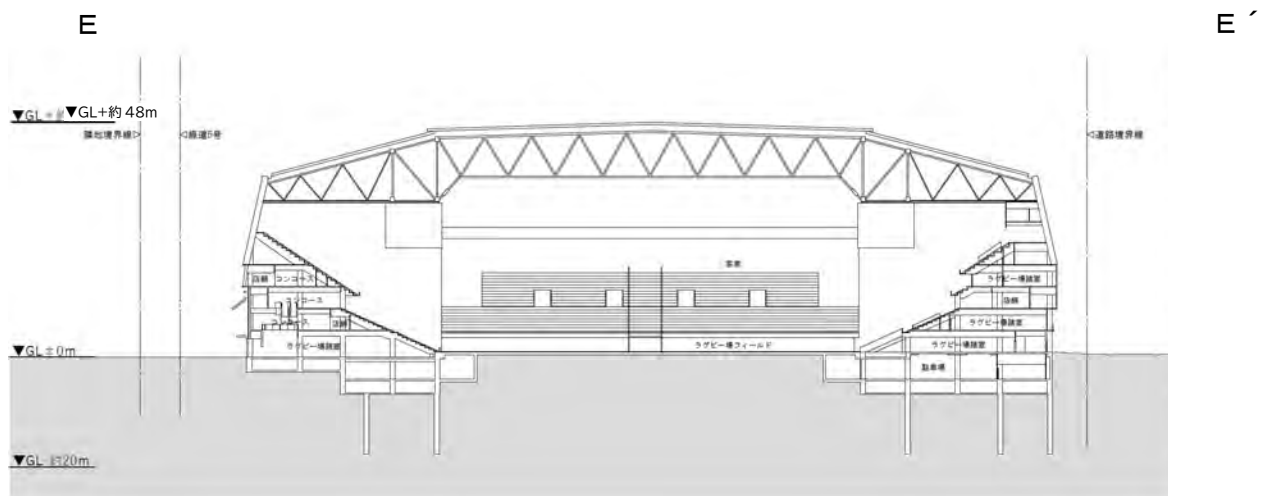


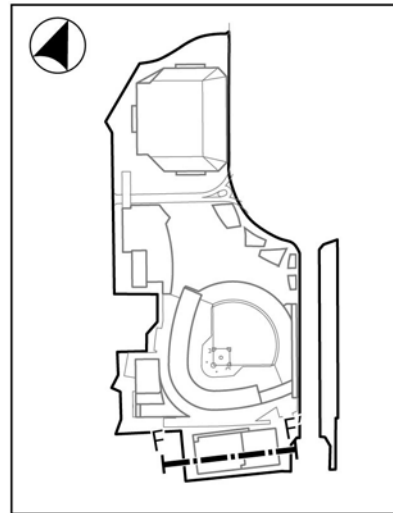
図-4(2) 断面図(D-D') S=1/1,600

【ラグビー場棟】



注) 変更届 (令和6年9月) の変更内容を反映している。

図-4(3) 断面図(E-E') S=1/1,600



【事務所棟】

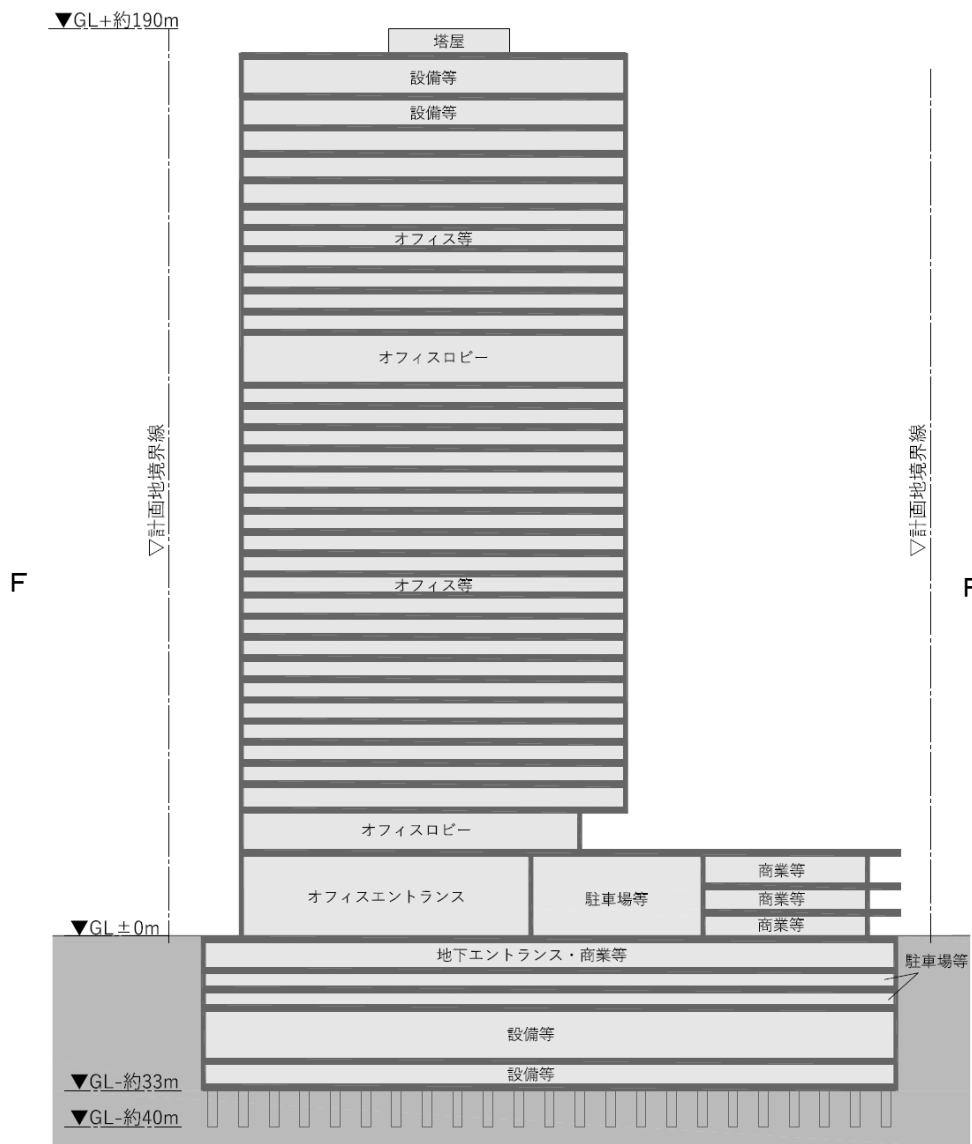
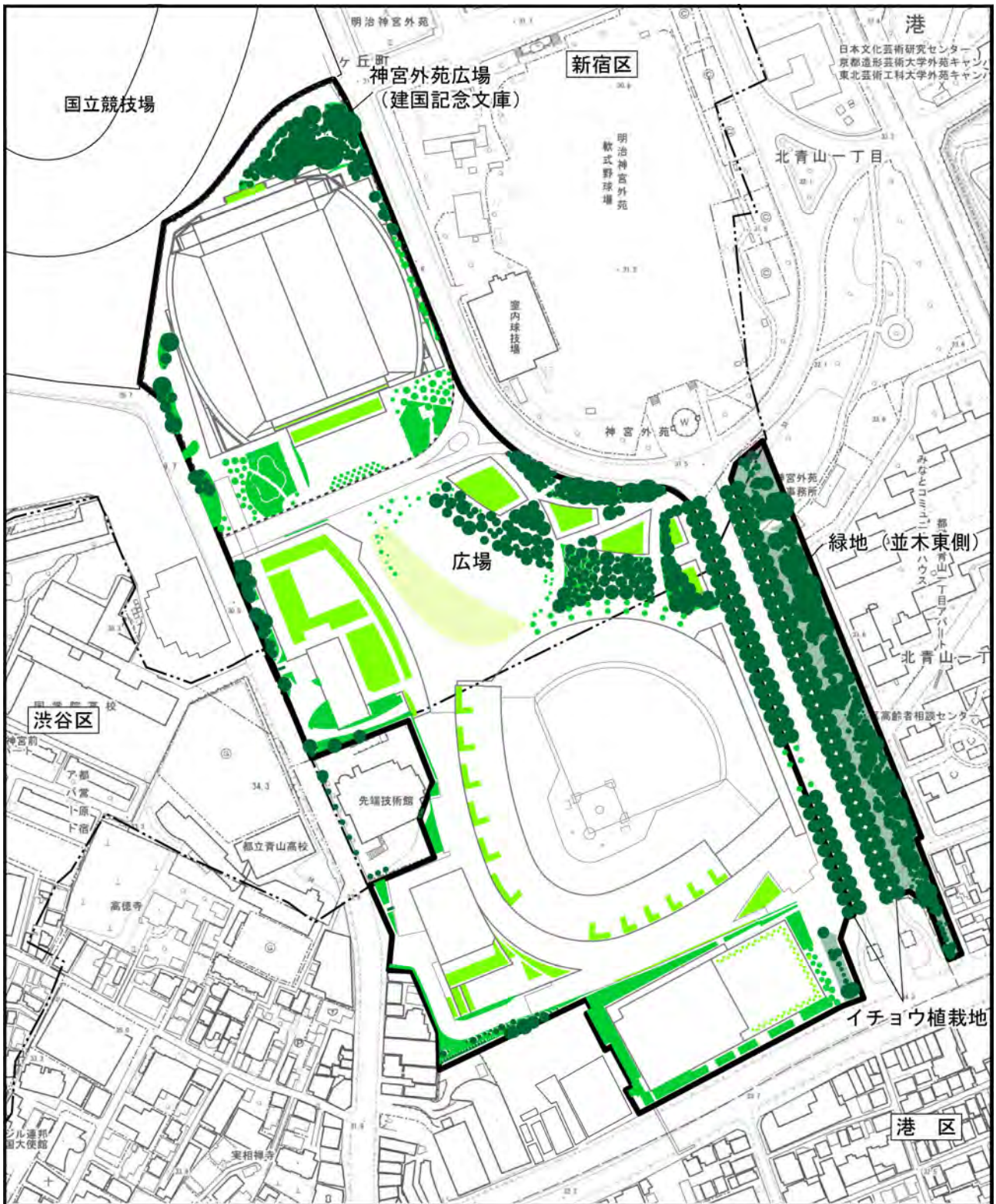


図-4(4) 断面図(F-F') S=1/1,600



凡例		
計画地	地上部緑化 (既存または移植)	屋上緑化
区界	地上部緑化(既存)注1)	芝生
ラグビー場棟 敷地範囲	地上部緑化(新規)	

注1) 既存のみどりを活用した緑地(並木東側)エリア。
 注2) 変更届(令和6年9月)の変更内容を反映している。
 注3) 計画については今後変更の可能性がある。
 注4) 本報告において、一部樹木の移植実施を記載しているが、その移植等に係る緑化計画の変更については、評価書に記載のエリアごとの整備方針等に基づく検討の深度化に合わせて、今後の変更届等において変更する予定である。

N

S = 1/4,000

0 40 80 120m

図-5 緑化計画図

表-3 計画緑化面積及び必要緑化面積

根拠法令	計画緑化面積	必要緑化面積
「港区みどりを守る条例」	【緑化面積】 約 29,032m ² 注2) 【地上部緑化面積】 約 18,554m ² 注2) 【接道部緑化延長】 約 720m	・基準緑化面積 約 25,892m ² ・基準接道部緑化延長 約 665m
「新宿区みどりの条例」	【緑化面積】 約 9,217m ² 【地上部緑化面積】 約 6,546m ² 【接道部緑化延長】 約 503m	・基準緑化面積 約 9,036m ² ・基準接道部緑化延長 約 446m
「東京都都市開発諸制度に基づく再開発等促進区の緑化基準」 「東京 2020 大会後の神宮外苑地区のまちづくり指針」	【合計緑化面積】 約 31,701m ² 【建築物上緑化面積】 約 9,311m ² 注1) 【地上部緑化面積】 約 22,390m ²	・合計緑化基準面積 約 29,423m ² ・建築物上緑化基準面積 約 12,169m ² ・地上部緑化基準面積 約 17,254m ²
「東京都風致地区条例による緑化基準」	【合計緑化面積】 約 30,705m ² 【建築物上緑化面積】 約 1,128m ² 【地上部緑化面積】 約 29,577m ²	・合計緑化基準面積 約 23,568m ²

注 1) 東京都都市開発諸制度に基づく再開発等促進区の緑化基準については、合計緑化面積が基準に適合しているかで判断される。

注 2) 計画地全体の緑化面積を記載しているため、港区みどりを守る条例の対象とならない並木東側敷地の緑地面積も含む。

注 3) 計画については今後変更の可能性がある。

4. 事後調査の結果

本事後調査は、工事施行中の令和6年12月から令和7年12月末までの土壌汚染及び、令和7年3月から令和7年12月末までの生物・生態系（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列））、令和6年12月から令和7年12月末までの自然との触れ合い活動の場、廃棄物、環境保全のための措置（大気汚染、騒音・振動）の調査結果である。ただし、生物・生態系のうち、既存樹木の状況（秩父宮ラグビー場東側の港区道等のイチョウの移植検討のための調査及び措置の概要）については、令和8年2月末までとした。調査結果の概略を以下に示す。

4.1 土壌汚染

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場、秩父宮ラグビー場の区域において、土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく土壌汚染調査を行った結果、鉛（含有量）による土壌汚染が見つかった。

土壌汚染が見つかった区画のうち、一部の区域（神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場）については、土壌汚染対策法及び環境確保条例に基づき「汚染拡散防止計画書」を作成し、関係機関と調整を行ったうえで土壌汚染対策（掘削除去）を実施した。その区域については令和6年4月19日及び令和7年1月28日に「形質変更時要届出区域」の指定が解除された（東京都告示第573号、第52号）。

秩父宮ラグビー場を含む計画地全体の区域については、今後の工事の進捗に応じて事後調査報告書において適宜報告していく予定である。

4.2 生物・生態系

(1) 既存樹木の状況

計画地全体の既存樹木の状況については、下記の1)～4)に示すとおりである。なお、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び4列いちょう並木の状況については、「(2)神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況」「(3)いちょう並木の保全状況（4列）」に記載のとおりである。

1) 既存樹木の本数

既存樹木の本数については、変更届（令和6年9月）時点においては存置が616本、移植が193本、移植検討が19本、伐採が511本であったが、変更届（令和6年9月）以降、枯損等（立ち枯れや腐朽等）が16本増加したことに伴い、存置が608本、移植が193本、移植検討が19本、伐採が503本となった。枯損等により、存置が8本、伐採が8本減少している。

また、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木87本の移植、62本の伐採作業を実施済みである。

2) 保全管理の状況及び保全管理方針

樹勢が弱っている樹木に対しては、施肥を実施するとともに、病虫害防除策（キクイムシ侵入防除策）を実施している。

今後も保全管理方針として、樹勢が弱っている樹木に対して施肥の実施、定期巡回による病虫害被害状況を確認するとともに、病虫害防除策の実施、定期剪定による樹木の生育環境の保全を実施する予定である。

3) 移植樹木の状況

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の 96 本の移植樹木のうち、90 本については令和 7 年 6 月末までに仮移植及び本移植を行い、事後調査報告書（工事の施行中その 4）において報告を行った。令和 7 年 7 月以降、残りの 6 本について本移植を行うとともに、ラグビー場棟敷地西側に仮移植していた 11 本について、神宮外苑広場（建国記念文庫）へ本移植を行った。これにより、移植計画に示した 96 本（本移植 87 本、仮移植 9 本）について、移植が完了した。

移植対象の 96 本の樹木のうち 92 本について、令和 7 年に移植後のモニタリング（活力度調査）を実施した。

樹勢、樹形、枝葉の密度、葉の色の評価については、「優」から「やや不良～不良」であり、先端の衰弱枯損については、「優」から「不良」、大枝の枯損については「優」から「やや不良」であった。また、支柱の状況は全て「優」であった。

項目によって「やや不良」「やや不良～不良」「不良」と評価される樹木もあるが、移植後の根の活着、枝葉伸長による樹形再生には数年かかるため、このような評価となったと考えられる。

移植した樹木については現時点で枯損等は生じておらず、灌水の実施や下草との水分競合をなくすため、除草を実施する等、適切な管理を行っている。

4) 秩父宮ラグビー場東側の港区道等のイチョウの移植検討のための調査及び措置の概要

ア) 調査及び措置の概要

秩父宮ラグビー場東側に所在する港区道等のイチョウ（19本）^{注）}は、環境影響評価書において「移植を検討する樹木」として位置づけており、野球場棟の工事着手前までに野球場棟北側エリアに移植することを検討している。

事後調査報告書（工事の施行中その3）で報告したとおり、移植を検討するにあたり令和7年2月において、イチョウ2本（西15、西22）に対し、根や土壌の現況確認、樹木周囲一部の根回し、樹勢助長措置を実施するとともに、令和7年3月～令和8年2月において、効果検証のための維持管理・継続調査を行った。継続調査の結果はイ)に示すとおりである。

また、令和8年2月においては、残りのイチョウの17本に対し、エ)に示すとおり樹勢助長措置を実施した。

イ) 継続調査の結果

①発根調査

令和7年2月にイチョウ2本の樹木周囲一部の根回し、樹勢助長措置を実施し、令和7年6月及び12月に根回し部の一部を掘削し、露出面の状況を観察した。畔シートの内側に約15cm程度充填したバーク堆肥に新たな根系伸長が見られるかどうかの確認を行った結果、6月時点ではまだ露出面の根系確認はできなかったものの、12月時点では、西15、西22ともに細根の発達が確認できた。土壌的には歩道、車道下部の赤土は良好で、根系の発達も確認されていること等から、当該2本の調査結果や樹木医の意見などから判断すると、現時点で同様の生育環境にある港区道内の18本のいちょうの移植は可能と考えられ、さらに港区道外の1本（T01-38）も含め、全19本の移植を検討していく。

②デンドロメーターによる幹周調査結果

令和7年2月に樹勢助長措置を実施したイチョウ2本（西15、西22）について、デンドロメーターによる幹周調査を実施した。また、比較対象として、隣接するイチョウ（西14、西23）についても同様に幹周調査を実施した。

時間の経過に伴う成長比の増加を確認するため、単回帰分析を実施したところ、令和7年2月に樹勢助長措置を実施したイチョウ2本について見ると、西15の傾きが0.0202と調査した4本の中で最も高く、順調な生育を示している。西22は-0.001とマイナスの傾きであり、現時点では樹勢助長措置の効果は見られていないものの、今後も継続して確認する予定である。

上記の2本に隣接した、令和7年2月に樹勢助長措置を実施していないイチョウ

注) 港区道イチョウ18本及び明治神宮外苑敷地内イチョウ1本、合計19本

ウについては、西 23 の成長比がプラスの傾きで 0.0175、西 14 は-0.0024 とマイナスの傾きであった。

幹周については今後も継続的に観測していく計画である。

ウ) 活力度調査の結果

活力度調査の結果、港区道沿いの 18 本については令和 7 年 5 月～10 月にかけて活力度 A（正常なもの）～活力度 B（普通、正常に近い）で推移していた。

エ) 樹勢助長措置

①実施期間

令和 8 年 2 月

②対象位置

秩父宮ラグビー場東側に所在する港区道等のイチョウのうち、令和 7 年に先行して調査・措置を行った 2 本（西 15 及び西 22）以外の 17 本を対象とした。

③措置の内容

・港区道内 16 本（西 11～西 28^{注1}）

港区道内の 16 本については、歩道側の舗装部と砕石部を深さ 0.3m 内外まで撤去し、良質の土壌と入れ替え、イチョウの根系にとって良好な土壌環境へ改善を図った。また、緑地帯のヘデラ類を除去し、水分競合の対策を行うとともに、水圧式土壌改良の実施、稲藁マルチングの敷設、灌水設備の設置を行い、乾燥防止および適正な水分供給を図った。

・明治神宮外苑敷地内 1 本（T01-38^{注2}）

明治神宮外苑敷地内の 1 本については港区道内の 16 本と生育環境が異なり、いちよう並木沿道店舗内に植えられており、かつ当該店舗のデッキ内部分に根が存在するため、デッキ内に灌水設備を設置し、水分供給による乾燥防止対策を行った。

注1 先行して樹勢助長措置を行った西 15、西 22 を除く。

注2 環境影響評価書に示した毎木調査票の樹木番号であり、T01-38 は 4 列いちよう並木西側店舗付近のイチョウである。

(2) 神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場の樹木については、事後調査報告書（工事の施行中その4）の移植計画に示した96本（本移植87本、仮移植9本）について、全ての移植が完了している。これら移植が完了した樹木については養生を行っている。また、伐採対象とした樹木62本についても全て伐採が完了している。

移植木の養生の状況については、事後調査報告書（工事の施行中その2及びその3）で報告したとおり、根鉢上に稲藁にてマルチングを行うとともに、灌水を週1～2回程度実施している。これにより、根鉢周りの乾燥を防ぎ、土壌の温度調整を行っている。また、除草及び病害防除対策を適宜実施している。なお、移植樹木について、現時点で枯損しているものはない。

樹木については日常管理として、巡回を実施するとともに、枝葉の剪定や、枯枝除去を行っている。また、これらの作業のため、神宮外苑広場（建国記念文庫）を含むラグビー場棟Ⅰ期工事敷地へ仮囲いを設置し、閉鎖管理を行っている。

(3) いちょう並木の保全状況（4列）

4列いちょう並木の活力度調査は、事後調査計画では工事の施行中の毎年6月頃に調査を実施する予定であるが、令和5年及び令和6年と同様に事後調査計画の調査回数を変更し、春（5月）、夏（7月）、秋（10月）の3回調査を実施した。活力度の状況を詳細に把握するため、いちょう並木の景観を維持する目的で剪定により樹形を整えている先端部（頂部）と、自然な樹形を整えているそれ以外の部分（頂部以外）に分けて調査した上で、評価書と同様に全ての項目の平均評点を総合評価とした。

4列いちょう並木の活力度は、令和7年5月時点では活力度A（正常なもの）が108本、活力度B（普通、正常に近い）が20本、活力度C（悪化のかなり進んだもの）が0本、活力度D（顕著に悪化の進んでいるもの）が0本であった。令和7年7月時点では活力度Aが110本、活力度Bが17本、活力度Cが1本、活力度Dが0本であった。令和7年10月時点では活力度Aが88本、活力度Bが35本、活力度Cが5本、活力度Dが0本であった。

活力度Cとなった5本のいちょうについては、先端部（頂部）は活力度C～Dであるのに対し、それ以外の部分（頂部以外）は活力度B～Cであり、先端部（頂部）の活力度がそれ以外の部分（頂部以外）に対して悪くなっている。

春季については活力度Aが令和5年5月の1本から令和7年5月では108本と増加傾向にあり、7月時点においても同様に活力度の改善がみられる。10月時点においては令和6年から令和7年にかけて活力度Cが4本から5本に増加したものの、活力度Aが75本から88本に増加しており、全体としては活力度の改善がみられる。

これについては、ヘデラの除去や稲藁マルチング、灌水など、令和6年及び令和7年に事業者にて実施した樹勢回復措置の実施の効果も考えられる。

春季、夏季、秋季ともに、4列のいちょう並木のうち東側2列は活力度AまたはBで

ある。西から2列目については概ね活力度AまたはBであるが、西から1列目の一部で活力度Cが出現している。

上記の活力度Cとなっているいちょうは、令和5年及び令和6年の活力度調査で活力度CまたはDと診断されたいちょうであり、事後調査報告書（工事の施行中その2）において報告したとおり、検査機関に照会した結果、病虫害ではないことが確認されている。

また、事後調査報告書（工事の施行中その2及びその3）で報告したとおり、活力度の低下したいちょうに対しては、いちょう周囲の灌水、液体肥料の施肥等を実施するとともに、4列いちょう並木西側1列（縁石から約10.5mまで）のうち秩父宮ラグビー場東側の港区道より北側部分について、下記に示す樹勢回復措置を継続実施中である。

- ・稲藁マルチングによる乾燥防止等の対応
- ・自動灌水装置の設置（4列いちょう並木西側店舗前においては舗装ブロックを外し灌水装置を設置）

さらに、土壌水分の測定や成長量の把握及び樹勢回復措置に伴う効果の確認のため幹周を測定する観測装置（デンドロメーター）を設置し、定期的にモニタリングを実施している。

なお、下記に示す樹勢回復措置を実施済みである。

- ・ヘデラとの水分競合をなくすため、ヘデラを除去するとともに、土壌をほぐす等の土壌改良措置（水圧穿孔）を実施
- ・埋設されている旧通路等を撤去し、根系域を確保
- ・4列いちょう並木西側店舗テラス部分のインターロッキングを撤去し、根系への踏圧対策を目的とした浮き床構造のウッドデッキを設置

4.3 自然との触れ合い活動の場

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施するとともに、神宮第二球場の解体工事が終了している。新築工事に備え、ラグビー場棟Ⅰ期工事敷地となる歩道の閉鎖を行っているが、交通整理員を配置するとともに迂回路への誘導を行い、歩行者の通行に支障がないように配慮している。

それ以外の場については、周辺の緑地や広場について改変は行われておらず、上記以外の場所の歩道の閉鎖は行っていないため、自然との触れ合い活動の場までの利用経路は確保されている。

以上のことから、予測結果のとおり、自然との触れ合い活動の場までの利用経路に著しい影響を及ぼしていないものとする。

4.4 廃棄物

令和7年12月末時点では神宮第二球場の解体工事が終了した段階であり、全ての工区の解体工事が終了した時点で予測結果との比較を行うが、参考までに現時点で比較すると、建設廃棄物の総発生量は予測結果のコンクリート塊 150,560m³、それ以外が 38,230t に対して事後調査結果がコンクリート塊 18,105m³、それ以外が 340t であり、事後調査結果が予測結果を下回っている。

また、解体工事に伴い、石綿含有産業廃棄物が発生した。石綿含有産業廃棄物については、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」(令和6年2月改正 厚生労働省、環境省)、「建築物の解体等に係る石綿(アスベスト)飛散防止対策マニュアル」(令和4年3月 東京都)等に基づき撤去し、適正に処分を行った。

4.5 環境保全のための措置

(1) 大気汚染

令和6年12月から令和7年12月末までの間に大気汚染に関する苦情は寄せられなかった。

(2) 騒音・振動

令和6年12月から令和7年12月末までの間に騒音・振動に関する苦情は寄せられなかった。

5. その他

5.1 事後調査を実施した者及び受託者の名称、代表者の氏名並びに主たる事務所の所在地

[実施者]

名 称：三井不動産株式会社

代表者：代表取締役社長 植田 俊

所在地：東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

名 称：宗教法人明治神宮

代表者：宮司 九條 道成

所在地：東京都渋谷区代々木神園町1番1号

名 称：独立行政法人日本スポーツ振興センター

代表者：理事長 芦立 訓

所在地：東京都新宿区霞ヶ丘町4番1号

名 称：伊藤忠商事株式会社

代表者：代表取締役 小林 文彦

所在地：東京都港区北青山二丁目5番1号

[受託者]

名 称：株式会社 日建設計

代表者：代表取締役社長 大松 敦

所在地：東京都千代田区飯田橋二丁目 18 番 3 号

5.2 添付資料等一覧

5.2.1 事後調査結果

- (1) 事後調査結果 土壌汚染（別紙1）（p. 21～p. 28）
生物・生態系（別紙2）（p. 29～p. 66）
自然との触れ合い活動の場（別紙3）（p. 67～p. 74）
廃棄物（別紙4）（p. 75～p. 83）
環境保全のための措置（別紙5、6）（p. 85～91）
- (2) 環境影響評価手続等の状況（別添）（p. 93）
- (3) 許認可の状況（別添）（p. 93）
- (4) 工事及び事後調査の進捗状況（別添）（p. 94～p. 99）
- (5) 資料編（p. 101～p. 268）

5.3 連絡先

名称：三井不動産株式会社

住所：東京都中央区日本橋室町 3-2-1

担当部署及び連絡先：神宮外苑地区まちづくり準備室 03-6695-0539

事後調査の結果

調査項目：土壌汚染

調査した事項：汚染土壌の掘削・移動等に伴う土壌への影響の内容及び程度

1. 調査地域

計画地内とした。

2. 調査手法

2.1 調査事項

(1) 予測した事項

1) 汚染土壌の掘削・移動等に伴う土壌への影響の内容及び程度

(2) 予測条件の状況

1) 掘削工事の実施状況

(3) 環境保全のための措置の実施状況

2.2 調査時点

(1) 予測した事項

1) 汚染土壌の掘削・移動等に伴う土壌への影響の内容及び程度
令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの期間とした。

(2) 予測条件の状況

1) 掘削工事の実施状況

令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの期間とした。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの工事の施行中の随時とした。

2.3 調査地点

- (1) 予測した事項
 - 1) 汚染土壌の掘削・移動等に伴う土壌への影響の内容及び程度
計画地内とした。

- (2) 予測条件の状況
 - 1) 掘削工事の実施状況
計画地内とした。

- (3) 環境保全のための措置の実施状況
計画地内とした。

2.4 調査方法

- (1) 予測した事項
 - 1) 汚染土壌の掘削・移動等に伴う土壌への影響の内容及び程度
関連資料の整理による方法とした。

- (2) 予測条件の状況
 - 1) 掘削工事の実施状況
関連資料の整理による方法とした。

- (3) 環境保全のための措置の実施状況
関連資料の整理による方法とした。

3. 調査結果

3.1 事後調査の結果の内容

(1) 予測した事項

1) 汚染土壌の掘削・移動等に伴う土壌への影響の内容及び程度^注

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場、秩父宮ラグビー場の区域において、土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく土壌汚染調査を行った結果、図1-1、1-2に示すオレンジ色の区画において鉛（含有量）による土壌汚染が見つかった。基準値の超過の状況は、表1-1、1-2に示すとおりである。

本調査結果をもとに、汚染が認められた区画について土壌汚染対策法第14条に基づく指定の申請を行い、令和4年2月16日、令和6年5月29日、令和7年9月18日に土壌汚染対策法に基づく「形質変更時要届出区域」（指定番号：指-1284号、指-1487号、指-1588号）に指定された（東京都告示第164号、第658号、第917号）。

このうち、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場の区域（F3-2、H4-4、G4-9、C4-7）については土壌汚染対策工事（掘削除去：掘削土量185.88m³）の実施が完了しており、その区域については表1-3に示すとおり、令和6年4月19日及び令和7年1月28日に「形質変更時要届出区域」の指定が解除された（東京都告示第573号、第52号）。なお、秩父宮ラグビー場の区域については今後、土壌汚染対策法第12条（形質変更時届出区域内における土地の形質の変更）及び第16条（汚染土壌の区域外搬出）に基づく届出を行った上で土壌汚染対策工事を行う予定である。

表1-1 土壌汚染の状況（神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場）

区画	鉛（含有量）	
	調査結果	基準値
F3-2	170 mg/kg	150 mg/kg
H4-4	210 mg/kg	
G4-9	180 mg/kg	
C4-7	270 mg/kg	

注）事後調査報告書（工事の施行中その3）にて報告済み。

表1-2 土壌汚染の状況（秩父宮ラグビー場）

区画	鉛（含有量）	
	調査結果	基準値
E1-8	160 mg/kg	150 mg/kg
E2-2	180 mg/kg	
F4-2	200 mg/kg	

注）秩父宮ラグビー場については現時点で調査可能な区域を2回に分けて調査することとしたため、先行して汚染が見つかった区画（F4-2）も含めて全ての調査結果が揃った現時点（本事後調査報告書）においてまとめて報告する。

^注 神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場の土壌汚染の状況や、そのうちC4-7区画の土壌汚染対策工事が完了していることは、事後調査報告書（工事の施行中その3）にて報告済み。

表 1-3 「土壌汚染対策法」による「形質変更時要届出区域」の指定及び解除の状況

区域区分	形質変更時要届出区域 ^{注3)}			特定有害物質の種類
	指定年月日	解除年月日	指定番号	
神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場 （F3-2、H4-4、G4-9、C4-7）	令和4年2月16日 ^{注1)}	一部解除（C4-7）：令和6年4月19日 ^{注1)} 全部解除：令和7年1月28日	指-1284号	鉛（含有量）
秩父宮ラグビー場 （F4-2）	令和6年5月29日 ^{注2)}	—	指-1487号	鉛（含有量）
秩父宮ラグビー場 （E1-8、E2-2）	令和7年9月18日 ^{注2)}	—	指-1588号	鉛（含有量）

注1) 事後調査報告書（工事の施工中その3）にて報告済み。

注2) 秩父宮ラグビー場については現時点で調査可能な区域を2回に分けて調査することとしたため、先行して汚染が見つかった区画（F4-2）も含めて全ての調査結果が揃った現時点（本事後調査報告書）においてまとめて報告する。

注3) 詳細は都の「土壌汚染情報の公開」を閲覧することにより確認できる。（閲覧場所等は都のホームページ
<https://dojou.kokai-system.metro.tokyo.lg.jp/SoilPollution/Search/Home/Top>）

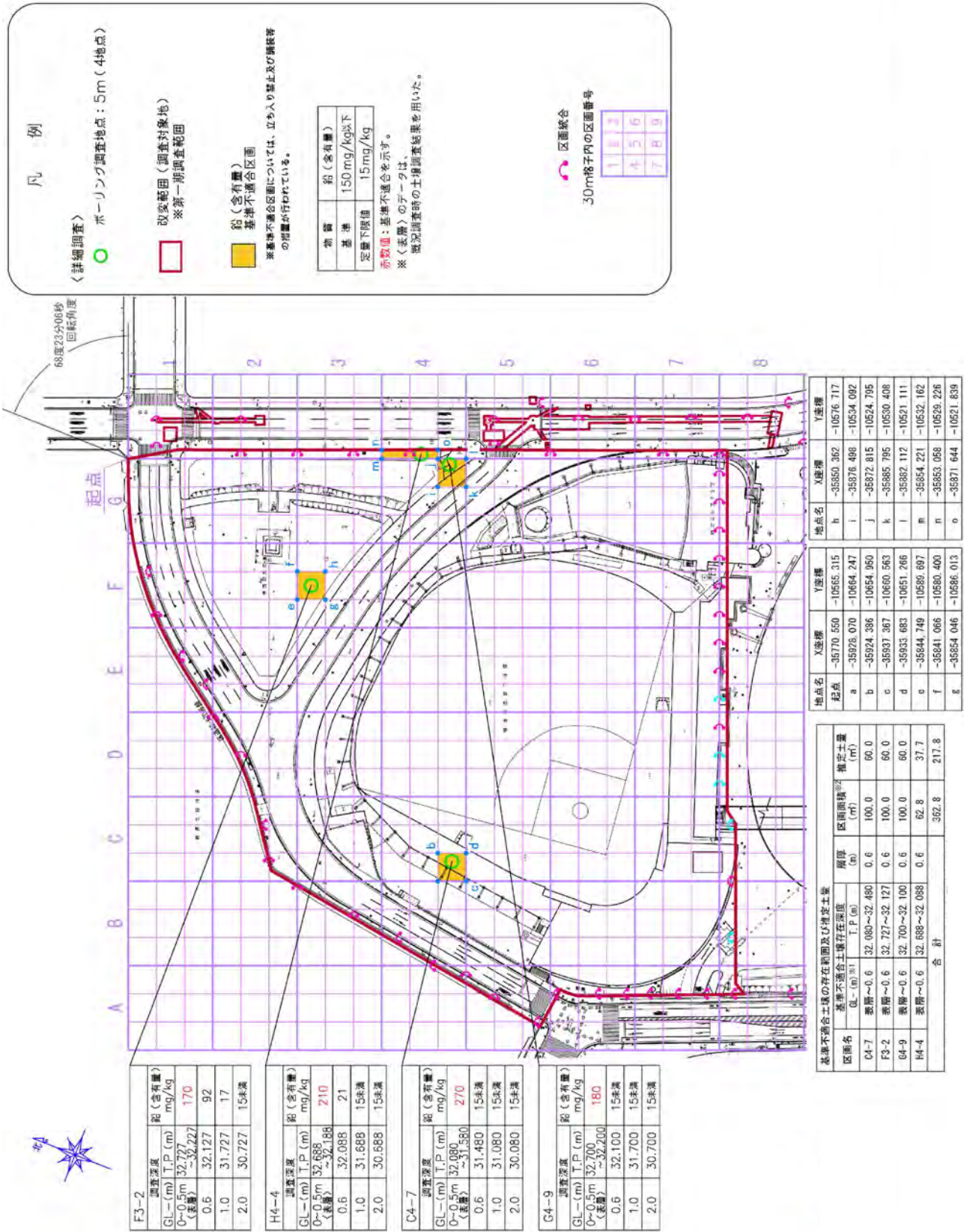
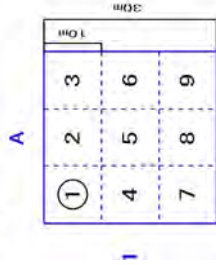


図 1-1 土壌汚染調査結果（神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場）

（注）事後調査報告書（工事の施行中その3）にて報告済み。

凡例

- : 土壤採取地点
令和5年5月～令和6年2月採取
- : 土壤採取地点
令和7年1月～令和7年3月採取
- : 特殊採取地点 189区画
- : 敷地境界
- : 区画統合
- : 汚染範囲



(例: A1-1)

調査深度	調査深度	調査深度	調査深度	調査深度
-0~0.50m	-0~0.50m	-0~0.50m	-0~0.50m	-0~0.50m
-1.00m	-1.00m	-1.00m	-1.00m	-1.00m
-2.00m	-2.00m	-2.00m	-2.00m	-2.00m
-3.00m	-3.00m	-3.00m	-3.00m	-3.00m
-4.00m	-4.00m	-4.00m	-4.00m	-4.00m
-5.00m	-5.00m	-5.00m	-5.00m	-5.00m
160	180	100	26	ND
107.4㎡	107.6㎡	100	26	ND
含有量試験	含有量試験	含有量試験	含有量試験	含有量試験
E1-8	E2-2	F4-2		

■ : 基準値超過を示す

下記理由より
E1-8、E2-2、F4-2の除去等の
対策深度は1.0mまでとなる

※基準不適合土壌の深さは、原則として基準不適合が認められた最も深い試料採取深度より下位の連続する2以上の深さにおいて汚染状態に関する基準適合が確認されたときの、最も浅い深さとする
(例えば、深さ2mで基準不適合であり、深さ3、4mで基準に適合するときであっても、基準不適合土壌の深さは3mとする。)

土列法ガイドラインP470より抜粋

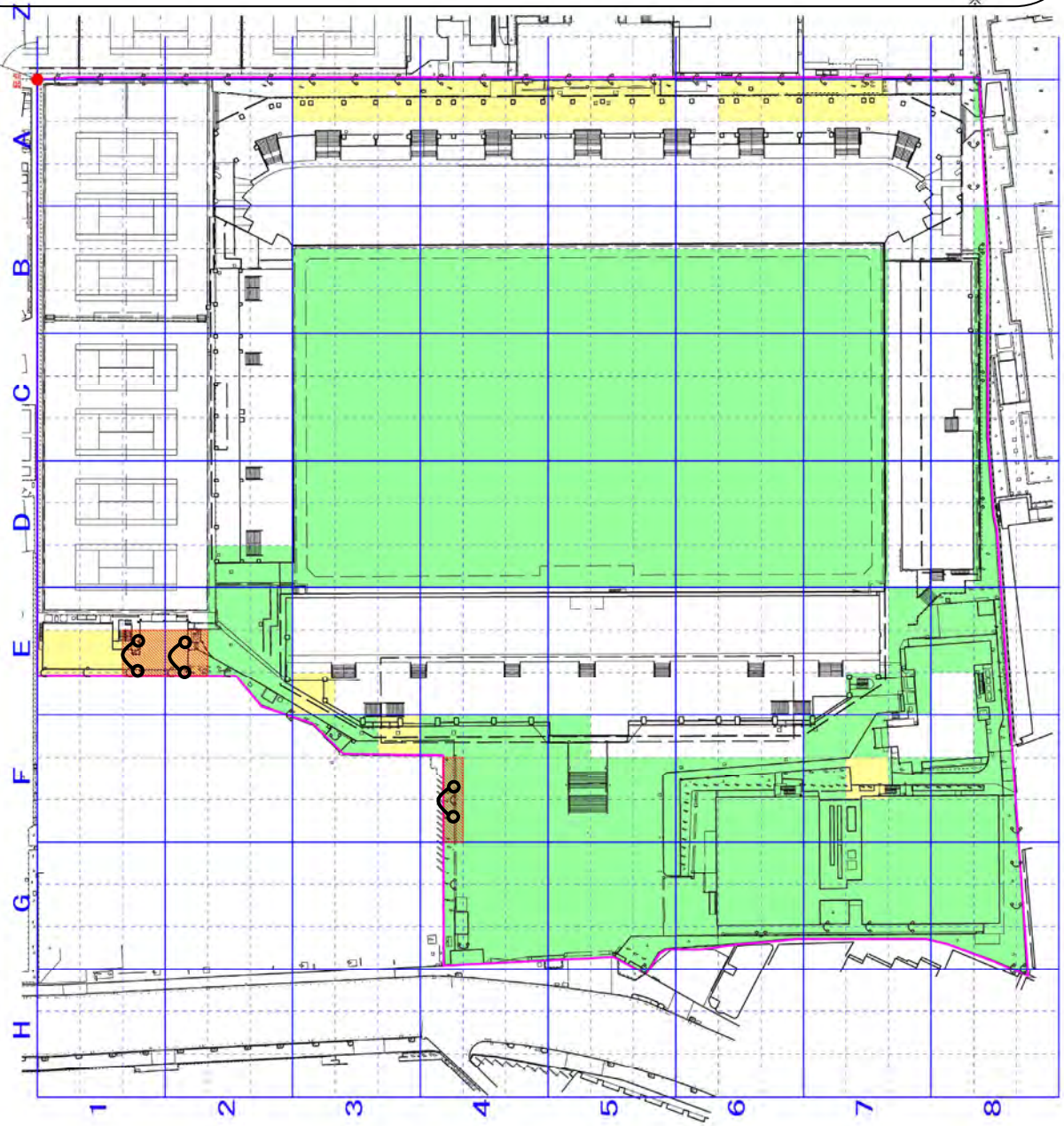


図 1-2 土壤汚染調査結果 (秩父宮ラグビー場)

(2) 予測条件の状況

1) 掘削工事の実施状況

現時点では建設工事（新築工事）には着手しておらず、建設工事に伴う掘削は行っていない。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 1-4 に示すとおりである。

令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの間に、土壌汚染に関する苦情はなかった。

表1-4 土壌汚染に係る環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置	実施状況
土壌汚染対策法第 4 条及び環境確保条例第 117 条に基づく手続き、調査を実施する。	神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場、秩父宮ラグビー場の区域において、土壌汚染対策法第 4 条及び環境確保条例第 117 条に基づく土壌汚染調査を行い汚染状況を確認した。
土壌汚染状況調査の結果、汚染土壌の存在が確認された場合には、「土壌汚染対策法」及び「環境確保条例」に基づき「汚染拡散防止計画書」を作成し、関係機関と調整を行ったうえで汚染拡散防止措置を実施するとともに、その内容を事後調査において明らかにする。	土壌汚染が見つかった区画のうち、一部の区域（神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場）については、土壌汚染対策法及び環境確保条例に基づき「汚染拡散防止計画書」を作成し、関係機関と調整を行ったうえで土壌汚染対策（掘削除去）を実施した。 その区域については令和 6 年 4 月 19 日及び令和 7 年 1 月 28 日に「形質変更時要届出区域」の指定が解除された（東京都告示第 573 号、第 52 号）。

3.2 予測結果と事後調査の結果との比較検討

(1) 予測した事項

1) 汚染土壌の掘削・移動等に伴う土壌への影響の内容及び程度

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場、秩父宮ラグビー場の区域において、土壌汚染対策法第4条及び環境確保条例第117条に基づく土壌汚染調査を行った結果、鉛（含有量）による土壌汚染が見つかった。

土壌汚染が見つかった区画のうち、一部の区域（神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場）については、土壌汚染対策法及び環境確保条例に基づき「汚染拡散防止計画書」を作成し、関係機関と調整を行ったうえで土壌汚染対策（掘削除去）を実施した。その区域については令和6年4月19日及び令和7年1月28日に「形質変更時要届出区域」の指定が解除された（東京都告示第573号、第52号）。

秩父宮ラグビー場を含む計画地全体の区域については、今後の工事の進捗に応じて事後調査報告書において適宜報告していく予定である。

事後調査の結果

調査項目：生物・生態系

予測した事項：植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列））

1. 調査地域

調査地域は、既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況については計画地内とし、いちょう並木の保全状況（4列）については計画地内及び計画地周辺とした。

2. 調査手法

2.1 調査事項

(1) 予測した事項

1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列））

(2) 予測条件の状況

- 1) 緑地の保全状況
- 2) 計画地内の緑化の状況
- 3) 文化交流施設棟周辺及び中央広場廻りの整備状況
- 4) 計画地周辺の緑地の分布状況

(3) 環境保全のための措置の実施状況

2.2 調査時点

(1) 予測した事項

1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列））

既存樹木の状況については、令和7年6月上旬～令和8年2月下旬の期間とした。神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況については、令和6年12月上旬～令和7年12月下旬の期間とした。いちょう並木の保全状況（4列）については、令和6年12月上旬～令和7年12月下旬の期間とし、そのうち活力度の状況は令和7年5月、7月、10月とした。

(2) 予測条件の状況

1) 緑地の保全状況

「(1)予測した事項 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度(既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列）」と同様とした。

2) 計画地内の緑化の状況

「(1)予測した事項 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度(既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列）」と同様とした。

3) 文化交流施設棟周辺及び中央広場廻りの整備状況

「(1) 予測した事項 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度(既存樹木の状況、神宮外苑広場(建国記念文庫)の樹木の保全状況、いちよう並木の保全状況(4列))」と同様とした。

4) 計画地周辺の緑地の分布状況

「(1) 予測した事項 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度(既存樹木の状況、神宮外苑広場(建国記念文庫)の樹木の保全状況、いちよう並木の保全状況(4列))」と同様とした。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

「(1) 予測した事項 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度(既存樹木の状況、神宮外苑広場(建国記念文庫)の樹木の保全状況、いちよう並木の保全状況(4列))」と同様の期間とし、工事施行中の随時とした。

2.3 調査地点

(1) 予測した事項

- 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度(既存樹木の状況、神宮外苑広場(建国記念文庫)の樹木の保全状況、いちよう並木の保全状況(4列))

調査地点は、図 2-1 に示したとおりである。

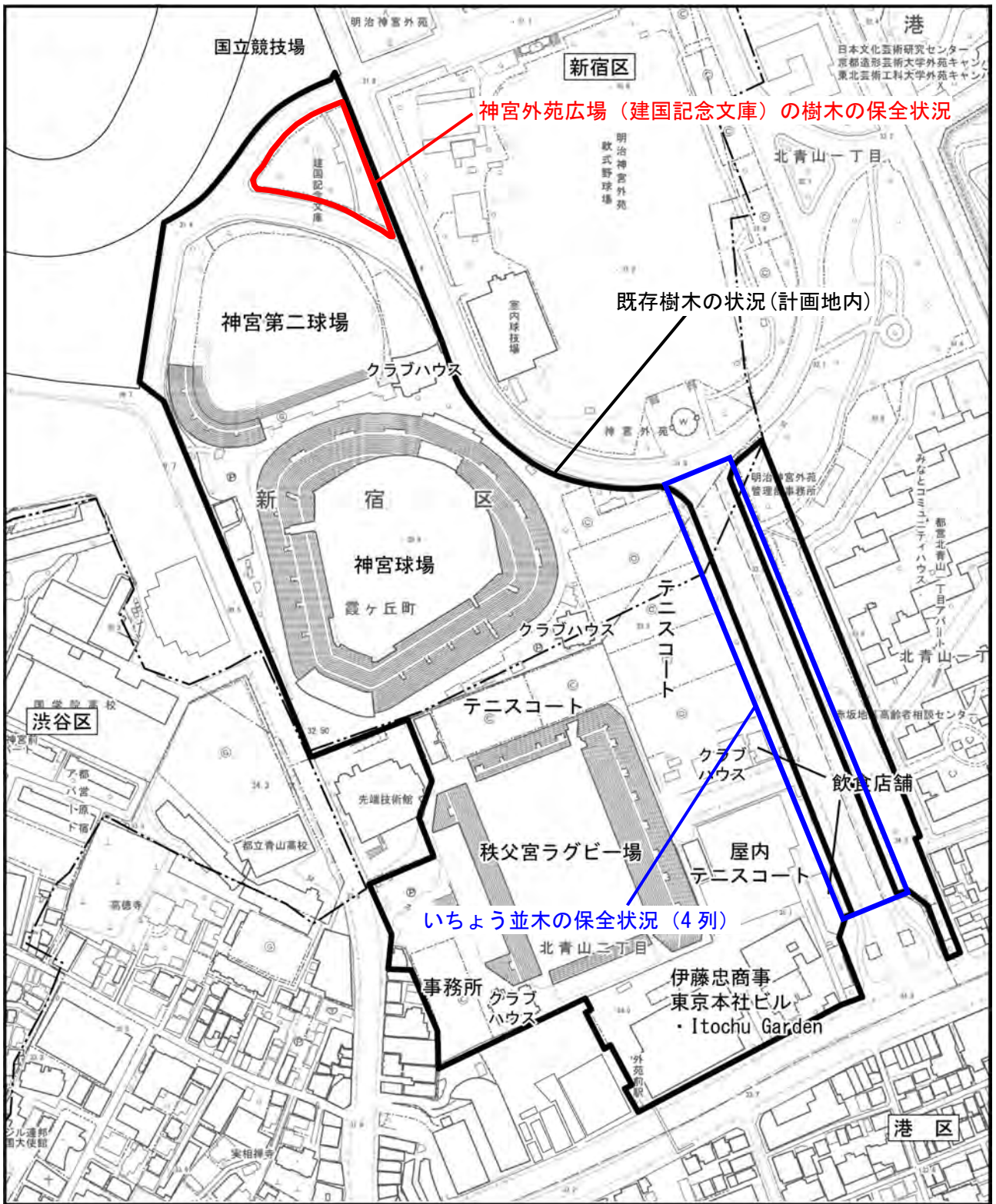


図 2-1 調査地点

- (2) 予測条件の状況
 - 1) 緑地の保全状況
計画地内とした。
 - 2) 計画地内の緑化の状況
計画地内とした。
 - 3) 文化交流施設棟周辺及び中央広場廻りの整備状況
計画地内とした。
 - 4) 計画地周辺の緑地の分布状況
計画地周辺とした。

- (3) 環境保全のための措置の実施状況
計画地内及び計画地周辺とした。

2.4 調査方法

- (1) 予測した事項
 - 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度
 - ア. 既存樹木の状況
現地調査（写真撮影等）及び関連資料により、既存樹木（移植木を含む）の本数、移植樹木のモニタリング状況を整理する方法とした。また、秩父宮ラグビー場東側の港区道等のイチョウの移植検討のための調査結果を整理する方法とした。

 - イ. 神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況
現地調査（写真撮影等）及び関連資料により、樹木の保全状況を整理する方法とした。

 - ウ. いちょう並木の保全状況（4列）
いちょう並木の活力度の状況については、科学技術庁資源調査会の基準等による活力度調査によった。調査にあたっては、活力度の状況を詳細に把握するため、いちょう並木の景観を維持するために剪定をして樹形を整えている先端部（頂部）と、自然な樹形を整えているそれ以外の部分（頂部以外）に分けて調査した上で、評価書と同様に全ての項目の平均評点を総合評価とする方法によった。また、それらの結果を反映した保育管理の状況について、関連資料の整理による方法とした。
なお、計画建築物（野球場棟）の設計及び施工計画等（地下構造物、ネット及びフェンス等を含む）への配慮事項の検討状況については、今後、野球場棟の詳細な形状について決定した時期に報告する。また、いちょうの根系保全範囲を縁石から約17mに設定する方針に伴い、野球場棟や文化交流施設棟の着工の約1年前に、約17mの位置での根の状況を手掘りにて確認し、事後調査報告書において報告する。

(2) 予測条件の状況

1) 緑地の保全状況

現地調査(写真撮影等)及び関連資料(施設計画、施工計画、建設作業日報等)の整理による方法とした。

2) 計画地内の緑化の状況

現地調査(写真撮影等)及び関連資料(施設計画、施工計画、建設作業日報等)の整理による方法とした。

3) 文化交流施設棟周辺及び中央広場廻りの整備状況

現地調査(写真撮影等)及び関連資料(施設計画、施工計画、建設作業日報等)の整理による方法とした。

4) 計画地周辺の緑地の分布状況

現地調査(写真撮影等)及び関連資料(施設計画、施工計画、建設作業日報等)の整理による方法とした。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

現地調査(写真撮影等)及び関連資料(施設計画、施工計画、建設作業日報等)の整理による方法とした。

3. 調査結果

3.1 事後調査の結果の内容

(1) 予測した事項

- 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列））

ア. 既存樹木の状況

計画地全体の既存樹木の状況については、下記の(ア)～(エ)に示すとおりである。なお、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び4列いちょう並木の状況については、「イ. 神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況」「ウ. いちょう並木の保全状況（4列）」に記載のとおりである。

(ア) 既存樹木の本数

既存樹木の本数については、表 2-1 に示すとおりである。また、保存、移植、伐採樹木の分布状況は、移植作業の着手前（令和 6 年 9 月末時点）が図 2-2（1）、移植計画の完了後（令和 7 年 12 月末時点）が図 2-2（2）に示すとおりである。

既存樹木の本数については、変更届（令和 6 年 9 月）時点においては存置が 616 本、移植が 193 本、移植検討が 19 本、伐採が 511 本であったが、変更届（令和 6 年 9 月）以降、枯損等（立ち枯れや腐朽等）が 16 本増加したことに伴い（資料編 p. 200 参照）、存置が 608 本、移植が 193 本、移植検討が 19 本、伐採が 503 本となった。なお、評価書時点以降、枯損等が 58 本となり、これらを合計すると 1,381 本である。

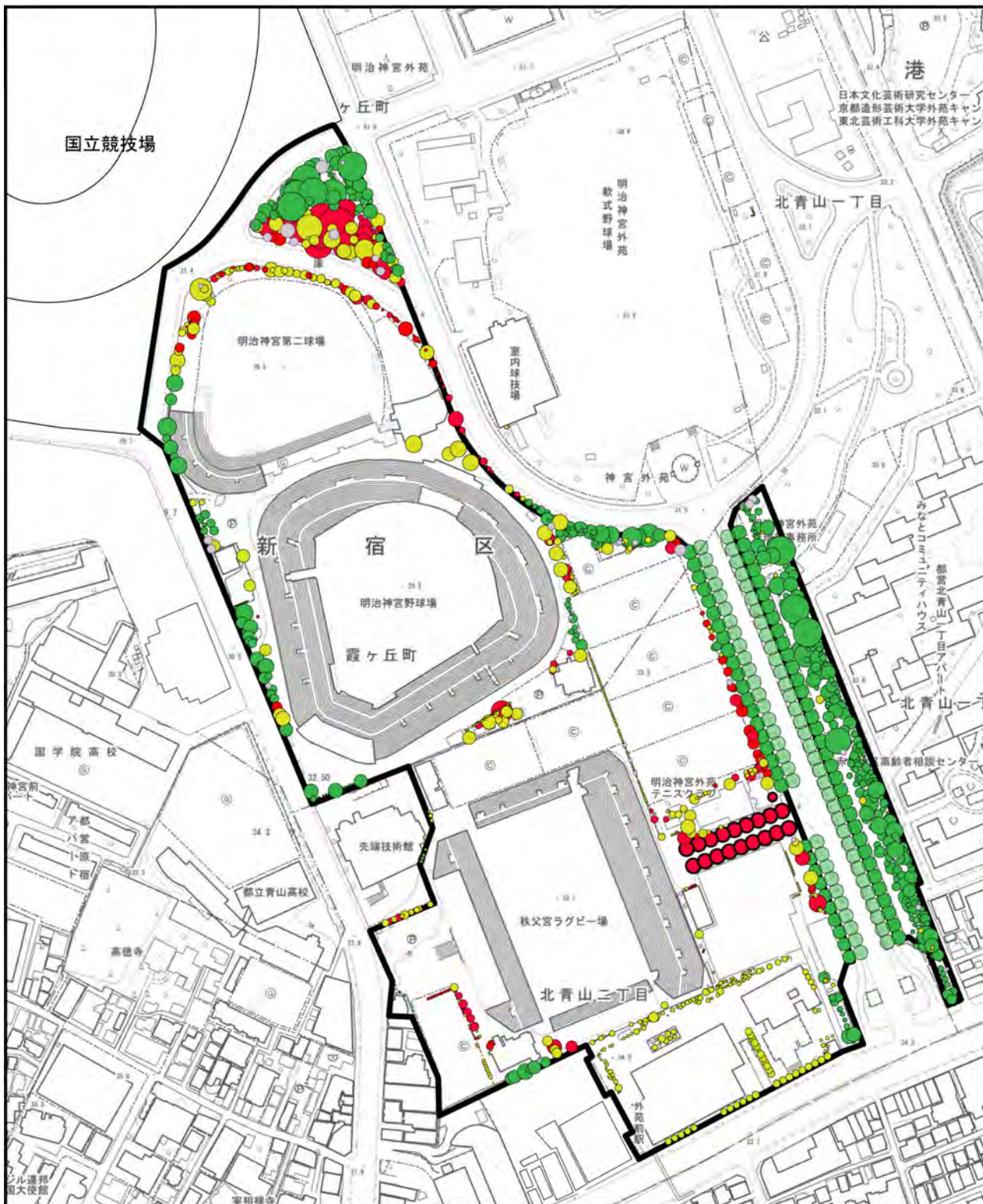
このうち、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木 87 本の移植、62 本の伐採作業を実施済みである。

表 2-1 既存樹木の本数

本数	存置	移植	移植検討	伐採	枯損等	合計
変更届 (令和 6 年 9 月)	616 本	193 本	19 本	511 本	42 本	1,381 本
事後調査結果	608 本	193 本	19 本	503 本	58 本	1,381 本
移植、伐採済み	—	87 本 ^{注1)}	0 本	62 本	—	149 本 ^{注2)}

注 1) 仮移植済みの 9 本は含めていない。

注 2) 既存樹木 1,381 本に含まれる。



凡例

-  計画地
-  保存樹木
-  移植樹木
-  伐採樹木
-  枯損等



S = 1 / 4,000

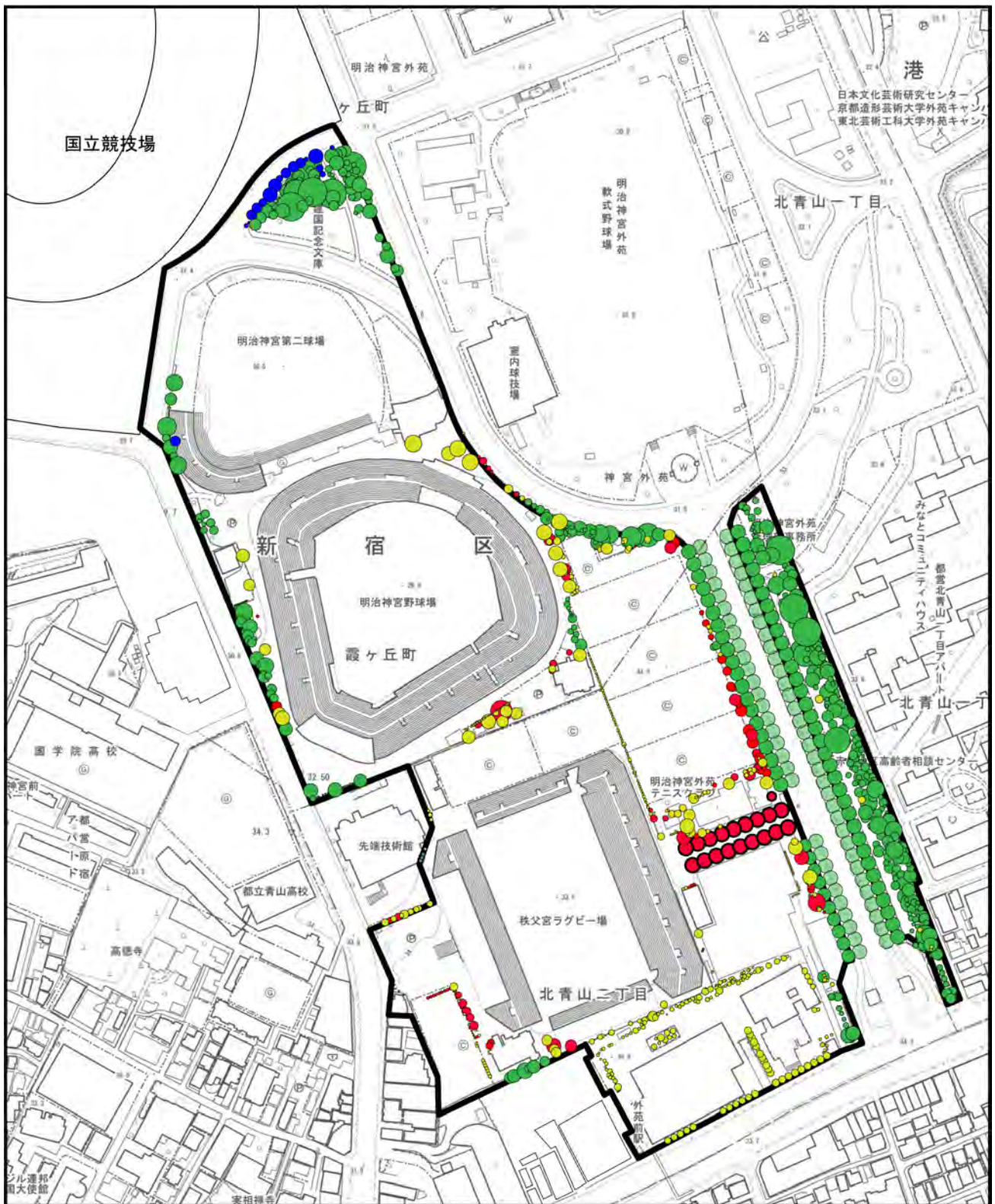
0 40 80 120m



注1) 計画については今後変更の可能性がある。

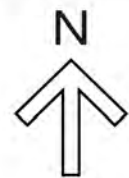
注2) 太線の丸で示す樹木(既存区道のイチョウ)は移植を検討している樹木である。

図 2-2(1) 保存、移植、伐採樹木の分布状況 (令和 6 年 9 月末時点)



凡例

-  計画地
-  保存樹木
-  移植樹木(移植前)
-  移植樹木(移植後)
-  伐採樹木



S=1/4,000

0 40 80 120m



注1) 計画については今後変更の可能性がある。

注2) 太線の丸で示す樹木(既存区道のイチョウ)は移植を検討している樹木である。

図 2-2(2) 保存、移植、伐採樹木の分布状況 (令和 7 年 12 月末時点)

(イ) 保全管理の状況及び保全管理方針

樹勢が弱っている樹木に対しては、施肥を実施するとともに、病虫害防除策（キクイムシ侵入防除策、写真 2-1 参照）を実施している。

今後も保全管理方針として、樹勢が弱っている樹木に対して施肥の実施、定期巡回による病虫害被害状況を確認するとともに、病虫害防除策の実施、定期剪定による樹木の生育環境の保全を実施する予定である。



写真 2-1 病虫害防除策（キクイムシ侵入防除策）の状況

(ウ) 移植樹木の状況

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の 96 本の移植樹木（図 2-3 及び表 2-3 参照）のうち、90 本については令和 7 年 6 月末までに仮移植及び本移植を行い、事後調査報告書（工事の施行中その 4）において報告を行った。

令和 7 年 7 月以降、残りの 6 本（表 2-3 に示す⑤、⑩、⑪の樹木）について本移植を行うとともに、ラグビー場棟敷地西側に仮移植していた 11 本（表 2-3 に示す⑨の樹木）について、神宮外苑広場（建国記念文庫）へ本移植を行った（資料編 p. 102～103 参照）。これにより、図 2-3 及び表 2-3 に示す移植計画について、全ての移植が完了した。

移植対象の樹木の活力度の状況は、表 2-2 に示すとおりである。移植対象の 96 本の樹木のうち 92 本について、令和 7 年に移植後のモニタリング（活力度調査）を実施した（資料編 p. 104～195 参照）。

樹勢、樹形、枝葉の密度、葉の色の評価については、「優」から「やや不良～不良」であり、先端の衰弱枯損については、「優」から「不良」、大枝の枯損については「優」から「やや不良」であった。また、支柱の状況は全て「優」であった。

項目によって「やや不良」「やや不良～不良」「不良」と評価される樹木もあるが、移植後の根の活着、枝葉伸長による樹形再生には数年かかるため、このような評価となったと考えられる。

移植した樹木については現時点で枯損等は生じておらず、灌水の実施（写真 2-2 参照）や下草との水分競合をなくすため、除草を実施する等、適切な管理を行っている。

表 2-2 移植樹木のモニタリング結果

評価項目	優	良	良～ やや不良 注2)	やや 不良	やや不良 ～不良注2)	不良	枯死 寸前	小計	不明	合計	
樹勢	1	23	5	50	13	0	0	92	0	92	
樹形	3	20	4	50	15	0	0	92	0	92	
枝葉の密 度	1	19	1	56	15	0	0	92	0	92	
葉の色	1	60	1	27	2	0	0	91	1注1)	92	
先端の衰 弱 枯損	3	73	1	14	0	1	0	92	0	92	
大枝の枯 損	2	86	0	4	0	0	0	92	0	92	
支柱状況	92	0	—								92

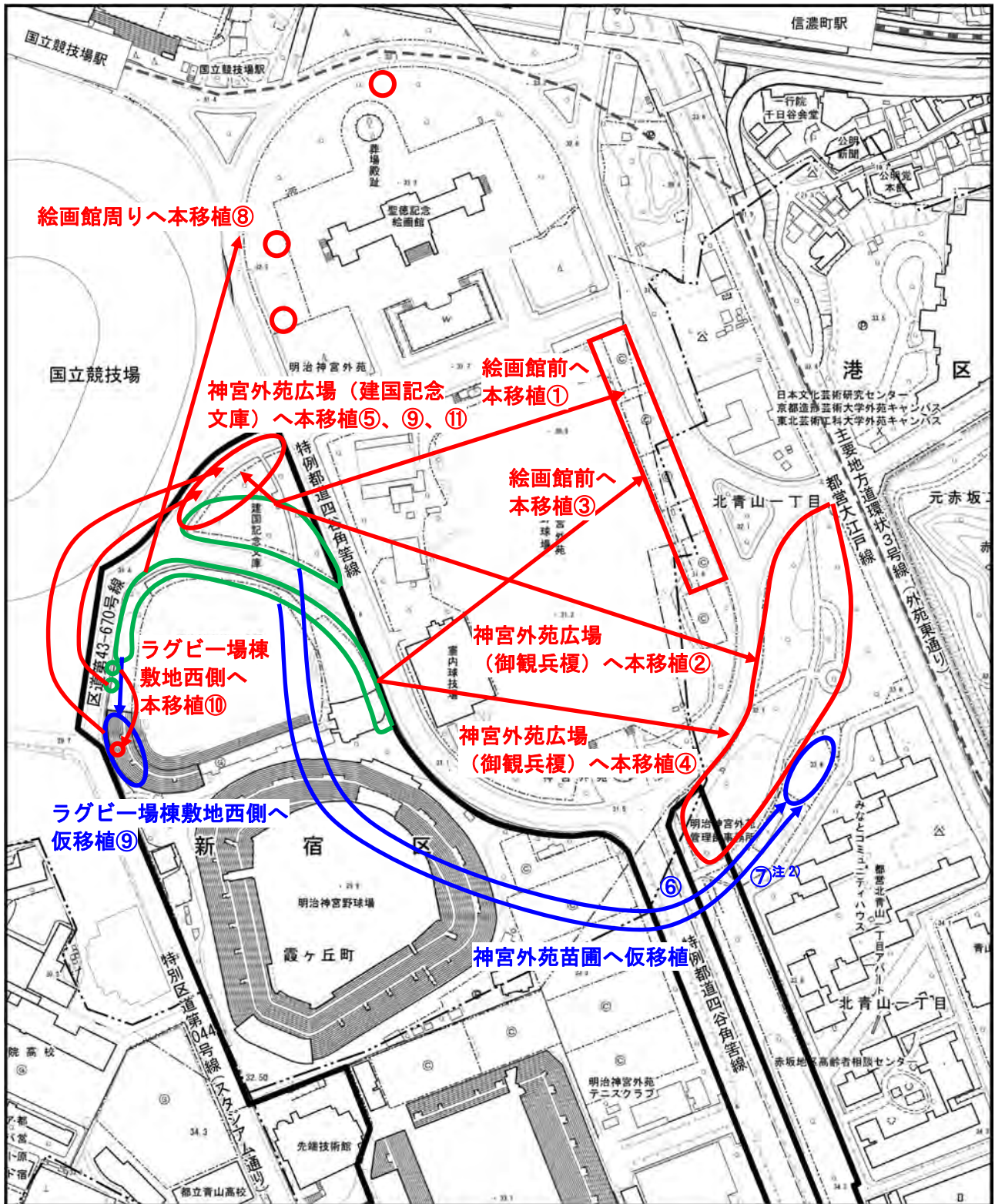
注 1) YG-19 ヒトツバタゴの葉の色については調査時が落葉期で不明。

注 2) 「良～やや不良」は、「良」と「やや不良」の間を、「やや不良～不良」は、「やや不良」と「不良」の間を示す。



注 3) 移植樹木 96 本のうち、移植後のモニタリングを行っていない 4 本 (KE-002 ヤエザクラ、KE-003 ヤエザクラ、KE-156 モミジ、KE-157 シラカシ) については移植前のモニタリングを行っており、その結果は資料編 p. 196～199 参照。なお、当該 4 本の移植後のモニタリング結果については、以降の事後調査報告書にて報告予定。



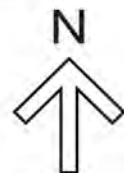
写真 2-2 灌水の状況



凡例

- | | |
|---|--|
|  計画地 |  移植元 |
|  区界 |  移植先（本移植） |
| |  移植先（仮移植） |

注1) 丸番号は次頁の表に対応する。
 注2) ⑨又は⑦へ仮移植するとしていた樹木については全て⑨へ仮移植を行ったため、⑦への仮移植はなくなった。



S = 1 / 4,000

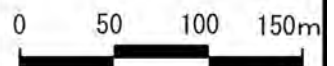


図 2-3 神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の移植予定樹木の移植先の計画

表 2-3 移植計画

移植元：建国記念文庫エリア

移植先：
絵画館前へ本移植①

番号	樹種名
KE-010	ケヤキ
KE-014	トウカエデ
KE-016	シラカシ
KE-017	ケヤキ
KE-018	フウ
KE-019	フウ
KE-020	シイノキ
KE-022	クスギ
KE-025	ケヤキ
KE-026	クスノキ
KE-031	クスノキ
KE-033	ケヤキ
KE-035	シラカシ
KE-036	シイノキ
KE-038	トウカエデ
KE-041	ヒトツバタゴ
KE-048	シイノキ
KE-084	シラカシ
KE-088	ウバメガシ
KE-136	シラカシ
KE-140	エノキ
KE-141	ケヤキ
KE-151	フウ
KE-158	エノキ

①計 24本

移植先：神宮外苑広場
(御観兵榎)へ本移植②

番号	樹種名
KE-009	シイノキ
KE-011	シイノキ
KE-012	シイノキ
KE-028	サンゴジュ
KE-040	イヌグス
KE-085	ヒトツバタゴ
KE-144	シイノキ

②計 7本

凡例

: 仮移植または本移植が完了した樹木

移植先：
神宮外苑広場(建国記念
文庫)へ本移植⑤

番号	樹種名
KE-002	ヤエザクラ
KE-003	ヤエザクラ
KE-156	モミジ
KE-157	シラカシ

⑤計 4本

移植先：神宮外苑苗圃へ
仮移植⑥

番号	樹種名
KE-042	ヒトツバタゴ
KE-097	ヒトツバタゴ
KE-137	ヒトツバタゴ
KE-139	ヒトツバタゴ
KE-143	ヒトツバタゴ
KE-147	ヒトツバタゴ
KE-148	ヒトツバタゴ
KE-152	ヒトツバタゴ
KE-153	ヒトツバタゴ

⑥計 9本

移植元：第二球場エリア

移植先：
絵画館前へ本移植③

番号	樹種名
YG-024	マテバシイ
YG-028	マテバシイ
YG-064	シイノキ
YG-093	シイノキ
YG-101	シイノキ
YG-105	ウバメガシ
YG-134	ケヤキ
YG-135	ヤマモモ

③計 8本

移植先：神宮外苑広場
(御観兵榎)へ本移植④

番号	樹種名
YG-033	ヒトツバタゴ
YG-035	マテバシイ
YG-046	サザンカ
YG-050	ツバキ
YG-077	カラタネオガタマ
YG-081	ヒトツバタゴ
YG-082	モクセイ
YG-084	モクセイ
YG-087	モクセイ
YG-089	モクセイ
YG-094	マテバシイ
YG-103	モッコク
YG-110	モクセイ
YG-114	モクセイ
YG-115	ヤマモモ
YG-116	モクセイ
YG-120	モクセイ
YG-121	ヤマモモ
YG-122	モクセイ
YG-123	モクセイ
YG-124	モクセイ
YG-128	ヤマモモ
YG-129	モクセイ
YG-130	モクセイ
YG-131	モクセイ
YG-132	モクセイ
YG-133	カラタネオガタマ
YG-136	モクセイ

④計 28本

移植先：絵画館周りへ本移植⑧

番号	樹種名
YG-042	シイノキ
YG-111	ヤマモモ
YG-137	ヤマモモ

⑧計 3本

移植先：ラグビー場棟敷地西
側へ仮移植⑨(又は神宮外苑苗
圃へ仮移植⑦)^注

⇒仮移植後、神宮外苑広場
(建国記念文庫)へ本移植⑨

番号	樹種名
YG-020	マテバシイ
YG-031	マテバシイ
YG-047	マテバシイ
YG-053	シイノキ
YG-059	シイノキ
YG-061	ケヤキ
YG-066	マテバシイ
YG-072	マテバシイ
YG-102	サンゴジュ
YG-108	コブシ
YG-118	ケヤキ

⑨計 11本

移植先：ラグビー場棟敷地西
側へ本移植⑩

番号	樹種名
YG-019	ヒトツバタゴ

⑩計 1本

移植先：神宮外苑広場(建国
記念文庫)へ本移植⑪

番号	樹種名
YG-015	ツバキ

⑪計 1本

注) ⑨又は⑦へ仮移植するとしていた樹木については全て⑨へ仮移植を行ったため、⑦への仮移植はなくなった。

(エ) 秩父宮ラグビー場東側の港区道等のイチョウの移植検討のための調査及び措置の概要

ア) 調査及び措置の概要

秩父宮ラグビー場東側に所在する港区道等のイチョウ (19 本)^{注)} は、環境影響評価書において「移植を検討する樹木」として位置づけており、野球場棟の工事着手前までに野球場棟北側エリアに移植することを検討している。

事後調査報告書 (工事の施行中その 3) で報告したとおり、移植を検討するにあたり令和 7 年 2 月において、イチョウ 2 本 (図 2-4 参照) に対し、根や土壌の現況確認、樹木周囲一部の根回し、樹勢助長措置を実施するとともに、令和 7 年 3 月～令和 8 年 2 月において、効果検証のための維持管理・継続調査を行った。継続調査の結果はイ) (p. 42 参照) に示すとおりである。

また、令和 8 年 2 月においては、残りのイチョウの 17 本に対し、エ) (p. 44～45 参照) に示すとおり樹勢助長措置を実施した。

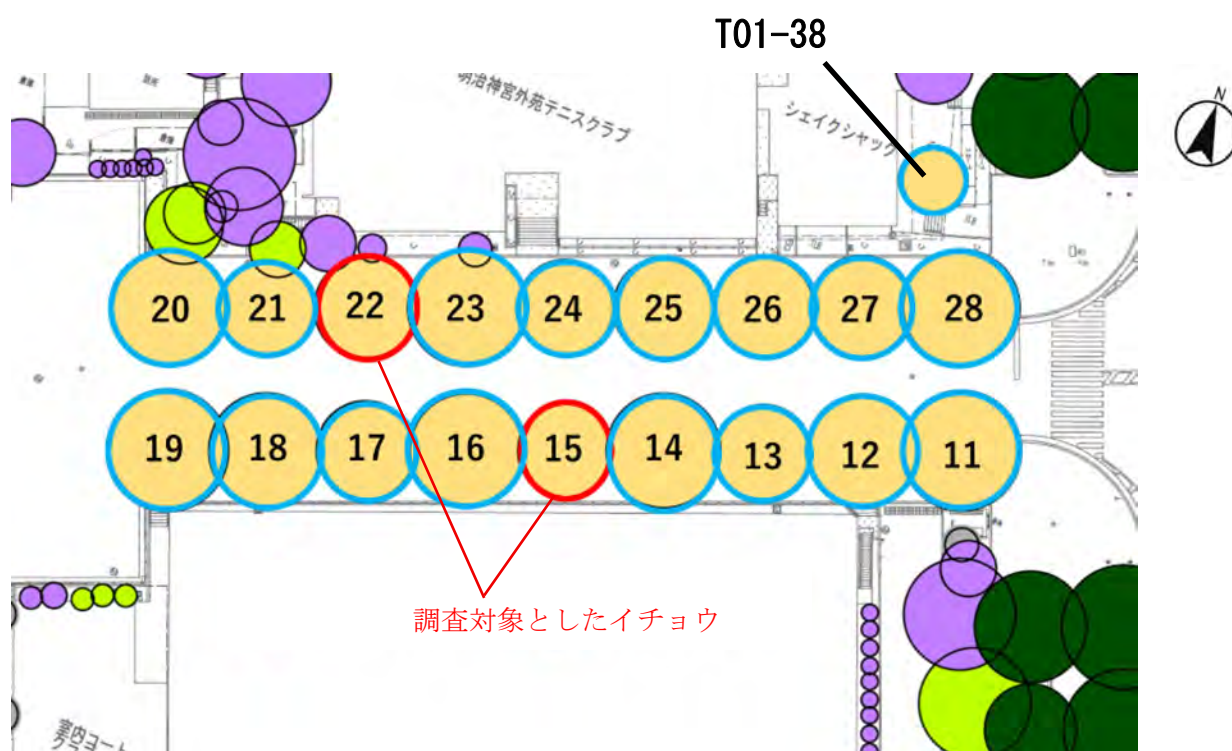


図 2-4 調査対象位置図 (イチョウ 2 本 (西 15、西 22))

^{注)} 港区道イチョウ 18 本及び明治神宮外苑敷地内イチョウ 1 本、合計 19 本

イ) 継続調査の結果

①発根調査

令和7年2月にイチョウ2本の樹木周囲一部の根回し、樹勢助長措置を実施し、令和7年6月及び12月に根回し部の一部を掘削し、露出面の状況を観察した。その状況は写真2-3に示すとおりである。畔シートの内側に約15cm程度充填したパーク堆肥に新たな根系伸長が見られるかどうかの確認を行った結果、6月時点ではまだ露出面の根系確認はできなかったものの、12月時点では、西15、西22ともに細根の発達が確認できた(写真2-4参照)。土壌的には歩道、車道下部の赤土は良好で、根系の発達も確認されていること等から、当該2本の調査結果や樹木医の意見などから判断すると、現時点で同様の生育環境にある港区道内の18本のいちょうの移植は可能と考えられ、さらに港区道外の1本(T01-38)も含め、全19本の移植を検討していく。



写真2-3 発根調査の状況：令和7年6月（既存根系とパーク堆肥露出面(西22)）



写真2-4 発根調査の状況：令和7年12月（既存根系とパーク堆肥露出面(西15)）

②デンドロメーターによる幹周調査結果

令和7年2月に樹勢助長措置を実施したイチョウ2本（西15、西22）について、デンドロメーターによる幹周調査を実施した。また、比較対象として、隣接するイチョウ（西14、西23）についても同様に幹周調査を実施した。調査開始時（令和7年4月21日）からの成長比をグラフ化したものは、図2-5に示すとおりである。

時間の経過に伴う成長比の増加を確認するため、単回帰分析を実施したところ、令和7年2月に樹勢助長措置を実施したイチョウ2本について見ると、西15の傾きが0.0202と調査した4本の中で最も高く、順調な生育を示している。西22は-0.001とマイナスの傾きであり、現時点では樹勢助長措置の効果は見られていないものの、今後も継続して確認する予定である。

上記の2本に隣接した、令和7年2月に樹勢助長措置を実施していないイチョウについては、西23の成長比がプラスの傾きで0.0175、西14は-0.0024とマイナスの傾きであった。

幹周については今後も継続的に観測していく計画である。

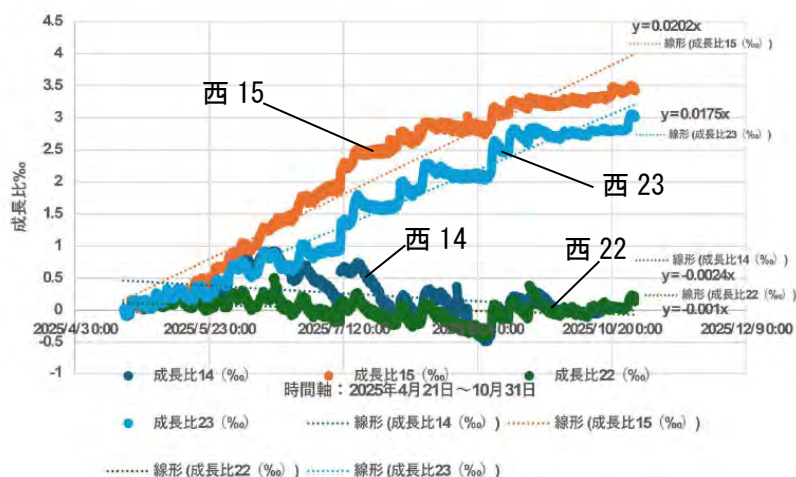


図2-5 デンドロメーターによる幹周調査結果（港区道イチョウ4本の成長比と回帰式）

ウ) 活力度調査の結果

活力度調査の結果は資料編 p. 231～260（港区道イチョウは西11から西28まで）に示すとおりであり、港区道沿いの18本については令和7年5月～10月にかけて活力度A（正常なもの）～活力度B（普通、正常に近い）で推移していた。

エ) 樹勢助長措置

①実施期間

令和 8 年 2 月

②対象位置

秩父宮ラグビー場東側に所在する港区道等のイチョウのうち、令和 7 年に先行して調査・措置を行った 2 本（西 15 及び西 22）以外の 17 本を対象とした。

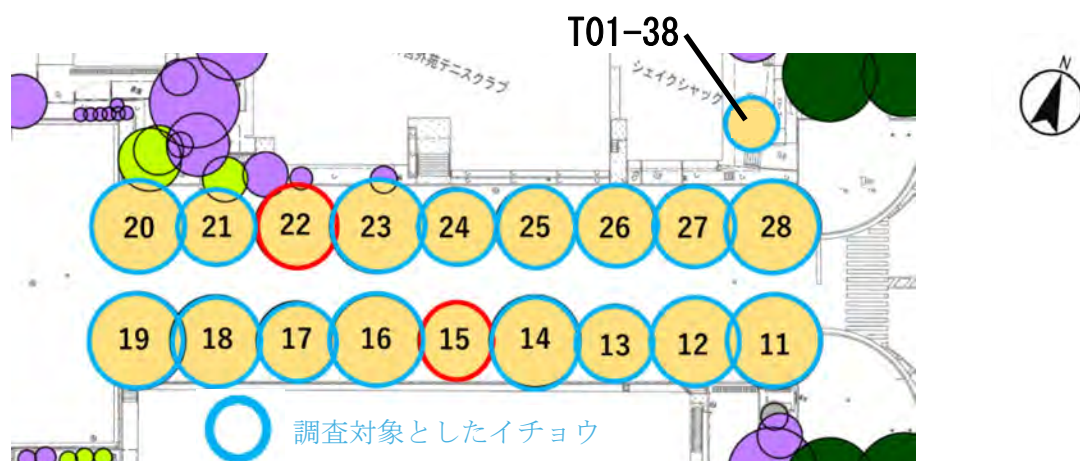


図 2-6 調査対象位置図

③措置の内容

- ・港区道内 16 本（西 11～西 28^{注1}）

港区道内の 16 本については、歩道側の舗装部と砕石部を深さ 0.3m 内外まで撤去し、良質の土壌と入れ替え、イチョウの根系にとって良好な土壌環境へ改善を図った。また、緑地帯のヘデラ類を除去し、水分競合の対策を行うとともに、水圧式土壌改良の実施、稲藁マルチングの敷設、灌水設備の設置を行い、乾燥防止および適正な水分供給を図った（図 2-7（1）、（2）参照）。

- ・明治神宮外苑敷地内 1 本（T01-38^{注2}）

明治神宮外苑敷地内の 1 本については港区道内の 16 本と生育環境が異なり、いちよう並木沿道店舗内に植えられており、かつ当該店舗のデッキ内部分に根が存在するため、デッキ内に灌水設備を設置し、水分供給による乾燥防止対策を行う。

注1 先行して樹勢助長措置を行った西 15、西 22 を除く。

注2 環境影響評価書に示した毎木調査票の樹木番号であり、T01-38 は 4 列いちよう並木西側店舗付近のイチョウである。

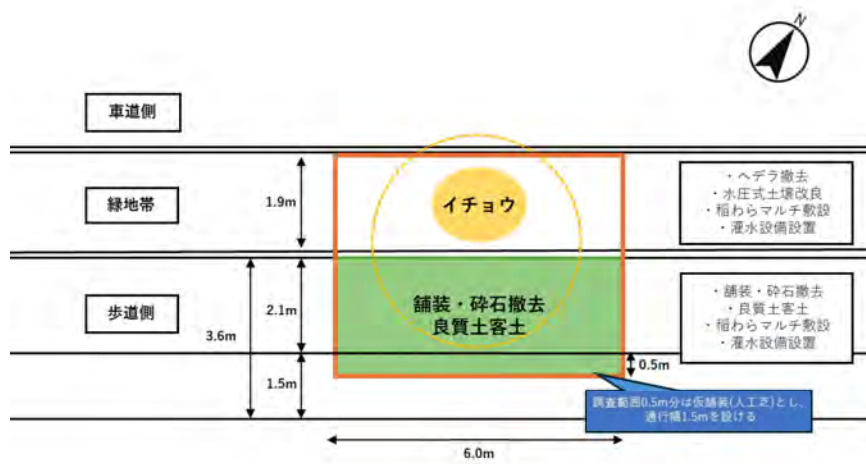


図 2-7(1) 樹勢助長措置の基本範囲図 (港区道内 16 本、平面図)

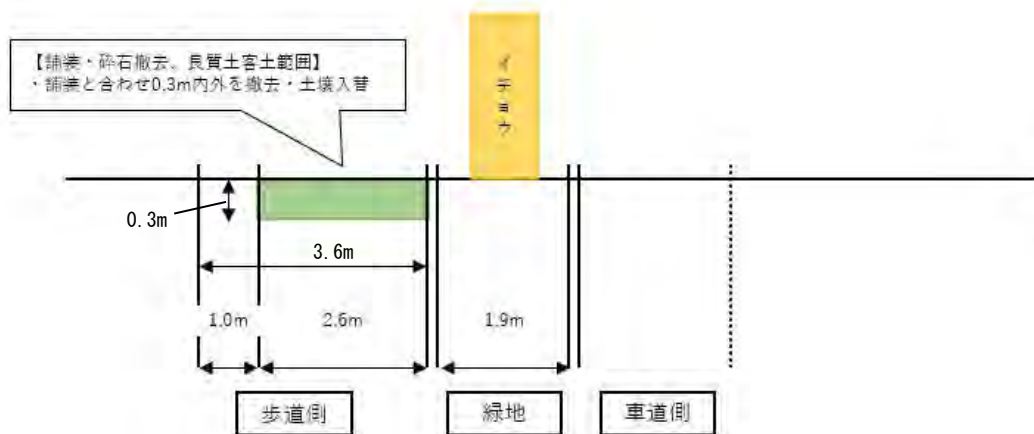


図 2-7(2) 樹勢助長措置の基本範囲図 (港区道内 16 本、断面図)

表 2-4 調査及び調査後の処置等のスケジュール

	港区道内 2 本 (先行調査対象)	港区道内 16 本 (今回調査対象)	明治神宮外苑敷地内 1 本 (今回調査対象)
令和 7 年 2 月	根や土壌の現況確認 樹木周囲一部の根回し 現況調査 (外観診断、デンドロメーターによる幹周計測) 樹勢助長措置 (良質土客土、稲藁マルチング、ヘデラ除去、灌水、水圧式土壌改良等)		
令和 7 年 3 月～	維持管理・継続調査 (発根調査、外観診断、デンドロメーターによる幹周変化の比較、葉緑素系調査等)		
令和 8 年 2 月	維持管理・継続調査 (外観診断、デンドロメーターによる幹周変化の比較、葉緑素系調査等)	現況調査 (外観診断) 樹勢助長措置 (良質土客土、稲藁マルチング、ヘデラ除去、灌水、水圧式土壌改良、葉緑素系調査等)	現況調査 (外観診断) 樹勢助長措置 (灌水)
令和 8 年 3 月～	維持管理・継続調査 (外観診断、デンドロメーターによる幹周変化の比較、葉緑素系調査等)	維持管理・継続調査 (外観診断、葉緑素系調査等)	維持管理・継続調査 (外観診断、葉緑素系調査等)

注 1) 葉緑素系調査: 葉緑素の濃さを測定する。

注 2) 外観診断: 目視による確認。

イ. 神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場の樹木については、事後調査報告書（工事の施行中その4）の移植計画に示した96本（本移植87本、仮移植9本）について、全ての移植が完了している。これら移植が完了した樹木については養生を行っている。また、伐採対象とした樹木62本についても全て伐採が完了している。

移植木の養生の状況については、事後調査報告書（工事の施行中その2及びその3）で報告したとおり、根鉢上に稲藁にてマルチングを行うとともに、灌水を週1～2回程度実施している。これにより、根鉢周りの乾燥を防ぎ、土壌の温度調整を行っている。また、除草及び病害防除対策を適宜実施している。なお、移植樹木について、現時点で枯損しているものはない。

樹木については日常管理として、巡回を実施するとともに、枝葉の剪定や、枯枝除去を行っている。また、これらの作業のため、神宮外苑広場（建国記念文庫）を含むラグビー場棟Ⅰ期工事敷地へ仮囲いを設置し、閉鎖管理を行っている。

ウ. いちょう並木の保全状況（4列）

4列いちょう並木の活力度調査の結果は、表2-5（1）及び図2-8に示すとおりである。

4列いちょう並木の活力度調査は、事後調査計画では工事の施行中の毎年6月頃に調査を実施する予定であるが、令和5年及び令和6年と同様に事後調査計画の調査回数を変更し、春（5月）、夏（7月）、秋（10月）の3回調査を実施した。活力度の状況を詳細に把握するため、いちょう並木の景観を維持する目的で剪定により樹形を整えている先端部（頂部）と、自然な樹形を整えているそれ以外の部分（頂部以外）に分けて調査した上で、評価書と同様に全ての項目の平均評点を総合評価とした。

4列いちょう並木の活力度は、令和7年5月時点では活力度A（正常なもの）が108本、活力度B（普通、正常に近い）が20本、活力度C（悪化のかなり進んだもの）が0本、活力度D（顕著に悪化の進んでいるもの）が0本であった。令和7年7月時点では活力度Aが110本、活力度Bが17本、活力度Cが1本、活力度Dが0本であった。令和7年10月時点では活力度Aが88本、活力度Bが35本、活力度Cが5本、活力度Dが0本であった。

春季、夏季、秋季ともに、4列のいちょう並木のうち東側2列は活力度AまたはBである。西から2列目については概ね活力度AまたはBであるが、西から1列目の一部で活力度Cが出現している（図2-8参照）。

上記の活力度Cとなっているいちょうは、令和5年及び令和6年の活力度調査で活力度CまたはDと診断されたいちょうであり、事後調査報告書（工事の施行中その2）において報告したとおり、検査機関に照会した結果、病虫害ではないことが確認されている。

また、事後調査報告書（工事の施行中その2及びその3）で報告したとおり、活力度の低下したいちょうに対しては、いちょう周囲の灌水、液体肥料の施肥等を実施するとともに、4列いちょう並木西側1列（縁石から約10.5mまで）のうち秩父宮ラグビー場東側の港区道より北側部分について、下記に示す樹勢回復措置を継続実施中である。

- ・稲藁マルチングによる乾燥防止等の対応
- ・自動灌水装置の設置（4列いちょう並木西側店舗前においては舗装ブロックを外し灌水装置を設置）

さらに、土壌水分の測定や成長量の把握及び樹勢回復措置に伴う効果の確認のため幹周を測定する観測装置（デンドロメーター）を設置し、定期的にモニタリングを実施している。

なお、下記に示す樹勢回復措置を実施済みである。

- ・ヘデラとの水分競合をなくすため、ヘデラを除去するとともに、土壌をほぐす等の土壌改良措置（水圧穿孔）を実施
- ・埋設されている旧通路等を撤去し、根系域を確保
- ・4列いちょう並木西側店舗テラス部分のインターロッキングを撤去し、根系への踏圧対策を目的とした浮き床構造のウッドデッキを設置

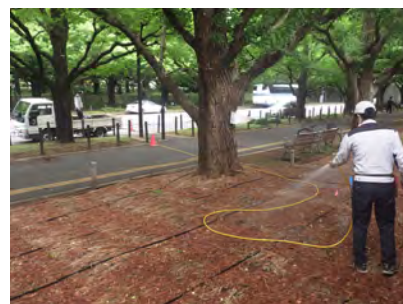


写真 2-5 施肥（液体肥料）の実施状況

表 2-5 (1) 4列いちょう並木の活力度調査結果

活力度	A	B	C	D	合計
事後調査結果（令和7年5月時点）	108本	20本	0本	0本	128本
事後調査結果（令和7年7月時点）	110本	17本	1本	0本	128本
事後調査結果（令和7年10月時点）	88本	35本	5本	0本	128本

上記、令和7年の4列いちょう並木の活力度調査結果については、表中の令和7年5月、7月、10月の本数のみをみると、活力度A（正常なもの）の本数は減少しているように見える。しかしながら、これは令和7年内の季節間比較によるものであり、表 2-5(2)～(4)に示す令和5年および令和6年の各季節の調査結果と比較すると、令和7年は各時期における活力度Aの本数が増加している。以上から、4列いちょう並木の活力度は、過年度比較において改善しているといえる。

表 2-5(2) 4列いちょう並木の活力度調査結果（春季）

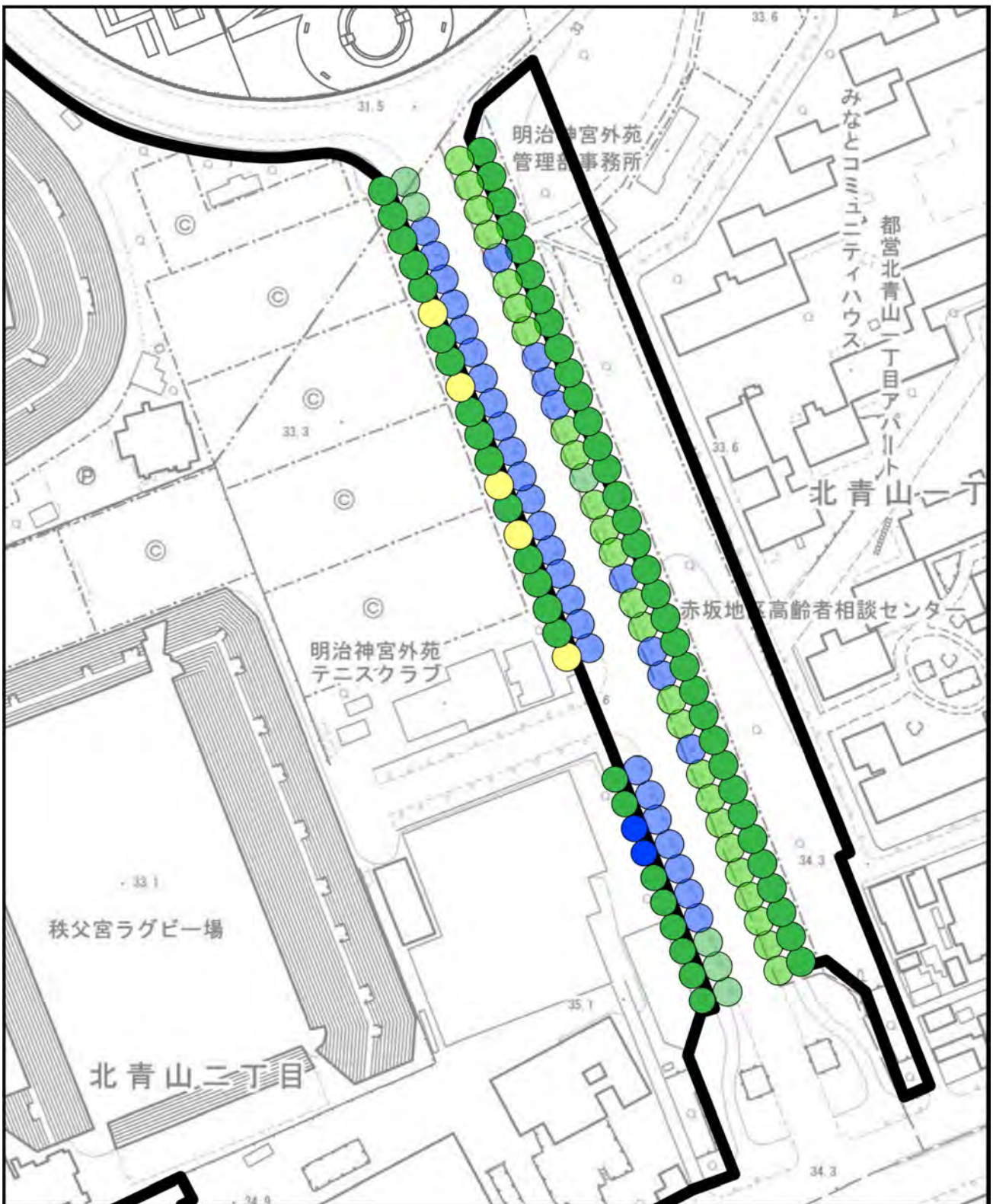
活力度	A	B	C	D	合計
事後調査結果（令和5年5月時点）	1本	125本	2本	0本	128本
事後調査結果（令和6年5月時点）	74本	53本	1本	0本	128本
事後調査結果（令和7年5月時点）	108本	20本	0本	0本	128本

表 2-5(3) 4列いちょう並木の活力度調査結果（夏季）

活力度	A	B	C	D	合計
事後調査結果（令和5年7月時点）	4本	119本	3本	2本	128本
事後調査結果（令和6年7月時点）	74本	50本	4本	0本	128本
事後調査結果（令和7年7月時点）	110本	17本	1本	0本	128本

表 2-5(4) 4列いちょう並木の活力度調査結果（秋季）

活力度	A	B	C	D	合計
事後調査結果（令和5年10月時点）	52本	71本	1本	4本	128本
事後調査結果（令和6年10月時点）	75本	49本	4本	0本	128本
事後調査結果（令和7年10月時点）	88本	35本	5本	0本	128本



凡 例



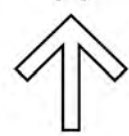
計画地

● 活力度 A

● 活力度 B

● 活力度 C

N



S = 1 / 2,000

0 20 40 60m



注1) 4列いちょう並木及び既存区道のイチョウは令和7年10月時点の調査結果である。

注2) 計画地外のイチョウは薄い色で示している。

図2-8 4列いちょう並木の活力度調査結果（令和7年10月末時点）

(2) 予測条件の状況

1) 緑地の保全状況

計画地内の保存する樹木（存置樹木及び移植樹木）については日常管理として、巡回を毎日実施するとともに、通行等に支障をきたす恐れのある枝葉の剪定や、枯枝除去を行っている。また、樹勢が弱っている樹木に対しては、施肥を実施するとともに、病虫害防除策（キクイムシ侵入防除策）を実施している。

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施するとともに、移植を実施した樹木については養生を行っている。また、新築工事に備え、ラグビー場棟Ⅰ期工事敷地については仮囲いを設置し（図 2-10 参照）、閉鎖管理を行っている。

養生の状況については、根鉢上に稲藁にてマルチング、養生を行うとともに、灌水を週 1～2 回程度実施している。これにより、根鉢周りの乾燥を防ぎ、土壌の温度調整を行っている。また、除草を適宜実施している。

上記以外の緑地については評価書時点と変わっておらず、保全されている（図 2-9 参照）。

また、事後調査報告書（工事の施行中その 2 及びその 3）で報告したとおり、活力度の低下したいちょうに対しては、いちょう周囲の灌水、液体肥料の施肥等を実施するとともに、4 列いちょう並木西側 1 列（縁石から約 10.5m まで）のうち秩父宮ラグビー場東側の港区道より北側部分について、下記に示す樹勢回復措置を継続実施中である。

- ・稲藁マルチングによる乾燥防止等の対応
- ・自動灌水装置の設置（4 列いちょう並木西側店舗前においては舗装ブロックを外し灌水装置を設置）

また、事後調査報告書（工事の施行中その 2）において報告したとおり、下記に示す樹勢回復措置を実施済みである。

- ・ヘデラとの水分競合をなくすため、ヘデラを除去するとともに、土壌をほぐす等の土壌改良措置（水圧穿孔）を実施
- ・埋設されている旧通路等を撤去し、根系域を確保
- ・4 列いちょう並木西側店舗テラス部分のインターロッキングを撤去し、根系への踏圧対策を目的とした浮き床構造のウッドデッキを設置

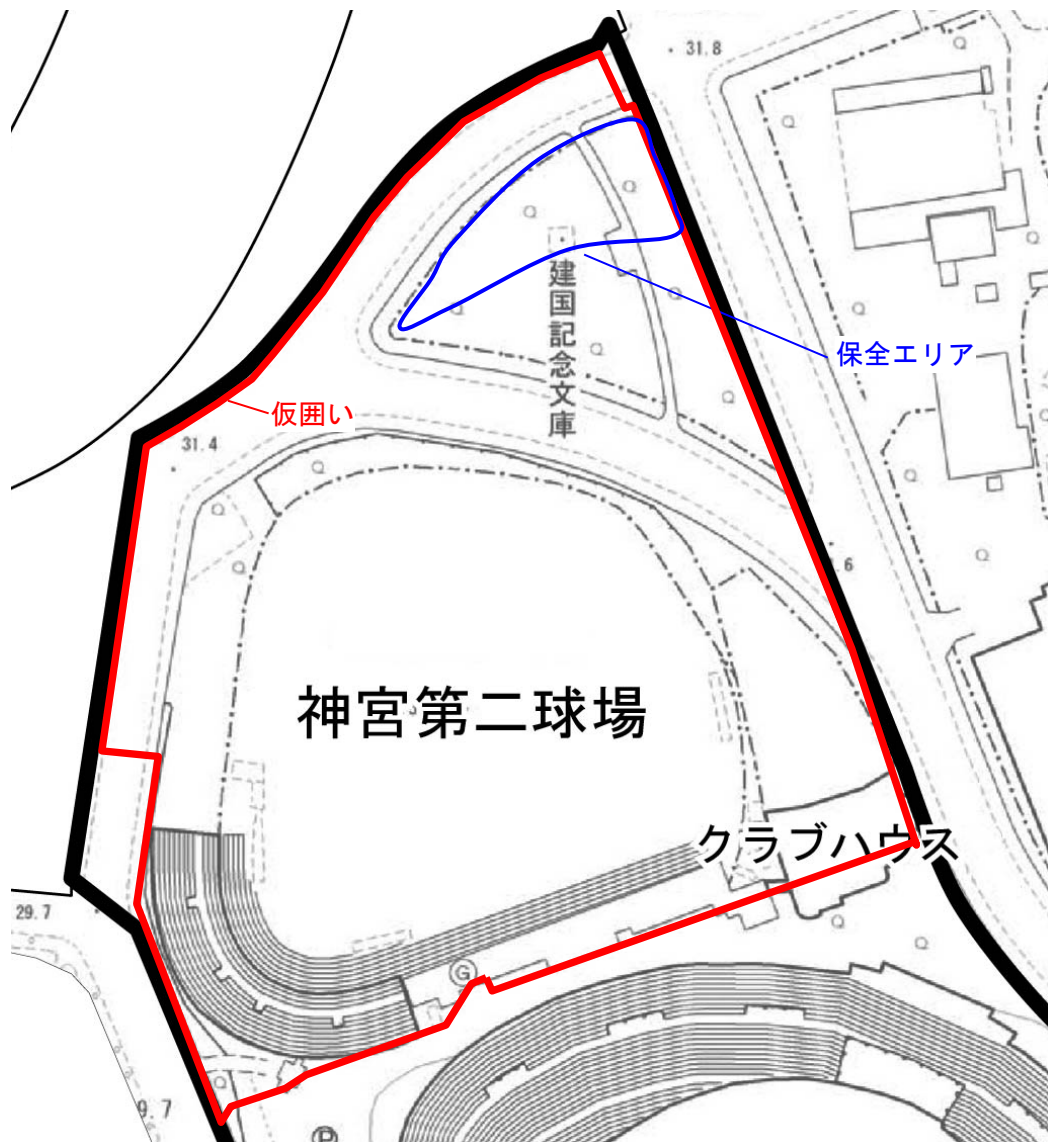


図 2-10 仮囲いの設置範囲（神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺）

2) 計画地内の緑化の状況

計画地内の現状の緑化の状況について、「1) 緑地の保全状況」に記載のとおり、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施するとともに、移植を実施した樹木については養生を行っている。また、新築工事に備え、ラグビー場棟 I 期工事敷地については仮囲いを設置し、閉鎖管理を行っている。

3) 文化交流施設棟周辺及び中央広場廻りの整備状況

新たに創出する文化交流施設棟周辺及び中央広場廻りの緑地について、現時点では整備に着手していない。

4) 計画地周辺の緑地の分布状況

計画地周辺の緑地の分布状況については、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の移植樹木を絵画館前や神宮外苑広場（御観兵榎）、絵画館周りへ本移植を行うとともに、神宮外苑苗圃へ仮移植を実施している。それ以外の緑地については、評価書時点からの変更はない。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 2-6 に示すとおりである。

表 2-6(1) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況
(計画地全般に関する保全措置について)

環境保全のための措置	実施状況	
<p>今後詳細な設計を実施するにあたり、存置する既存樹木の生育に影響が及ばないように、既存樹木の根鉢と計画建物の地下躯体との離隔を保持する等、計画建物の配置等に配慮する。</p>	<p>ラグビー場棟については変更届（令和6年9月）で報告したとおり、北側の建物規模を縮小化し、北東角を最大限後退させることで、存置・移植樹木を増やし、伐採樹木を減らした。</p> <p>また、4列のいちょう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、環境影響評価書においては約8mとしていたが、根系調査結果を踏まえ、いちょうの根系保全範囲は縁石から約17mとし、約17m未満の位置に存在する根については全て切断せずに保護する方針とした。</p>	
<p>計画地中央部に開放的な広場空間を整備し、その周辺の文化交流施設棟やラグビー場棟等も含め歩行者動線とも連携して芝生や高木等を配置するとともに、動植物の生息にも配慮した植栽計画とする。</p>	<p>計画地中央部に整備予定の広場空間や、その周辺の歩行者動線については工事に着手していない。</p>	
<p>計画・設計に関する事項</p>	<p>今後、設計に際しては、樹木保全への配慮を施設設計仕様に盛り込むことや、詳細設計の前倒し等により文化交流施設棟などにおける隅切りや外形線の変更などの建物の形状、新たな緑地を創出する文化交流施設棟の設計などの工夫を行う。</p>	<p>変更届（令和6年9月）で報告したとおり、ラグビー場棟の北側の建物規模を縮小化し、北東角を最大限後退させることで、存置・移植樹木を増やし、伐採樹木を減らした。</p> <p>また、4列のいちょう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、環境影響評価書においては約8mとしていたが、根系調査結果を踏まえ、いちょうの根系保全範囲は縁石から約17mとし、約17m未満の位置に存在する根については全て切断せずに保護する方針とした。</p> <p>それ以外の施設については、今後詳細設計を実施する予定である。</p>
	<p>保存する既存のまとまりのある緑について、緑地（並木東側）については改変を行わない。また、神宮外苑広場（建国記念文庫）の保全エリアの拡大について、施設設計の深度化と併せて継続的に検討し、可能な限り保全エリアを拡大するとともに、ラグビー場の配置、構造等の詳細設計において生物・生態系への影響を回避・最小化する措置について具体的な内容を検討する。</p>	<p>緑地（並木東側）については改変を行っていない。</p> <p>ラグビー場棟については変更届（令和6年9月）で報告したとおり、北側の建物規模を縮小化し、北東角を最大限後退させることで、存置・移植樹木を増やし、伐採樹木を減らした。</p> <p>また、ラグビー場棟の高さを都市計画上の最高高さよりも低く抑え、建物の北側を階段状とするとともに東側及び西側上部の壁面を建物側に傾斜させることで、日照時間を増やし、樹木の生育環境を良好化する計画とした。</p>

表 2-6(2) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況

(計画地全般に関する保全措置について)

	環境保全のための措置	実施状況
計画・設計に関する事項	各施設の設計及び施工計画の詳細を決定していく中で、施工方法の工夫や樹木の保全に配慮した仕様とする。	<p>ラグビー場棟については変更届（令和6年9月）で報告したとおり、北側の建物規模を縮小化し、北東角を最大限後退させることで、存置・移植樹木を増やし、伐採樹木を減らした。</p> <p>また、ラグビー場棟の高さを都市計画上の最高高さよりも低く抑え、建物の北側を階段状とするとともに東側及び西側上部の壁面を建物側に傾斜させることで、日照時間を増やし、樹木の生育環境を良化する計画とした。</p> <p>4列のいちょう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、環境影響評価書においては約8mとしていたが、根系調査結果を踏まえ、いちょうの根系保全範囲は縁石から約17mとし、約17m未満の位置に存在する根については全て切断せずに保護する方針とした。</p> <p>なお、施工に関する樹木の保全への配慮事項については、今後詳細を検討する予定である。</p>
	詳細調査の結果、樹木の生育状況や周辺状況などを現地にてきめ細かく把握したうえで、樹木医が総合的に判断し、85本の樹木については伐採から移植とする。	神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の移植計画を策定し、事後調査報告書（工事の施行中その4）で報告を行った。移植対象とした96本（本移植87本、仮移植9本）について、全ての移植が完了しており、これらの樹木については養生を実施している。
	存置、移植の本数に加え、さらに439本の樹木を新植する計画である（詳細調査の結果反映後）。新植樹木については、植栽時の樹高は3m～8m程度とし、カシ、ケヤキ、サクラ、アオダモやモミジ類などに加え、神宮外苑の特徴ある樹種でもあるヒトツバタゴなどの樹種も取り入れる計画とする。	新植樹木も含めて樹種及び緑化計画の詳細設計を行っている。
	計画地内で確認された注目される植物種として、トサミズキ、ヒトツバタゴ、コムラサキ、シランが確認されている。4種共に人為的に植栽しているものであり、このうちトサミズキ、コムラサキ及びシランについては緑地（並木東側）などに確認されており、計画建築物が建設される箇所では確認されていないことから、現位置で保全する計画であるが、今後、詳細な施工計画を決定する中で変更することとなった場合は移植する計画である。ヒトツバタゴについては計画建築物が建設される箇所でも一部確認されているが、別の場所に継続して植栽を行うか、今後の緑化計画において検討する。	<p>神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の移植により保全するヒトツバタゴ13本については移植（仮移植を含む）を実施済みであり、移植後に養生を行っている。</p> <p>また、緑地（並木東側）など、トサミズキ、コムラサキ、シランが確認されている箇所については改変は行っていない。</p>

表 2-6(3) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況

(計画地全般に関する保全措置について)

	環境保全のための措置	実施状況
計画・設計に関する事項	<p>計画地中央部の広場空間と連続する文化交流施設棟及びラグビー場棟南側の緑地については、文化交流施設棟の高さを抑えることにより、日照の確保及び緑の生育促進に努める。</p>	<p>文化交流施設棟については評価書に記載のとおり高さ約6mで計画しており、高さを抑えることにより、日照の確保及び緑の生育促進に努める計画である。</p>
	<p>植栽樹種は、計画地の潜在自然植生の構成種を中心に選択するとともに、既存樹木を保存、移植利用を行う。</p>	<p>樹種も含めて緑化計画の詳細設計を行っている。</p>
施工に関する事項	<p>施工に際しては、樹木医・設計者・施工者が一体となり設計及び施工計画の深度化を進める中で、樹木の伐採を回避し、保全を図る。保全が困難な場合には、可能な限り移植できるように努める。</p>	<p>ラグビー場棟については変更届（令和6年9月）で報告したとおり、北側の建物規模を縮小化し、北東角を最大限後退させることで、存置・移植樹木を増やし、伐採樹木を減らした。</p> <p>4列のいちよう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、環境影響評価書においては約8mとしていたが、根系調査結果を踏まえ、いちようの根系保全範囲は縁石から約17mとし、約17m未満の位置に存在する根については全て切断せずに保護する方針とした。</p> <p>なお、施工に関する樹木の保全への配慮事項については、今後詳細を検討する予定である。</p>
	<p>工事の施行にあたっては存置樹木を傷つけないように、存置樹木近くに重機を通さないよう工事ヤードを設定するとともに、重機作業員に対して十分な離隔を確保するよう要請する。</p>	<p>神宮外苑広場（建国記念文庫）や神宮第二球場周辺の既存樹木については、工事エリアに仮囲いを設置しており、立ち入りによる踏み固めを制限している。</p>
	<p>工事中においても適宜、樹木医等の立ち会い指導を受ける。</p>	<p>移植樹木の根回し及び養生においては樹木医の立合い指導の下、作業を実施している。</p>
	<p>樹木の状態を把握しながら、適切な時期に施行できるよう、工程に余裕をもって対応する。</p>	<p>神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施しており、落葉樹、常緑樹ともに令和7年11月に樹木の移植を行った。移植後は養生を実施している。</p>
	<p>透水性や硬度が適正かつ十分な植栽基盤（土壌）の厚み及び範囲を確保するとともに、作業時の踏み固めや雨天時の作業を控えるなどの配慮を行う。</p>	<p>根回しの実施に際し、作業時の踏み固めや雨天時の作業を控えるなどの配慮を行った。</p>

表 2-6(4) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況

(計画地全般に関する保全措置について)

環境保全のための措置		実施状況
施工に関する事項	樹木の移植及び新植にあたっては、植付に適した時期に留意するとともに、事前に適切な時期に必要な応じて根回しを行う。	<p>樹木の移植に際しては、事後調査報告書（工事の施行中その3）で報告したとおり、事前に根回しを行った上で、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の対象樹木の移植作業を実施した。</p> <p>移植時期としては、事後調査報告書（工事の施行中その4）において、落葉樹は10月～3月頃、常緑樹は3月～6月頃及び9月～11月頃としている中で、落葉樹、常緑樹ともに令和7年11月に樹木の移植を行った。</p>
	工事発注に際し、上記の環境保全措置を特記仕様書に記載し、設計・施工者、樹木医、事業者が一体となり、環境・樹木保全への配慮を確実に遂行するよう設計・施工者に対して要請していく。	工事に際しては、環境影響評価書及び事後調査計画書に記載の環境保全のための措置の内容を踏まえ、作業を行っている。
管理に関する事項	移植樹及び新植樹には支柱を設置し、根の活着を図るとともに、倒木、傾き等を防止する。	神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の移植樹木については樹木支柱を設置している。
	既存（移植）樹木の根周りが歩行者等により踏み固められないよう、歩行可能な場所を限定し、樹木の保全に努める。	移植樹木の周囲はネット等で囲んでおり、踏み固めを制限している。
	存置・移植された既存樹木及び創出した緑地については、適正な管理育成を行い、豊かな樹木の形成に努める。	<p>存置・移植された既存樹木及び創出した緑地については、剪定等の人為的な手入れは倒木、枝折れなど被害が発生する恐れがある場合や人の通行などに支障がある場合など必要最低限とし、自然な樹形や状態を維持するよう育成を進めることで、将来は高木等の成長によりまとまったみどり空間を創出する計画である。</p> <p>神宮外苑広場（建国記念文庫）や神宮第二球場周辺の移植木については、根鉢上に稲藁にてマルチングを行うとともに、灌水の実施等、適正な管理育成を行っている。</p>
	保全管理方針に基づきムラサキシジミが好む暗くて階層構造を有する樹林・林縁を保全するとともに、生物種のモニタリングと併せて状況に応じた維持管理（順応的管理）を行う。	ムラサキシジミが好む暗くて階層構造を有する樹林・林縁を保全するため、存置・移植された既存樹木及び創出した緑地については、剪定等の人為的な手入れは倒木、枝折れなど被害が発生する恐れがある場合や人の通行などに支障がある場合など必要最低限とし、自然な樹形や状態を維持するよう育成を進めることで、将来は高木等の成長によりまとまったみどり空間を創出する計画である。

表 2-6(5) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況
(保存するいちよう並木について)

環境保全のための措置	実施状況
<p>青山二丁目交差点から聖徳記念絵画館前へと続く特例都道四谷角筈線沿いの4列のいちよう並木を保存する。</p>	<p>青山二丁目交差点から聖徳記念絵画館前へと続く特例都道四谷角筈線沿いの4列のいちよう並木を保存する。</p>
<p>保存する4列のいちよう並木は既存建築物よりもセットバックして計画建築物を配置し、いちよう並木から離隔をとることにより、いちようの生育に配慮する。</p>	<p>4列いちよう並木の西側1列の根系調査結果を踏まえ、環境影響評価書においては約8mとしていた4列のいちよう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、更に約10.3mセットバックし、約18.3mとする。</p>
<p>野球場棟のネットフェンスやスコアボード、照明やひさし等構築物による、日照及び景観への影響が懸念されることから、構築物の配置や素材・色彩の決定に当たっては十分配慮し、影響の低減に努める。</p>	<p>野球場棟による日照及び景観への影響を低減するため、ネットフェンス等の構築物の配置や素材・色彩の検討を行っている。</p>
<p>4列のいちよう並木の西側1列について根系調査を行い、事後調査報告書において報告する。</p>	<p>4列のいちよう並木の西側1列について、根系調査を実施した結果、「10cmメッシュ内に直径30mm以上の根が4本以上ある」箇所は見つからなかった。その旨、事後調査報告書（工事の施行中その2）で報告を行った。</p>
<p>根系調査の段階から、設計者、樹木医、事業者が一体となり、根系の状態に応じた基礎構造、施工方法等を精査する。</p>	<p>4列いちよう並木の西側1列の根系調査結果を踏まえ、環境影響評価書においては約8mとしていた4列のいちよう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、更に約10.3mセットバックし、約18.3mとする。</p>
<p>樹勢に応じた保育管理状況、及び根系調査の結果を踏まえ、建築計画及び施工計画における環境保全のための措置を具体的に示すとともに、事後調査報告書等において報告する。</p>	<p>樹勢に応じた保育管理として、ヘデラ除去、灌水、液体肥料の施肥を継続実施中であり、事後調査報告書（工事の施行中その2及びその3）において報告を行った。 4列いちよう並木の西側1列の根系調査結果を踏まえ、環境影響評価書においては約8mとしていた4列のいちよう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、更に約10.3mセットバックし、約18.3mとする。その旨、事後調査報告書（工事の施行中その2）で報告を行った。</p>
<p>根系調査の結果、いちようの健全な生育へ影響を与えるような根が複数確認された場合は、根を避けるため野球場棟の該当箇所の壁面後退等施設計画の工夫を行う。</p>	<p>4列いちよう並木の西側1列の根系調査結果を踏まえ、環境影響評価書においては約8mとしていた4列のいちよう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、更に約10.3mセットバックし、約18.3mとする。</p>

表 2-6(6) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況

(保存するいちょう並木について)

環境保全のための措置	実施状況
<p>4列のいちょう並木の西側に列植されている既存樹木については移植または伐採する計画であり、その掘り取りによるいちょうへの影響について、前述の根系調査により既存樹木の根系の状態についても合わせて確認を行い、樹木医などの専門家の指示を仰ぎながら必要に応じて対応を行う。</p>	<p>4列のいちょう並木の西側に列植されている既存樹木については、いちょう並木の根系調査結果及び既存樹木の根系の状態を踏まえ、樹木医などの専門家の指示を仰ぎながら必要に応じて対応を行っていく。</p>
<p>扁平基礎やピットの一部縮小などの構造上の対応により、計画建物の工事において杭工事を除き掘り返す深さは、4列いちょう並木沿いについては2メートル程度に抑えられることから、2メートルより深い部分にある根は保全することができる。ただし、既存施設の基礎は深さ1.5メートル程度となっており、また既存施設がない区域もあることから、1.5メートルより浅い箇所にも根が張っている可能性もある。この場合においては、樹木医等の見解を踏まえ、地下部への影響を最小限に抑える施工方法を採用する。このほか、太い根が長く伸びており切断する場合については、樹木医などの専門家の指示を仰ぎながら夏季期間を避ける時期に環状剥皮処理を行う等の検討を行うなど、設計・施工両面から精査し、4列のいちょう並木を確実に保全する。</p>	<p>扁平基礎やピットの一部縮小などの構造上の対応により、計画建物の工事において杭工事を除き掘り返す深さは、4列いちょう並木沿いについては2メートル程度に抑えられることから、2メートルより深い部分にある根は保全することができる。ただし、既存施設の基礎は深さ1.5メートル程度となっており、また既存施設がない区域もあることから、1.5メートルより浅い箇所にも根が張っている可能性もある。この場合においては、樹木医等の見解を踏まえ、地下部への影響を最小限に抑える施工方法を採用する。このほか、太い根が長く伸びており切断する場合については、樹木医などの専門家の指示を仰ぎながら夏季期間を避ける時期に環状剥皮処理を行う等の検討を行うなど、設計・施工両面から精査し、4列のいちょう並木を確実に保全する。</p>
<p>杭基礎の位置・間隔、断面積、断面形状については、根系調査等の結果を受けて、設計、施工計画に反映し柔軟に対応する。</p>	<p>杭基礎の位置・間隔、断面積、断面形状については、根系調査等の結果を受けて、設計、施工計画に反映し柔軟に対応する。</p>
<p>いちょうの健全な生育へ影響を与えるような根が複数確認され、環状剥皮処理が不適当な場合は、根を避けるため該当箇所の壁面を後退させる等の施設計画の工夫等を行い、いちょうを保全する。</p>	<p>いちょう並木の根系調査結果を踏まえ、環境影響評価書においては約8mとしていた4列のいちょう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、更に約10.3mセットバックし、約18.3mとする。</p>
<p>基礎梁をプレキャスト化、杭は既成杭等を検討する。</p>	<p>基礎梁をプレキャスト化、杭は既成杭等を検討する。</p>
<p>環状剥皮処理を行う場合は、夏季期間を確実に避けられるよう、施工適期までに余裕を持った調査及び処理工程とする。</p>	<p>環状剥皮処理を行う場合は、夏季期間を確実に避けられるよう、施工適期までに余裕を持った調査及び処理工程とする。</p>
<p>樹木の生育に必要な根系範囲を設定し、この範囲内の根系を保護する。根系範囲内の掘削は、人力施工等により行い、根の切断を防ぐよう配慮する。</p>	<p>4列いちょう並木の西側1列の根系調査結果を踏まえ、環境影響評価書においては約8mとしていた4列のいちょう並木の西側1列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、更に約10.3mセットバックし、約18.3mとする。 また、根系範囲内の掘削は、人力施工等により行い、根の切断を防ぐよう配慮する。</p>

表 2-6(7) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況

(保存するいちょう並木について)

環境保全のための措置	実施状況
樹木の周辺の舗装は浮き床方式を採用し、支持基礎についても最小限で検討する。	樹木の周辺の舗装は浮き床方式を採用し、支持基礎についても野球場棟の詳細設計を行う中で最小限で検討する。
工事中においても適宜、樹木医等の立ち会い指導を受ける。	現時点では野球場棟の工事に着手していないが、4列いちょう並木周辺の工事にあたっては適宜、樹木医の立ち会いを実施する計画である。
工事の施行にあたっては存置樹木を傷つけないように、存置樹木近くに重機を通さないよう工事ヤードを設定するとともに、重機作業員に対して十分な離隔を確保するよう要請する。	現時点では野球場棟の工事に着手していないが、4列いちょう並木周辺の工事にあたっては工事ヤードの設定など、踏み固めに配慮する計画である。
施工にあたっては根への負担を軽減するため、工事用車両の出入りに際しても、4列のいちょう並木沿いの歩道を跨がないよう出入口を配置し、施工は球場の内側から行うことで、根への負担を軽減する。	現時点では野球場棟の工事に着手していないが、4列のいちょう並木沿いの歩道を跨がないよう出入口を配置し、施工は球場の内側から行う計画である。
仮囲いは置基礎タイプとして打ち込まず根に配慮する。	現時点では野球場棟の工事に着手していないが、4列いちょう並木周辺の仮囲いは置基礎タイプとする計画である。
野球場棟の防球ネットによる4列のいちょう並木への日影の影響については、今後、安全性も考慮した上で防球ネットの透過性等の詳細を検討する中で日影についても配慮し検討を行う。	野球場棟による日影への影響を低減するため、防球ネットの透過性等の検討を行っている。
工事の施行中及び完了後の一定期間にわたり、いちょう並木の活力度調査などモニタリングを実施し、状況に応じた環境保全のための措置を継続し、保育管理を実施することで、将来にわたり4列のいちょう並木を健全に育成する。	4列いちょう並木については工事中の毎年及び工事の完了後において活力度調査を実施する計画であり、令和5年及び令和6年分(5月、7月、10月)については事後調査報告書(工事の施行中その2及びその3)で報告を行った。令和7年分(5月、7月、10月)については本事後調査報告書において報告する。 また、現在テニスコートとなっている土壌のうち、縁石から約10.5m～17mの表層土(20～30cm)について、良質客土に置換するとともに、その下層1mまでは水圧式の土壌改良等を行う計画であり、これにより根系の伸長可能な領域を現在の緑地幅(約10.5m)より60～70%増加させることが可能となる。さらに、毎年実施する4列いちょう並木の活力度調査結果を踏まえ、活力度の低下したいちょう等に対しては、いちょう周囲の灌水、液体肥料の施肥や、必要に応じてヘデラ除去を実施するなど、樹勢に応じた樹木の保育管理を継続し、保全していく計画である。

表 2-6(8) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況

(神宮外苑広場(建国記念文庫)等の緑地について)

環境保全のための措置	実施状況
<p>神宮外苑広場(建国記念文庫)等の植栽樹は、存置もしくは移植により極力残す計画とする。</p>	<p>変更届(令和6年9月)で報告したとおり、神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場周辺の存置・移植樹木を増やし、伐採樹木を減らす計画とした。</p> <p>また、移植対象樹木96本のうち、令和7年6月末までに90本の移植(70本の本移植及び20本の仮移植)が完了しており、その状況は事後調査報告書(工事の施行中その4)において報告を行った。その後、令和7年11月に残りの6本の移植(神宮外苑広場(建国記念文庫)から神宮外苑広場(建国記念文庫)へ4本、神宮第二球場周辺からラグビー場棟敷地西側へ1本、神宮外苑広場(建国記念文庫)へ1本を本移植)を実施するとともに、仮移植中の20本の樹木のうちラグビー場棟敷地西側から神宮外苑広場(建国記念文庫)へ11本の本移植が完了している。</p>
<p>神宮外苑広場(建国記念文庫)等の緑地が一部改変されるが、文化交流施設棟周辺及び中央広場廻りにおいて、神宮外苑広場(建国記念文庫)等から約112本の樹木を移植し、新たに新植樹木も配置することで神宮外苑広場(建国記念文庫)の樹林及び生態系を復元するとともに、次の100年に受け継ぐ緑地環境を整備する。</p>	<p>神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植作業を実施している。</p> <p>これらの樹木や計画地内の移植対象樹木の一部は仮移植を経て、文化交流施設棟周辺及び中央広場廻りに本移植し、次の100年に受け継ぐ緑地環境を整備する計画である。</p>
<p>仮移植期間中及び本移植後においては定期的に樹木医によるモニタリングを行い、必要な処置を講じた上で事後調査報告書にて報告する。</p>	<p>神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植作業を実施しており、仮移植期間中及び本移植後の活力度調査を行い、必要な処置を講じた上で本事後調査報告書にて報告を行った。</p>
<p>計画の深度化に伴い、移植時期、方法、現況の土壌環境の状況を踏まえた植栽基盤確保の考え方、仮移植期間における養生計画及び養生期間中のモニタリング結果を反映した本移植計画等については今後、事後調査報告書等において報告する。</p>	<p>神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場周辺において、移植時期、方法、現況の土壌環境の状況を踏まえた植栽基盤確保の考え方、仮移植期間における養生計画について、事後調査報告書(工事の施行中その4)で報告を行った。</p>

表 2-6(9) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況
(神宮外苑広場(建国記念文庫)等の緑地について)

環境保全のための措置	実施状況
ラグビー場の詳細な形状については今後、新ラグビー場設計者に対して、圧迫感や閉鎖性の緩和、既存樹木の保全等に留意したデザインなどを、引き続き検討するよう要請する。また、改めて既存樹木について設計・施工の両面からの工夫等により保存又は移植を検討し、自然環境の保全に努めるよう要請する。	ラグビー場棟については変更届(令和6年9月)で報告したとおり、北側の建物規模を縮小化し、北東角を最大限後退させることで、存置・移植樹木を増やし、伐採樹木を減らした。 また、ラグビー場棟の高さを都市計画上の最高高さよりも低く抑え、建物の北側を階段状とするとともに東側及び西側上部の壁面を建物側に傾斜させることで、日照時間を増やし、樹木の生育環境を良化するとともに、圧迫感や閉鎖性の緩和を図る計画とした。
ラグビー場棟の東側及び北側には都市計画上地区施設として定められている緑道を整備するほか、既存樹木の保存や移植による保全、新植による緑量の確保や質の向上にも配慮し、設計・建設等の各段階において関係機関と協議を行う。	変更届(令和6年9月)で報告したとおり、ラグビー場棟の東側及び北西側には都市計画上地区施設として定められている緑道を整備するほか、既存樹木の存置や移植による保全、新植による緑量の確保や質の向上にも配慮する計画とした。

表 2-6(10) 生物・生態系に関する環境保全のための措置の実施状況
(予測に反映しなかった措置)

環境保全のための措置	実施状況
植栽後の樹木の状況(植栽状況、生育状況等)について確認するとともに、灌水や剪定等適切な管理を実施することにより、動植物の生育・生息環境の維持に配慮する。	移植樹木を含めて予測対象とした全数の樹木については活力度調査を実施し、その結果を事後調査報告書(工事の施行中その2)に掲載するとともに、調査結果を受けて病害防除対策等の処置を実施した。また、ラグビー場棟敷地内(神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場の一部、野球場三塁側の一部)については対象樹木の移植作業を実施しており、仮移植期間中及び本移植後の活力度調査を行うとともに、養生として灌水や稲藁によるマルチングを敷設して乾燥防止に努めている。 なお、ラグビー場棟敷地内(神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場の一部、野球場三塁側の一部)については樹木の保全及び安全対策のため仮囲いを設置して閉鎖管理を行っている。
陸上植物、陸上動物及び生育・生息環境、生態系への影響の程度は不確実性を伴うことから、事後調査により事業の実施による影響を確認し、必要に応じて一層の環境保全措置を講じるとともに、その内容を事後調査報告書において報告する。	植物相及び動物相についてはラグビー場棟、野球場棟の竣工後、及び工事の完了後に事後調査を実施する計画である。また、ラグビー場棟の竣工後については神宮外苑広場(建国記念文庫)の保全管理方針を、野球場棟の竣工後についてはいちよう並木(4列)の保全管理方針を事後調査報告書において報告する計画である。

3.2 予測結果と事後調査の結果との比較検討

(1) 予測した事項

- 1) 植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列））

ア. 既存樹木の状況

計画地全体の既存樹木の状況については、下記の(ア)～(エ)に示すとおりである。なお、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び4列いちょう並木の状況については、「イ. 神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況」「ウ. いちょう並木の保全状況（4列）」に記載のとおりである。

(ア) 既存樹木の本数

既存樹木の本数について、予測結果（変更届（令和6年9月））と事後調査結果の比較は、表2-7に示すとおりである。既存樹木の本数については、変更届（令和6年9月）時点においては存置が616本、移植が193本、移植検討が19本、伐採が511本であったが、変更届（令和6年9月）以降、枯損等（立ち枯れや腐朽等）が16本増加したことに伴い、存置が608本、移植が193本、移植検討が19本、伐採が503本となった。枯損等により、存置が8本、伐採が8本減少している。

また、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木87本の移植、62本の伐採作業を実施済みである。

表2-7 既存樹木の本数

本数	存置	移植	移植検討	伐採	枯損等	合計
①評価書における予測結果	615本	191本	19本	556本	—	1,381本
②変更届（令和6年9月）	616本	193本	19本	511本	42本	1,381本
③事後調査結果	608本	193本	19本	503本	58本	1,381本
④移植、伐採済み	—	87本 ^{注)}	0本	62本	—	149本
差分（③－②）	－8本	0本	0本	－8本	+16本	0本

注) 仮移植済みの9本は含めていない。

(イ) 保全管理の状況及び保全管理方針

樹勢が弱っている樹木に対しては、施肥を実施するとともに、病虫害防除策（キクイムシ侵入防除策）を実施している。

今後も保全管理方針として、樹勢が弱っている樹木に対して施肥の実施、定期巡回による病虫害被害状況を確認するとともに、病虫害防除策の実施、定期剪定による樹木の生育環境の保全を実施する予定である。

(ウ) 移植樹木の状況

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺の96本の移植樹木のうち、90本については令和7年6月末までに仮移植及び本移植を行い、事後調査報告書（工事の施行

中その4)において報告を行った。令和7年7月以降、残りの6本について本移植を行うとともに、ラグビー場棟敷地西側に仮移植していた11本について、神宮外苑広場（建国記念文庫）へ本移植を行った。これにより、移植計画に示した96本（本移植87本、仮移植9本）について、移植が完了した。

移植対象の96本の樹木のうち92本について、令和7年に移植後のモニタリング（活力度調査）を実施した。

樹勢、樹形、枝葉の密度、葉の色の評価については、「優」から「やや不良～不良」であり、先端の衰弱枯損については、「優」から「不良」、大枝の枯損については「優」から「やや不良」であった。また、支柱の状況は全て「優」であった。

項目によって「やや不良」「やや不良～不良」「不良」と評価される樹木もあるが、移植後の根の活着、枝葉伸長による樹形再生には数年かかるため、このような評価となったと考えられる。

移植した樹木については現時点で枯損等は生じておらず、灌水の実施や下草との水分競合をなくすため、除草を実施する等、適切な管理を行っている。

(エ) 秩父宮ラグビー場東側の港区道等のイチョウの移植検討のための調査及び措置の概要

ア) 調査及び措置の概要

秩父宮ラグビー場東側に所在する港区道等のイチョウ（19本）^{注)}は、環境影響評価書において「移植を検討する樹木」として位置づけており、野球場棟の工事着手前までに野球場棟北側エリアに移植することを検討している。

事後調査報告書（工事の施行中その3）で報告したとおり、移植を検討するにあたり令和7年2月において、イチョウ2本（西15、西22）に対し、根や土壌の現況確認、樹木周囲一部の根回し、樹勢助長措置を実施するとともに、令和7年3月～令和8年2月において、効果検証のための維持管理・継続調査を行った。継続調査の結果はイ)に示すとおりである。

また、令和8年2月においては、残りのイチョウの17本に対し、エ)に示すとおり樹勢助長措置を実施した。

イ) 継続調査の結果

① 発根調査

令和7年2月にイチョウ2本の樹木周囲一部の根回し、樹勢助長措置を実施し、令和7年6月及び12月に根回し部の一部を掘削し、露出面の状況を観察した。畔シートの内側に約15cm程度充填したバーク堆肥に新たな根系伸長が見られるかどうかの確認を行った結果、6月時点ではまだ露出面の根系確認はできなかったものの、12月時点では、西15、西22ともに細根の発達が確認できた。土壌的には歩道、車道下部の赤土は良好で、根系の発達も確認されていること等から、当該2本の調査結果や樹木医の意見などから判断すると、現時点で同様の生育環境にある港区道内の18本のいちょうの移植は可能と考えられ、さらに港区道外の1本（T01-38）も含め、全19本の移植を検討していく。

注) 港区道イチョウ18本及び明治神宮外苑敷地内イチョウ1本、合計19本

②デンドロメーターによる幹周調査結果

令和7年2月に樹勢助長措置を実施したイチョウ2本（西15、西22）について、デンドロメーターによる幹周調査を実施した。また、比較対象として、隣接するイチョウ（西14、西23）についても同様に幹周調査を実施した。

時間の経過に伴う成長比の増加を確認するため、単回帰分析を実施したところ、令和7年2月に樹勢助長措置を実施したイチョウ2本について見ると、西15の傾きが0.0202と調査した4本の中で最も高く、順調な生育を示している。西22は-0.001とマイナスの傾きであり、現時点では樹勢助長措置の効果は見られていないものの、今後も継続して確認する予定である。

上記の2本に隣接した、令和7年2月に樹勢助長措置を実施していないイチョウについては、西23の成長比がプラスの傾きで0.0175、西14は-0.0024とマイナスの傾きであった。

幹周については今後も継続的に観測していく計画である。

リ) 活力度調査の結果

活力度調査の結果、港区道沿いの18本については令和7年5月～10月にかけて活力度A（正常なもの）～活力度B（普通、正常に近い）で推移していた。

エ) 樹勢助長措置

①実施期間

令和8年2月

②対象位置

秩父宮ラグビー場東側に所在する港区道等のイチョウのうち、令和7年に先行して調査・措置を行った2本（西15及び西22）以外の17本を対象とした。

③措置の内容

- ・港区道内16本（西11～西28^{注1}）

港区道内の16本については、歩道側の舗装部と砕石部を深さ0.3m内外まで撤去し、良質の土壌と入れ替え、イチョウの根系にとって良好な土壌環境へ改善を図った。また、緑地帯のヘデラ類を除去し、水分競合の対策を行うとともに、水圧式土壌改良の実施、稲藁マルチングの敷設、灌水設備の設置を行い、乾燥防止および適正な水分供給を図った。

- ・明治神宮外苑敷地内1本（T01-38^{注2}）

明治神宮外苑敷地内の1本については港区道内の16本と生育環境が異なり、いちよう並木沿道店舗内に植えられており、かつ当該店舗のデッキ内部分に根が存在するため、デッキ内に灌水設備を設置し、水分供給による乾燥防止対策を行った。

注1 先行して樹勢助長措置を行った西15、西22を除く。

注2 環境影響評価書に示した毎木調査票の樹木番号であり、T01-38は4列いちよう並木西側店舗付近のイチョウである。

イ. 神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場の樹木については、事後調査報告書（工事の施行中その4）の移植計画に示した96本（本移植87本、仮移植9本）について、全ての移植が完了している。これら移植が完了した樹木については養生を行っている。また、伐採対象とした樹木62本についても全て伐採が完了している。

移植木の養生の状況については、事後調査報告書（工事の施行中その2及びその3）で報告したとおり、根鉢上に稲藁にてマルチングを行うとともに、灌水を週1～2回程度実施している。これにより、根鉢周りの乾燥を防ぎ、土壌の温度調整を行っている。また、除草及び病害防除対策を適宜実施している。なお、移植樹木について、現時点で枯損しているものはない。

樹木については日常管理として、巡回を実施するとともに、枝葉の剪定や、枯枝除去を行っている。また、これらの作業のため、神宮外苑広場（建国記念文庫）を含むラグビー場棟Ⅰ期工事敷地へ仮囲いを設置し、閉鎖管理を行っている。

ウ. いちょう並木の保全状況（4列）

4列いちょう並木の活力度調査は、事後調査計画では工事の施行中の毎年6月頃に調査を実施する予定であるが、令和5年及び令和6年と同様に事後調査計画の調査回数を変更し、春（5月）、夏（7月）、秋（10月）の3回調査を実施した。活力度の状況を詳細に把握するため、いちょう並木の景観を維持する目的で剪定により樹形を整えている先端部（頂部）と、自然な樹形を整えているそれ以外の部分（頂部以外）に分けて調査した上で、評価書と同様に全ての項目の平均評点を総合評価とした。

4列いちょう並木の活力度は、令和7年5月時点では活力度A（正常なもの）が108本、活力度B（普通、正常に近い）が20本、活力度C（悪化のかなり進んだもの）が0本、活力度D（顕著に悪化の進んでいるもの）が0本であった。令和7年7月時点では活力度Aが110本、活力度Bが17本、活力度Cが1本、活力度Dが0本であった。令和7年10月時点では活力度Aが88本、活力度Bが35本、活力度Cが5本、活力度Dが0本であった。

活力度Cとなった5本のいちょうについては、先端部（頂部）は活力度C～Dであるのに対し、それ以外の部分（頂部以外）は活力度B～Cであり、先端部（頂部）の活力度がそれ以外の部分（頂部以外）に対して悪くなっている（資料編 p. 216～245 参照）。

春季については活力度Aが令和5年5月の1本から令和7年5月では108本と増加傾向にあり、7月時点においても同様に活力度の改善がみられる。10月時点においては令和6年から令和7年にかけて活力度Cが4本から5本に増加したものの、活力度Aが75本から88本に増加しており、全体としては活力度の改善がみられる。

これについては、ヘデラの除去や稲藁マルチング、灌水など、令和6年及び令和7年に事業者にて実施した樹勢回復措置の実施の効果も考えられる。

春季、夏季、秋季ともに、4列のいちょう並木のうち東側2列は活力度AまたはBである。西から2列目については概ね活力度AまたはBであるが、西から1列目の一部で活力度Cが出現している。

上記の活力度Cとなっているいちょうは、令和5年及び令和6年の活力度調査で活力度CまたはDと診断されたいちょうであり、事後調査報告書（工事の施行中その2）において

報告したとおり、検査機関に照会した結果、病虫害ではないことが確認されている。

また、事後調査報告書（工事の施行中その2及びその3）で報告したとおり、活力度の低下したいちょうに対しては、いちょう周囲の灌水、液体肥料の施肥等を実施するとともに、4列いちょう並木西側1列（縁石から約10.5mまで）のうち秩父宮ラグビー場東側の港区道より北側部分について、下記に示す樹勢回復措置を継続実施中である。

- ・稲藁マルチングによる乾燥防止等の対応
- ・自動灌水装置の設置（4列いちょう並木西側店舗前においては舗装ブロックを外し灌水装置を設置）

さらに、土壌水分の測定や成長量の把握及び樹勢回復措置に伴う効果の確認のため幹周を測定する観測装置（デンドロメーター）を設置し、定期的にモニタリングを実施している。

なお、下記に示す樹勢回復措置を実施済みである。

- ・ヘデラとの水分競合をなくすため、ヘデラを除去するとともに、土壌をほぐす等の土壌改良措置（水圧穿孔）を実施
- ・埋設されている旧通路等を撤去し、根系域を確保
- ・4列いちょう並木西側店舗テラス部分のインターロッキングを撤去し、根系への踏圧対策を目的とした浮き床構造のウッドデッキを設置

表 2-8 4列いちょう並木の活力度調査結果（平成31（令和元）年春季調査との比較）

活力度		A	B	C	D	合計
①	平成31（令和元）年春季調査	126本	2本	0本	0本	128本
②	事後調査結果 （令和5年5月時点）	1本	125本	2本	0本	128本
③	事後調査結果 （令和6年5月時点）	74本	53本	1本	0本	128本
④	事後調査結果 （令和7年5月時点）	108本	20本	0本	0本	128本
④-①	平成31（令和元）年春季調査と 令和7年5月時点との差分	-18本	+18本	0本	0本	-

注) 事後調査結果(②~④)のいちょう並木の活力度について、上部は一般的ではないイチョウの樹形で維持されているため、剪定をして樹形を整えている先端部(頂部)と自然な樹形を整えているそれ以外の部分(頂部以外)に分けて詳細に調査した上で、評価書と同様に全ての項目の平均評点を総合評価とする方法によった。

表 2-9(1) 4 列いちよう並木の活力度調査結果 (春季)

活力度		A	B	C	D	合計
①	事後調査結果 (令和 5 年 5 月時点)	1 本	125 本	2 本	0 本	128 本
②	事後調査結果 (令和 6 年 5 月時点)	74 本	53 本	1 本	0 本	128 本
③	事後調査結果 (令和 7 年 5 月時点)	108 本	20 本	0 本	0 本	128 本
③-②	令和 6 年 5 月時点と 令和 7 年 5 月時点 との差分	34 本	-33 本	-1 本	0 本	-

注) 事後調査結果 (①~③) のいちよう並木の活力度について、上部は一般的ではないイチョウの樹形で維持されているため、剪定をして樹形を整えている先端部 (頂部) と自然な樹形を整えているそれ以外の部分 (頂部以外) に分けて詳細に調査した上で、評価書と同様に全ての項目の平均評点を総合評価とする方法によった。

表 2-9(2) 4 列いちよう並木の活力度調査結果 (夏季)

活力度		A	B	C	D	合計
①	事後調査結果 (令和 5 年 7 月時点)	4 本	119 本	3 本	2 本	128 本
②	事後調査結果 (令和 6 年 7 月時点)	74 本	50 本	4 本	0 本	128 本
③	事後調査結果 (令和 7 年 7 月時点)	110 本	17 本	1 本	0 本	128 本
③-②	令和 6 年 7 月時点と 令和 7 年 7 月時点 との差分	36 本	-33 本	-3 本	0 本	-

注) 事後調査結果 (①~③) のいちよう並木の活力度について、上部は一般的ではないイチョウの樹形で維持されているため、剪定をして樹形を整えている先端部 (頂部) と自然な樹形を整えているそれ以外の部分 (頂部以外) に分けて詳細に調査した上で、評価書と同様に全ての項目の平均評点を総合評価とする方法によった。

表 2-9(3) 4 列いちよう並木の活力度調査結果 (秋季)

活力度		A	B	C	D	合計
①	事後調査結果 (令和 5 年 10 月時点)	52 本	71 本	1 本	4 本	128 本
②	事後調査結果 (令和 6 年 10 月時点)	75 本	49 本	4 本	0 本	128 本
③	事後調査結果 (令和 7 年 10 月時点)	88 本	35 本	5 本	0 本	128 本
③-②	令和 6 年 10 月時点と 令和 7 年 10 月時点 との差分	13 本	-14 本	+1 本	0 本	-

注) 事後調査結果 (①~③) のいちよう並木の活力度について、上部は一般的ではないイチョウの樹形で維持されているため、剪定をして樹形を整えている先端部 (頂部) と自然な樹形を整えているそれ以外の部分 (頂部以外) に分けて詳細に調査した上で、評価書と同様に全ての項目の平均評点を総合評価とする方法によった。

事後調査の結果

調査項目：自然との触れ合い活動の場

調査した事項：自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度

1. 調査地域

計画地内及びその周辺とした。

2. 調査手法

2.1 調査事項

(1) 予測した事項

1) 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度

(2) 予測条件の状況

1) 緑地の保全状況及び緑化の状況

2) 工事の実施状況

3) 歩行者動線の状況

(3) 環境保全のための措置の実施状況

2.2 調査時点

(1) 予測した事項

1) 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度
令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの期間とした。

(2) 予測条件の状況

1) 緑地の保全状況及び緑化の状況

令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの期間とした。

2) 工事の実施状況

「1) 緑地の保全状況及び緑化の状況」と同様とした。

3) 歩行者動線の状況

「1) 緑地の保全状況及び緑化の状況」と同様とした。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの工事の施行中の随時とした。

2.3 調査地点

- (1) 予測した事項
 - 1) 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度
計画地内及びその周辺とした。
- (2) 予測条件の状況
 - 1) 緑地の保全状況及び緑化の状況
計画地内及びその周辺とした。
 - 2) 工事の実施状況
 - 「1) 緑地の保全状況及び緑化の状況」と同様とした。
 - 3) 歩行者動線の状況
 - 「1) 緑地の保全状況及び緑化の状況」と同様とした。
- (3) 環境保全のための措置の実施状況
計画地内及びその周辺とした。

2.4 調査方法

- (1) 予測した事項
 - 1) 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度
計画地内及びその周辺の歩行者動線等を踏査し、目視で確認する方法とした。
- (2) 予測条件の状況
 - 1) 緑地の保全状況及び緑化の状況
現地調査(写真撮影等)及び関連資料(施工計画、建設作業日報等)の整理による方法とした。
 - 2) 工事の実施状況
 - 「1) 緑地の保全状況及び緑化の状況」と同様とした。
 - 3) 歩行者動線の状況
 - 「1) 緑地の保全状況及び緑化の状況」と同様とした。
- (3) 環境保全のための措置の実施状況
現地調査(写真撮影等)及び関連資料(施工計画、建設作業日報等)の整理による方法とした。

3. 調査結果

3.1 事後調査の結果の内容

(1) 予測した事項

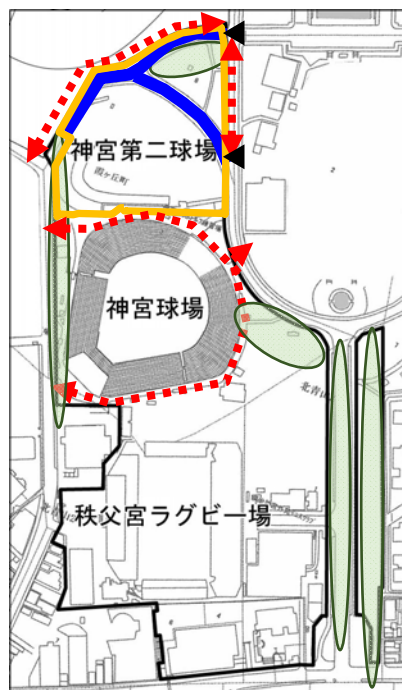
1) 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度

神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施するとともに、神宮第二球場の解体工事が終了している。新築工事に備え、ラグビー場棟 I 期工事敷地となる歩道の閉鎖を行っているが、交通整理員を配置するとともに迂回路への誘導を行い、歩行者の通行に支障がないように配慮している(写真 3-1 参照)。

それ以外の場については、周辺の緑地や広場について改変は行われておらず(図 3-2 及び写真 3-2 参照)、上記以外の場所の歩道の閉鎖は行っていないため、自然との触れ合い活動の場までの利用経路は確保されている(図 3-1 参照)。



写真 3-1 交通整理員の配置及び迂回路への誘導状況



- ◀---▶ : 歩行者動線(地上レベル)
- : 歩道閉鎖区間
- : 仮囲い
- : 緑地
- ▶ : 工事用車両出入口

図 3-1 歩行者動線及び広場の状況

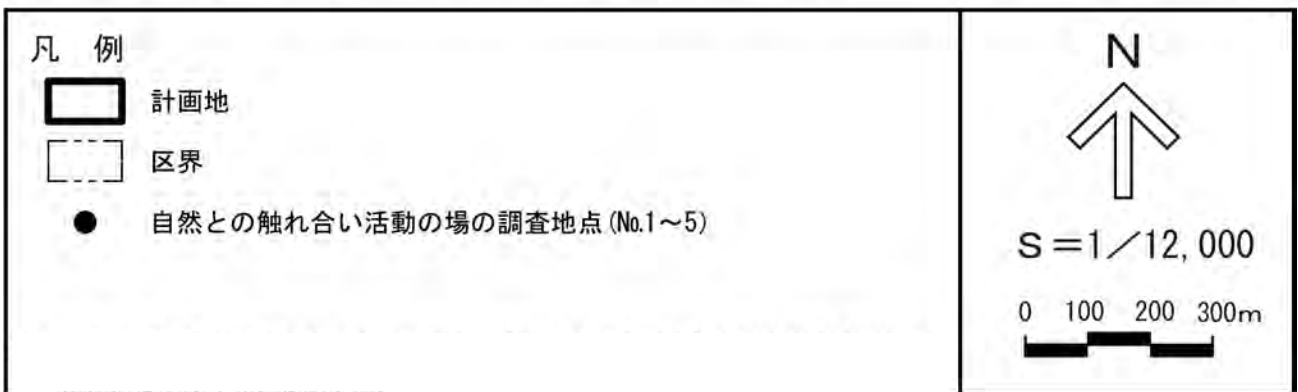
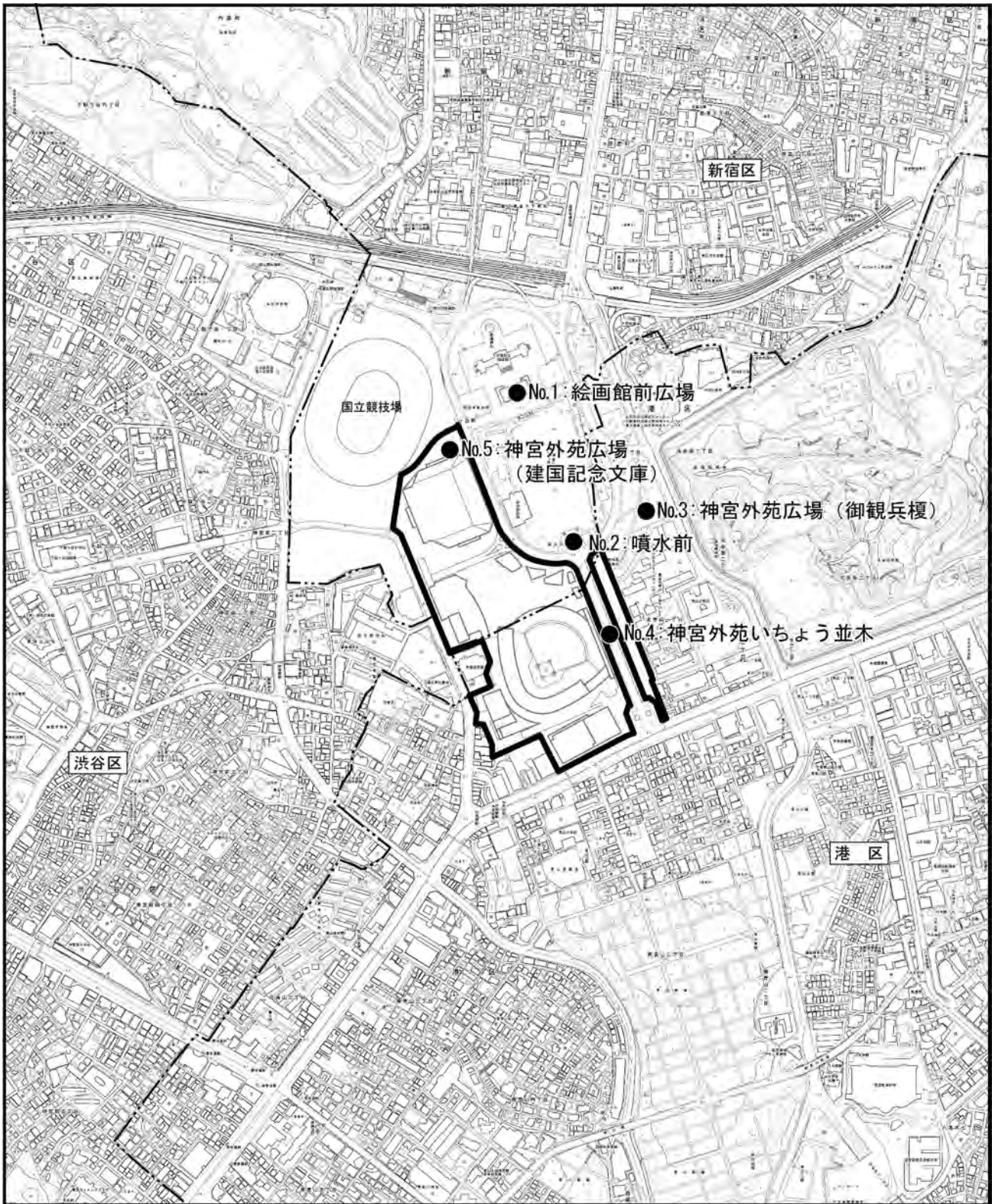


図 3-2 自然との触れ合い活動の場の調査地点



No. 1 : 絵画館前広場



No. 2 : 噴水前



No. 3 : 神宮外苑広場（御観兵榎）



No. 4 : 神宮外苑いちょう並木



No. 5 : 神宮外苑広場（建国記念文庫）

写真3-2 計画地及び周辺の自然との触れ合い活動の場の状況

(2) 予測条件の状況

1) 緑地の保全状況及び緑化の状況

計画地内の保存する樹木（存置樹木及び移植樹木）については日常管理として、巡回を毎日実施するとともに、通行等に支障をきたす恐れのある枝葉の剪定や、枯枝除去を行っている。また、樹勢が弱っている樹木に対しては、施肥を実施するとともに、病虫害防除策（キクイムシ侵入防除策）を実施している。

神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施するとともに、移植を実施した樹木については養生を行っている。

養生の状況については、根鉢上に稲藁にてマルチング、養生を行うとともに、灌水を週 1～2 回程度実施している。これにより、根鉢周りの乾燥を防ぎ、土壌の温度調整を行っている。また、除草を適宜実施している。

4 列のいちょう並木のうち、秩父宮ラグビー場東側の港区道より北側部分については、稲藁マルチングや灌水装置の設置など、樹勢回復措置を継続実施中である。

上記以外の緑地については評価書時点と変わっておらず、保全されている。

2) 工事の実施状況

工事の実施状況としては、現在、神宮第二球場の解体が終了している。

また、「1) 緑地の保全状況及び緑化の状況」に記載したとおり、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施している。また、新築工事に備え、ラグビー場棟 I 期工事敷地については仮囲いを設置している。

3) 歩行者動線の状況

「2) 工事の実施状況」に記載したとおり、ラグビー場棟 I 期工事敷地については仮囲いを設置するとともに、ラグビー場棟 I 期工事敷地となる歩道の閉鎖を行っており、歩行者の通行が出来ない状況となっている。そのため、ラグビー場棟 I 期工事敷地の北側～西側については国立競技場敷地との間の歩行空間に歩行者の誘導を行っている。なお、東側、南側については既存の歩道及び敷地内通路の通行を確保できている。

それ以外の場については、本事業により歩道の閉鎖は行っておらず、自然との触れ合い活動の場までの利用経路は確保されている。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 3-1 に示すとおりである。

令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの間に、自然との触れ合い活動の場に関する苦情はなかった。

表3-1 自然との触れ合い活動の場に係る環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置	実施状況
工事用車両の出入口に交通整理員を配置することにより、周囲の歩道を利用する一般の歩行者の円滑な通行を確保する。	工事用車両の出入の際には出入口に交通整理員を配置し、一般の歩行者の円滑な通行を確保している。
工事の施行により周辺の歩道が通行できなくなる場合は迂回路を設置し、歩行者の通行に支障がないよう配慮する。	ラグビー場棟 I 期工事敷地となる歩道の閉鎖を行っているが、交通整理員を配置するとともに迂回路への誘導を行い、歩行者の通行に支障がないように配慮している（写真 3-1 参照）。
今後詳細な設計を実施するにあたり、存置する既存樹木の生育に影響が及ばないよう、既存樹木の根鉢と計画建物の地下躯体との離隔を保持する等、計画建物の配置等に留意する。	ラグビー場棟の詳細な形状については変更届（令和 6 年 9 月）において報告したとおり、ラグビー場棟の北側の建物規模を縮小化し、北東角を最大限後退させることで、存置・移植樹木を増やし、伐採樹木を減らす等の配慮を行った。 また、4 列のいちよう並木の西側 1 列の縁石から野球場棟や文化交流施設棟の地下躯体までの距離は、環境影響評価書においては約 8m としていたが、根系調査結果を踏まえ、いちようの根系保全範囲は縁石から約 17m とし、約 17m 未満の位置に存在する根については全て切断せずに保護する方針とした。 それ以外の施設については、今後詳細設計を実施する予定である。
既存（移植）樹木の根周りが歩行者等により踏み固められないよう、歩行可能な場所を限定し、樹木の保全に努める。	ラグビー場棟 I 期工事敷地の敷地境界に仮囲いを設置しており、立ち入りによる踏み固めを制限している（写真 3-2 の No. 5 地点参照）。

3.2 予測結果と事後調査の結果との比較検討

(1) 予測した事項

1) 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度

神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施するとともに、神宮第二球場の解体工事が終了している。新築工事に備え、ラグビー場棟 I 期工事敷地となる歩道の閉鎖を行っているが、交通整理員を配置するとともに迂回路への誘導を行い、歩行者の通行に支障がないように配慮している。

それ以外の場については、周辺の緑地や広場について改変は行われておらず、上記以外の場所の歩道の閉鎖は行っていないため、自然との触れ合い活動の場までの利用経路は確保されている。

以上のことから、予測結果のとおり、自然との触れ合い活動の場までの利用経路に著しい影響を及ぼしていないものとする。

事後調査の結果

調査項目：廃棄物

調査した事項：解体工事に伴う撤去建造物及び伐採樹木等の排出量、再利用率及び処理・処分の方法

建設工事に伴う建設廃棄物及び建設発生土の排出量、再利用率及び処理・処分の方法

1. 調査地域

計画地内とした。

2. 調査手法

2.1 調査事項

(1) 予測した事項

- 1) 解体工事に伴う撤去建造物及び伐採樹木等の排出量、再利用率及び処理・処分の方法
- 2) 建設工事に伴う建設廃棄物及び建設発生土の排出量、再利用率及び処理・処分の方法

(2) 予測条件の状況

- 1) 掘削工事等の状況（掘削部分の面積、深度等）
- 2) 撤去建造物等の状況
- 3) 事業計画（延床面積）
- 4) 再資源化・再利用等の状況

(3) 環境保全のための措置の実施状況

2.2 調査時点

(1) 予測した事項

- 1) 解体工事に伴う撤去建造物及び伐採樹木等の排出量、再利用率及び処理・処分の方法
令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの期間とした。
- 2) 建設工事に伴う建設廃棄物及び建設発生土の排出量、再利用率及び処理・処分の方法
令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの期間とした。

(2) 予測条件の状況

1) 掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）

令和6年12月から令和7年12月末までの期間とした。

2) 撤去建造物等の状況

「1) 掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）」と同様とした。

3) 事業計画（延床面積）

「1) 掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）」と同様とした。

4) 再資源化・再利用等の状況

「1) 掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）」と同様とした。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

令和6年12月から令和7年12月末までの工事の施行中の随時とした。

2.3 調査地点

(1) 予測した事項

- 1) 解体工事に伴う撤去建造物及び伐採樹木等の排出量、再利用量及び処理・処分の方法
計画地内とした。
- 2) 建設工事に伴う建設廃棄物及び建設発生土の排出量、再利用量及び処理・処分の方法
計画地内とした。

(2) 予測条件の状況

- 1) 掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）
計画地内とした。
- 2) 撤去建造物等の状況
「1）掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）」と同様とした。
- 3) 事業計画（延床面積）
「1）掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）」と同様とした。
- 4) 再資源化・再利用等の状況
「1）掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）」と同様とした。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

計画地内とした。

2.4 調査方法

(1) 予測した事項

- 1) 解体工事に伴う撤去建造物及び伐採樹木等の排出量、再利用量及び処理・処分の方法
関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。
- 2) 建設工事に伴う建設廃棄物及び建設発生土の排出量、再利用量及び処理・処分の方法
関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。

(2) 予測条件の状況

1) 掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）

関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。

2) 撤去建造物等の状況

関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。

3) 事業計画（延床面積）

関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。

4) 再資源化・再利用等の状況

関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

現地調査（写真撮影等）及び関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。

3. 調査結果

3.1 事後調査の結果の内容

(1) 予測した事項

- 1) 解体工事に伴う撤去建造物及び伐採樹木等の排出量、再利用量及び処理・処分の方法

解体工事等に伴い生じる廃棄物の排出量は、表 4-1 に示すとおりである。令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までに発生した建設廃棄物の排出量は、コンクリート塊 8,965m³、それ以外が 4,460t であった。建設廃棄物は分別収集し、再資源化を行った。このうち、伐採樹木については、チップ化して計画地内に敷きならすほか、計画地外に搬出して燃料チップにする等、再資源化している。建設廃棄物の再資源化率は、アスベストを除いて 100%であった。

表4-1 建設（解体）廃棄物の排出量

種 別	発生量	再資源化量	再資源化率(%)
コンクリート塊	8,965m ³ 注1)	8,965m ³ 注1)	100%
木くず（木製資材）	73t	73t	100%
アスコン塊	1,099t	1,099t	100%
建設汚泥	1t	1t	100%
伐採樹木注5)	534t	534t	100%
廃プラスチック	132t	132t	100%
紙くず	1t	1t	100%
石膏ボード	31t	31t	100%
アスベスト	130t	—	—
その他がれき類	2,384t	2,384t	100%
その他（蛍光灯等）	1t	1t	100%
混合廃棄物	74t	74t	100%
合 計	4,460t (4,330t 注3)	4,330t	100%

注1) コンクリートの比重（2.3t/m³）を用いて m³ に換算した。

2) 金属くずは分別を行い、全て有価物として売却しているため、廃棄物としての発生はない。

3) アスベストを除く発生量。アスベストは再資源化の対象外であり、再資源化率の算出の際の発生量から除く。

4) 合計はコンクリート塊を除く。

5) 伐採樹木には、予測対象外の樹木（樹高 3m 未満）や伐根した樹根等も含まれる。

2) 建設工事に伴う建設廃棄物及び建設発生土の排出量、再利用量及び処理・処分の方法

現時点（令和7年12月末時点）では建設工事（新築工事）には着手しておらず、建設工事に伴う撤去建造物及び伐採樹木等の排出はない。

(2) 予測条件の状況

1) 掘削工事の状況（掘削部分の面積、深度等）

現時点（令和7年12月末時点）では建設工事（新築工事）には着手しておらず、建設工事に伴う掘削は行っていない。

2) 撤去建造物等の状況

計画地内の建造物のうち、神宮第二球場について解体工事が終了している。また、神宮外苑広場（建国記念文庫）及び神宮第二球場周辺については対象樹木の移植、伐採作業を実施済みである。

3) 事業計画（延床面積）

延床面積は約 560,800m²であり、変更届（令和6年9月）以降、変更はない。

4) 再資源化・再利用等の状況

撤去した解体廃棄物はアスベストを除き、100%再資源化を行っている。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 4-2 に示すとおりである。

令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの間に、廃棄物に関する苦情はなかった。

表4-2(1) 廃棄物に係る環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置	実施状況
<p>計画建築物の建設に伴い発生する建設廃棄物については、分別収集し、再利用可能なものについては、極力、再利用を図る。</p>	<p>現時点（令和 7 年 12 月末時点）では神宮第二球場の解体工事が終了した時点であり、新築工事には着手していない。解体廃棄物については、コンクリート塊などの品目別にトラックに積載して搬出を行い、分別収集し再資源化の徹底を図った。</p>
<p>建設廃棄物の分別を徹底し、種類に応じて保管、排出、再利用促進及び不要材の減量等を図る。再利用できないものは、運搬・処分の許可を得た業者に委託して処理・処分を行い、その状況はマニフェストにより確認する。</p>	<p>建設廃棄物管理責任者を選任し、現場内の廃棄物置場には、分別用ごみコンテナを設置して分別収集し、再資源化の徹底を図った。また、再利用可能なものについては、極力、再利用を図ることとしている。</p> <p>建設廃棄物の運搬・処理処分にあたっては、マニフェストにより適正処理を確認した。</p>
<p>既存建築物に使用されているアスベストについては、解体工事に先立ち、「石綿障害予防規則」、「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル」、「港区建築物の解体工事等の事前周知等に関する要綱」に従い、既存建築物設計図による調査、現地での目視調査等を実施し、必要に応じて材質分析調査を併用して、状況に応じた対策を講じながら除去作業を実施する。</p>	<p>解体工事に伴い、石綿含有産業廃棄物（130t）が発生した。</p> <p>石綿含有産業廃棄物については、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和 6 年 2 月改正 厚生労働省、環境省）、「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル」（令和 4 年 3 月 東京都）等に基づき撤去し、適正に処分を行った（写真 4-1）。</p>
<p>除去したアスベストについては、「石綿障害予防規則」、「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル」に従い、粉じんが発生しないよう、堅固な容器や確実な包装を施し、運搬するまでの間、隔離作業場外に設けた一時保管場所に適切に保管する。</p>	
<p>アスベストの運搬・処分にあたっては、「建築物の解体又は改修工事において発生する石綿を含有する廃棄物の適正処理に関する指導指針」に従い、許可を得た業者に委託するとともに、マニフェストにより確認する。</p>	

表4-2(2) 廃棄物に係る環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置	実施状況
伐採樹木については計画地内での利活用を行うほか、チップ化して堆肥や土壌改良剤等としてリサイクルする等、適切に処理する。	伐採樹木については再資源化処理施設へ搬出してチップ化し、一部を計画敷地内に戻して敷きならす等、利活用を行うほか、燃料チップとして適切に処理することで再資源化を行っている。
伐採した樹木のストックの方法については、計画地内で保管できる容量を超えるものについては計画地外で保管することとし、工事計画に沿って適切な保管が可能な場所において保管を行う。	伐採した樹木については工事エリア内外で一時的にストックした上で、再資源化処理施設へ搬出を行った（写真 4-2）。
コンクリート型枠材については、非木材系型枠の採用や部材のプレハブ化等により木材系型枠材の使用量を低減する。	現時点では建設工事（新築工事）には着手しておらず、建設工事に伴うコンクリート型枠材の使用はない。
建設廃棄物の排出量を低減するような施工計画を検討し、施工業者に遵守させる。	朝礼での全体講習会のほか、廃棄物管理責任者による勉強会等、廃棄物のさらなる発生抑制の指導を徹底させることを施工計画に盛り込み、廃棄物の低減化に努めた。
「建設リサイクル法」に基づく特定建設資材廃棄物については現場内で分別解体を行い、可能な限り現場内利用に努め、現場で利用できないものは現場外で再資源化を行う。	コンクリート塊及び木くず等については分別を徹底し、産業廃棄物処理業者に委託して再資源化に努めた。
施設整備にあたっては、リサイクル材料を積極的に使用する。	道路やコンクリート構造物の整備にあたって、再生アスファルト合材や再生骨材の利用を検討する計画である。
特別管理廃棄物について、工事の実施にあたりその存在が確認された場合には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関係法令に基づき、適切に処理する。	P C B 製品の使用や P C B 廃棄物など、アスベスト以外の特別管理廃棄物の保管は確認されなかった。



写真 4-1 アスベストの飛散防止剤塗布状況

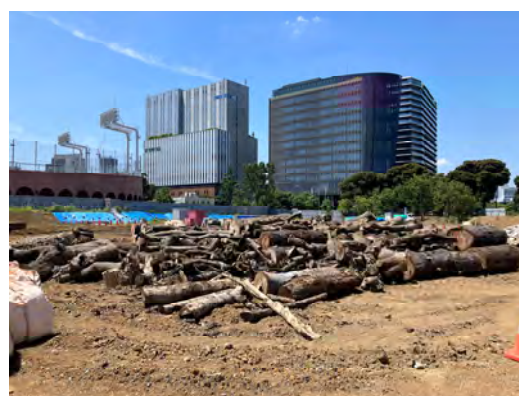


写真 4-2 伐採した樹木のストックの状況

3.2 予測結果と事後調査の結果との比較検討

(1) 予測した事項

1) 解体工事に伴い生じる廃棄物の発生量

建設廃棄物の排出量の予測結果と事後調査結果との比較は、表 4-3 に示すとおりである。令和 7 年 12 月末時点では神宮第二球場の解体工事が終了した段階であり、全ての工区の解体工事が終了した時点で予測結果との比較を行うが、参考までに現時点で比較すると、建設廃棄物の総発生量は予測結果のコンクリート塊 150,560m³、それ以外が 38,230t に対して事後調査結果がコンクリート塊 18,105m³、それ以外が 340t であり、事後調査結果が予測結果を下回っている。

また、解体工事に伴い、石綿含有産業廃棄物が発生した。石綿含有産業廃棄物については、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和 6 年 2 月改正 厚生労働省、環境省）、「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル」（令和 4 年 3 月 東京都）等に基づき撤去し、適正に処分を行った。

表4-3 予測結果と事後調査結果との比較（解体廃棄物）

種 別	予測結果		事後調査結果			
			工事の施行中その 5		累計	
	廃棄物発生量	再資源化量	廃棄物発生量	再資源化量	廃棄物発生量	再資源化量
コンクリート塊	150,560m ³	149,054m ³	8,965m ³ 注1)	8,965m ³ 注1)	18,105m ³ 注1)	18,105m ³ 注1)
木くず	5,646t	5,590t	73t	73t	115t	115t
金属くず	18,820t	18,444t	—	—	—	—
混合廃棄物	3,764t	3,124t	74t	74t	158t	158t
伐採樹木	10,000t	—	67t 注3)	67t 注3)	67t 注3)	67t 注3)
合 計 (コンクリート塊以外)	38,230t	27,158t	214t	214t	340t	340t

注 1) コンクリートの比重 (2.3t/m³) を用いて m³ に換算した。

2) 金属くずは分別を行い、全て有価物として売却しているため、廃棄物としての発生はない。

3) 予測対象（樹高 3m 以上）の数値であり、予測対象外の樹木（樹高 3m 未満）や伐根した樹根等は含まない。

4) 予測対象とした廃棄物以外にも、アスコン塊やその他がれき類等が発生しているが、アスコン塊については新宿区道等、その他がれき類については基礎等の撤去により、これらの発生があった。

環境保全のための措置

調査項目：大気汚染

調査した事項：環境保全のための措置の実施状況

工事の施行中における大気汚染に係る環境保全のための措置の実施状況について報告する。

1. 調査地域

調査地域は、建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中の濃度に影響が及ぶと考えられる、計画地及び計画地周辺とした。

2. 調査手法

2.1 調査事項

- (1) 環境保全のための措置の実施状況
 - 1) 建設機械に関する保全のための措置
 - 2) 工事用車両に関する保全のための措置

2.2 調査時点

- (1) 環境保全のための措置の実施状況
 - 1) 建設機械に関する保全のための措置
令和6年12月から令和7年12月末までの工事施行中の適時とした。
 - 2) 工事用車両に関する保全のための措置
令和6年12月から令和7年12月末までの工事施行中の適時とした。

2.3 調査地点

- (1) 環境保全のための措置の実施状況
 - 1) 建設機械に関する保全のための措置
計画地及び計画地周辺とした。
 - 2) 工事用車両に関する保全のための措置
計画地及び計画地周辺とした。

2.4 調査方法

- (1) 環境保全のための措置の実施状況
 - 1) 建設機械に関する保全のための措置
現地調査（写真撮影等）及び関連資料（建設作業日報等）の整理により行った。
 - 2) 工事用車両に関する保全のための措置
現地調査（写真撮影等）及び関連資料（建設作業日報等）の整理により行った。

(1) 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 5-1、5-2 に示すとおりである。

なお、令和 6 年 12 月から令和 7 年 12 月末までの間に大気汚染に関する苦情は寄せられなかった。

表 5-1 大気汚染に係る環境保全のための措置の実施状況 (建設機械)

環境保全のための措置	実施状況
排出ガス対策型建設機械 (第 2 次基準値) を使用する。	建設機械の稼働にあたっては、工事期間を通して、排出ガス対策型建設機械を使用した。
仮囲い(高さ 3.0m)を設置する。	工事区域のラグビー場棟 I 期工事敷地の敷地境界には、仮囲い (高さ3.0m) を設置し、周辺への大気汚染の影響の低減に努めた。(写真5-1)
建設機械の集中稼働を行わないよう、作業の平準化に努める。	工事用車両(主にダンプトラック等)の総量を調整することにより、それらに連動する建設機械(バックホウ等)についても集中稼働しないよう調整した。
最新の排出ガス対策型建設機械(特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律、第 3 次基準値)の使用に努める。	第3次基準値及び特定特殊自動車排出ガス規制等に関する法律(オフロード法)に適合した建設機械を使用した(写真5-2)。
必要に応じて散水の実施、粉じん飛散防止シートの設置等、粉じんの飛散防止対策を講じる。	粉じんの飛散防止対策として、散水を行った。
良質な燃料を使用する。	建設機械(ディーゼルエンジン仕様)に使用する燃料は、日本工業規格(JIS)に適合したものを使用するよう指導を行った。
アイドリングストップの厳守を徹底する。	アイドリングストップの厳守について、現場内に掲示を行うとともに、朝礼等の場で作業員に指導を行った。

表 5-2 大気汚染に係る環境保全のための措置の実施状況(工事用車両)

環境保全のための措置	実施状況
工事用車両に付着した泥土等が場外に飛散しないよう、出入口付近への洗車施設の設置等を行う。	工事用車両に付着した泥土等が場外に飛散しないよう、出入口付近に洗車施設を設けてタイヤ等に付着した泥の洗浄を行う等、土砂・粉じんの飛散防止に努めた。
低公害型の工事用車両の採用に努める。	工事用車両については事前に車検証を確認し、故障や異常がないことを確認した上で採用するとともに、使用する燃料は「揮発油等の品質の確保等に関する法律」に適合したものを使用するよう指導を行った。
不必要なアイドリング防止を徹底する。	アイドリングストップの徹底について、運転者に指導を行った。
工事用車両の出入口付近には、適宜、清掃員を配置し、路面の清掃に努める。	工事用車両の出入口付近（出入口周辺及び出入口前の車道）について、適宜清掃を実施した。



写真 5-1 仮囲い（高さ 3.0m）の設置状況



写真 5-2 排出ガス対策型建設機械（第3次基準値）の使用状況（バックホウ）

環境保全のための措置

調査項目：騒音・振動

調査した事項：環境保全のための措置の実施状況

1. 調査地域

調査地域は、建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う建設作業騒音、振動の影響が及ぶと考えられる計画地及び計画地周辺とした。

2. 調査手法

2.1 調査事項

- (1) 環境保全のための措置の実施状況
 - 1) 建設機械に関する保全のための措置
 - 2) 工事用車両に関する保全のための措置

2.2 調査時点

- (1) 環境保全のための措置の実施状況
 - 1) 建設機械に関する保全のための措置
令和6年12月から令和7年12月末までの工事施行中の適時とした。
 - 2) 工事用車両に関する保全のための措置
令和6年12月から令和7年12月末までの工事施行中の適時とした。

2.3 調査地点

- (1) 環境保全のための措置の実施状況
 - 1) 建設機械に関する保全のための措置
計画地内とした。
 - 2) 工事用車両に関する保全のための措置
計画地内及び計画地周辺とした。

2.4 調査方法

- (1) 環境保全のための措置の実施状況
 - 1) 建設機械に関する保全のための措置
現地調査（写真撮影等）及び関連資料（建設作業日報等）の整理により行った。
 - 2) 工事用車両に関する保全のための措置
現地調査（写真撮影等）及び関連資料（建設作業日報等）の整理により行った。

(1) 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表6-1、6-2に示すとおりである。

なお、令和6年12月から令和7年12月末までの間に騒音・振動に関する苦情は寄せられなかった。

表 6-1 騒音・振動に係る環境保全のための措置の実施状況(建設機械)

環境保全のための措置	実施状況
仮囲い(高さ3.0m)を設置する。	工事区域のラグビー場棟I期工事敷地の敷地境界には、仮囲い(高さ3.0m)を設置し、周辺への騒音の影響の低減に努めた。(写真6-1)
低騒音型建設機械を採用する。	建設機械の稼働にあたっては、工事期間を通して、超低騒音・低騒音型の建設機械を使用した。(写真6-2)
建設機械の集中稼働を行わないよう、建設機械の分散稼働に努める。	工事用車両(主にダンプトラック等)の総量を調整することにより、それらに連動する建設機械(バックホウ等)についても集中稼働しないよう調整した。
建設機械のアイドリングストップを厳守するよう徹底する。	アイドリングストップの徹底について、現場内に掲示を行うとともに、朝礼等の場で作業員に指導を行った。
作業時間及び作業手順は、周辺に著しい影響を及ぼさないように、事前に工事工程を十分検討する。	工事に際しては、事前に施工計画の詳細検討を行い、その結果を工事作業計画に反映させ、周辺への影響の低減に努めた。

表 6-2 騒音・振動に係る環境保全のための措置の実施状況(工事用車両)

環境保全のための措置	実施状況
規制速度を遵守する。	工事用車両の走行に際しては、規制速度を遵守するよう、新規入場教育時、作業打合せ、朝礼、昼礼時に作業員に指導を行った。
資材の搬出入に際しては、走行ルートのご限定、安全走行等により、騒音及び振動の低減に努める。	工事用車両については走行ルートを限定するとともに、安全走行について指導を行い、騒音及び振動の低減に努めた。
アイドリングストップ等の実施を周知・徹底する。	アイドリングストップの徹底について、運転者に指導を行った。
工事用車両が一時的に集中しないよう、工事工程の平準化に努める。	1日あたりのコンクリート塊の搬出量を平準化し搬出することにより、工事用車両台数の平準化に努めた。



写真 6-1 仮囲い（高さ 3.0m）の設置状況



写真 6-2 超低騒音型建設機械の使用状況（バックホウ）

環境影響評価手続等の状況

(1) 環境影響評価手続の状況

環境影響評価の手続の状況は、別添表-1 に示すとおりである。

別添表-1 環境影響評価の手続の状況

環境影響評価の手続	提出年月日	備 考
環境影響評価書	令和 5(2023)年 1 月 10 日	—
事後調査計画書	令和 5(2023)年 1 月 17 日	—
工事着手届（着工届）	令和 5(2023)年 1 月 17 日	—
事後調査報告書（工事の施行中その 1）	令和 5(2023)年 7 月 6 日	生物・生態系（根回しの状況、養生の状況、仮移植計画）
事後調査報告書（工事の施行中その 2）	令和 6(2024)年 9 月 30 日	生物・生態系（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちよう並木の保全状況（4 列））、自然との触れ合い活動の場、廃棄物
変更届（その 1）	令和 6(2024)年 9 月 30 日	事業計画の変更（ラグビー場棟の施設計画）
事後調査報告書（工事の施行中その 3）	令和 7(2025)年 3 月 26 日	大気汚染、騒音・振動、土壌汚染、生物・生態系（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちよう並木の保全状況（4 列））、自然との触れ合い活動の場、廃棄物
事後調査報告書（工事の施行中その 4）	令和 7(2025)年 9 月 25 日	生物・生態系（既存樹木の状況（移植計画及び移植の状況））
変更届（その 2）	令和 7(2025)年 9 月 25 日	事業計画の変更（工事工程の変更）

(2) 許認可の状況

本事業に係る許認可の状況は、別添表-2 に示すとおりである。

別添表-2 本事業に係る許認可の状況

許認可等	根拠法令	年月日
建築物の確認	建築基準法 第 6 条第 1 項 または 第 6 条の 2	—
第一種市街地再開発事業	都市再開発法 第 7 条の 9	令和 5 (2023) 年 2 月 17 日 告示
地区計画	都市計画法 第 12 条の 5	令和 4 (2022) 年 3 月 10 日 告示

(3) 工事及び事後調査の進捗状況

工事工程及び事後調査の工程は、別添表-3～5 に示すとおりである。

事後調査を実施した令和6年12月から令和7年12月末^{注)}までのうち、令和6年12月から令和7年10月までは、神宮第二球場の解体工事を行っていた。

また、工事の施行中その5では工事施行中の土壌汚染、生物・生態系（既存樹木の状況、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の保全状況、いちょう並木の保全状況（4列））、自然との触れ合い活動の場、廃棄物、環境保全のための措置の実施状況（大気汚染、騒音・振動）を報告する。

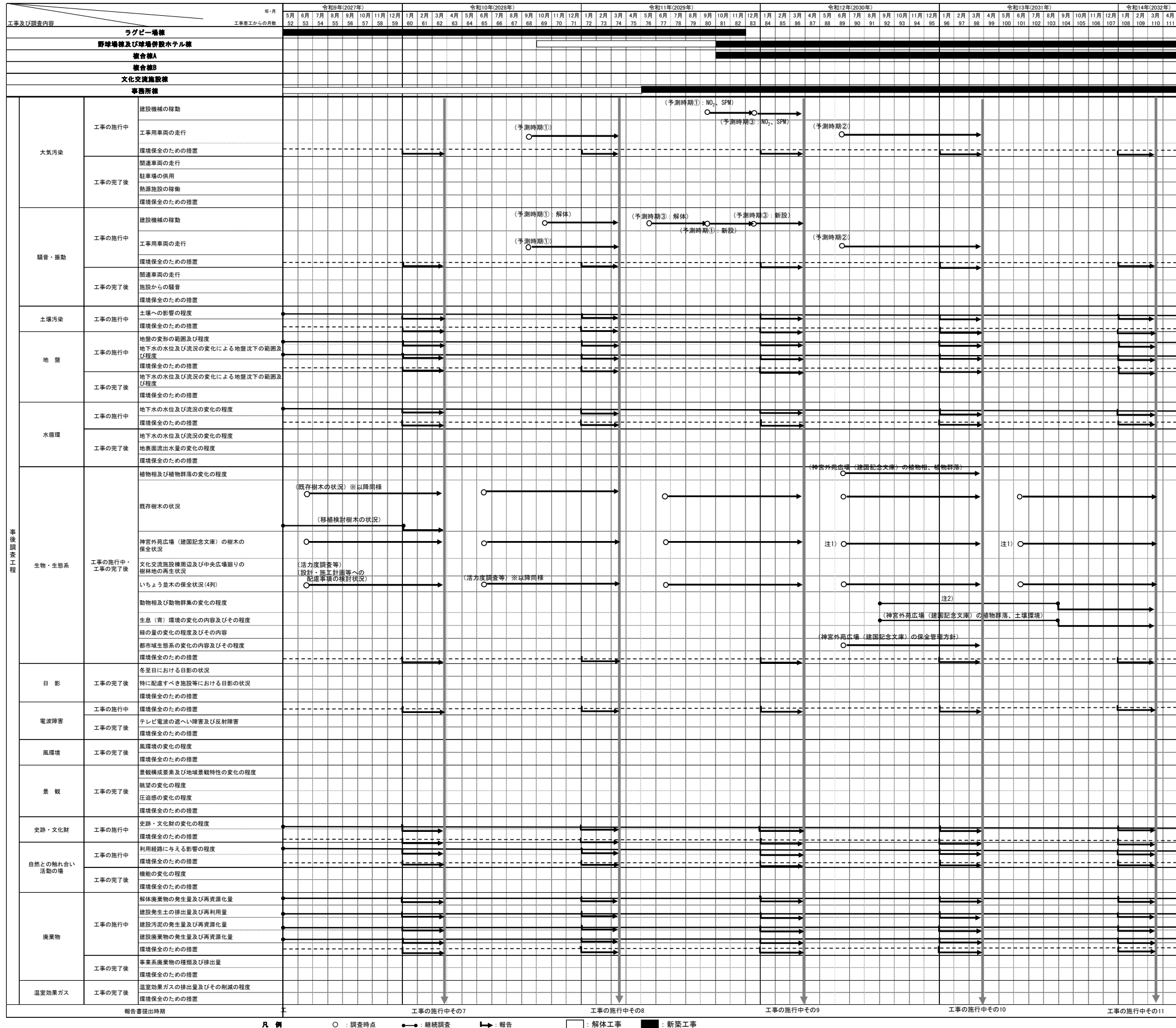
^{注)} 秩父宮ラグビー場東側の港区道等のイチョウの移植検討のための調査及び措置（令和8年2月まで実施）を除いた期間。

別添表-3 事後調査のスケジュール

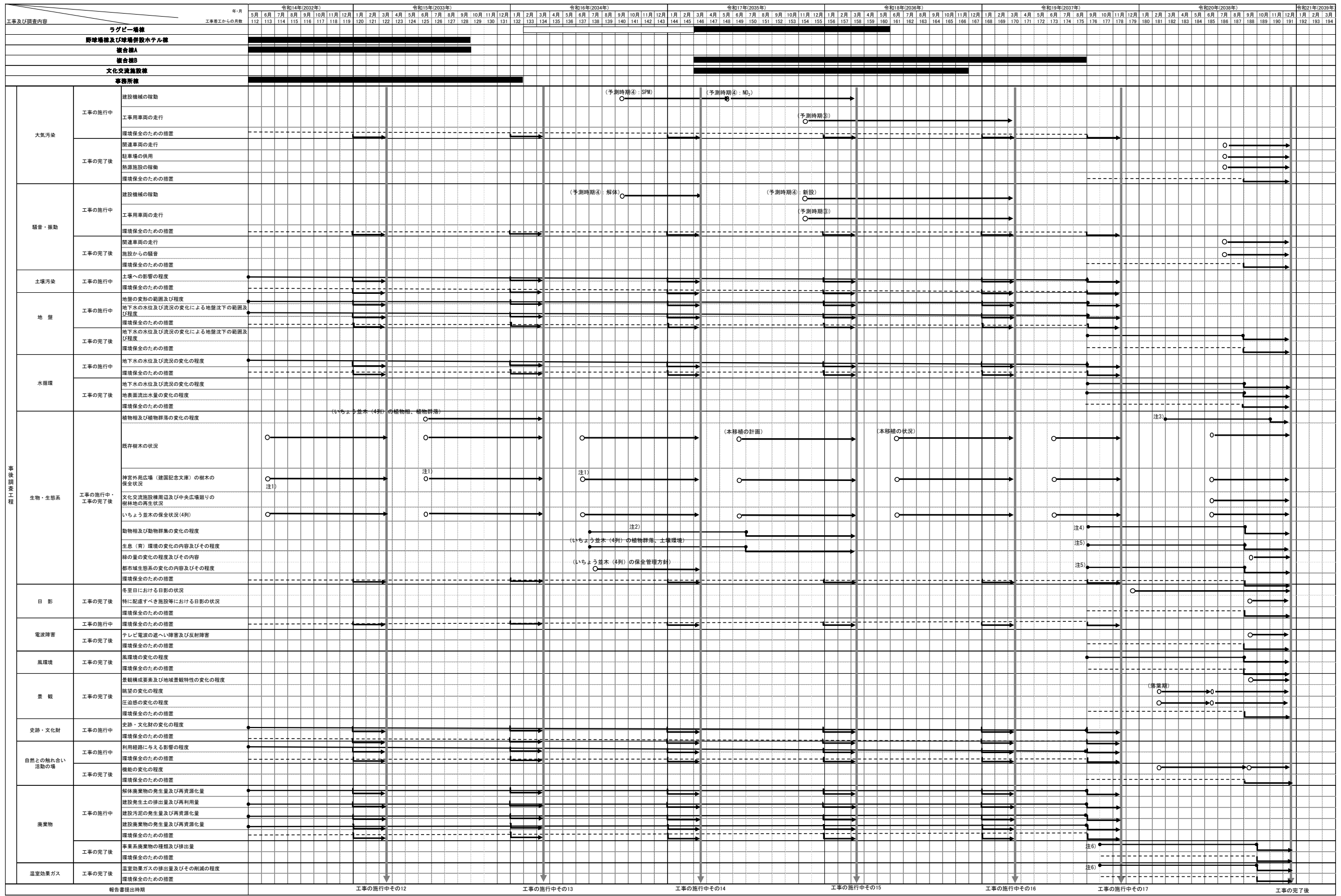
工事及び調査内容		年・月 工事着工からの月数	令和5年(2023年)												令和6年(2024年)												令和7年(2025年)												令和8年(2026年)												令和9年(2027年)																							
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
ラグビー場棟																																																																										
野球場棟及び球場併設ホテル棟																																																																										
複合棟A																																																																										
複合棟B																																																																										
文化交流施設棟																																																																										
事務所棟																																																																										
大気汚染	工事の施行中	建設機械の稼働													(予測時期②: NO ₂ 、SPM)																																																											
		工事車両の走行																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
騒音・振動	工事の完了後	関連車両の走行																																																																								
		駐車場の供用																																																																								
		熱源施設稼働																																																																								
騒音・振動	工事の完了後	環境保全のための措置																																																																								
		建設機械の稼働													(予測時期②: 解体)																								(予測時期②: 新設)																																			
		工事車両の走行																																																																								
騒音・振動	工事の完了後	施設からの騒音																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
土壌汚染	工事の施行中	土壌への影響の程度																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
地盤	工事の施行中	地盤の変形範囲及び程度																																																																								
		地下水の水位及び流況の変化による地盤沈下の範囲及び程度																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
地盤	工事の完了後	環境保全のための措置																																																																								
		地下水の水位及び流況の変化による地盤沈下の範囲及び程度																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
水循環	工事の施行中	地下水の水位及び流況の変化の程度																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
水循環	工事の完了後	地下水の水位及び流況の変化の程度																																																																								
		地表湧出水量の変化の程度																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
生物・生態系	工事の施行中・工事の完了後	植物相及び植物群落の変化の程度																																																																								
		既存樹木の状況	(既存樹木の状況)												(既存樹木の状況) ※以降同様																								(既存樹木の状況) (いちよう並木(4列) 西側の仮移植計画)																																			
		根回しの状況 (養生の状況) (神宮外苑広場(建園記念文庫)の仮移植計画)													(移植計画)												(移植計画及び移植の状況)												(移植の状況)																																			
		神宮外苑広場(建園記念文庫)の樹木の保全状況																																																																								
		文化交流施設棟周辺及び中央広場周辺の樹林地の再生状況													(活力度調査等)												(保全エリアの拡大の状況)																																															
		いちよう並木の保全状況(4列)	(根柢調査)																																				(活力度調査等) ※以降同様																																			
		動物相及び動物群落の変化の程度																																																																								
		生息(青)環境の変化の内容及びその程度																																																																								
		緑の量の変化の内容及びその程度																																																																								
		都市域生態系の変化の内容及びその程度																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
		冬至日における日影の状況																																																																								
		特に配慮すべき施設等における日影の状況																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
		電波障害	工事の完了後	テレビ電波の遮へい障害及び反射障害																																																																						
環境保全のための措置																																																																										
風環境	工事の完了後	風環境の変化の程度																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
景観	工事の完了後	景観構成要素及び地域景観特性の変化の程度																																																																								
		眺望の変化の程度																																																																								
		圧迫感の変化の程度																																																																								
史跡・文化財	工事の完了後	史跡・文化財の変化の程度																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
自然との触れ合い活動の場	工事の完了後	利用経路に与える影響の程度																																																																								
		機能の変化の程度																																																																								
廃棄物	工事の完了後	解体廃棄物の発生量及び再資源化量																																																																								
		建設発生土の排出量及び再利用量																																																																								
		建設汚泥の発生量及び再資源化量																																																																								
廃棄物	工事の完了後	建設廃棄物の発生量及び再資源化量																																																																								
		環境保全のための措置																																																																								
		事業系廃棄物の種類及び排出量																																																																								
温室効果ガス	工事の完了後	環境保全のための措置																																																																								
		温室効果ガスの排出量及びその削減の程度																																																																								
報告書提出時期			工事の施行中その1(報告済み)												工事の施行中その2(報告済み)												工事の施行中その3(報告済み)												工事の施行中その4(報告済み)												工事の施行中その5												工事の施行中その6											

凡例
 ○ : 調査時点
 ● : 継続調査
 ◀▶ : 報告
 --- : 継続して調査し、原則として予測した事項及び予測条件の状況の調査終了後に報告するが、必要に応じて継続中にも報告を行う。
 □ : 解体工事
 ■ : 新築工事

別添表-4 事後調査のスケジュール



別添表-5 事後調査のスケジュール



凡例 ○：調査点 ●：継続調査 →：報告 □：解体工事 ■：新築工事

注1) ラグビー場一期工事後5年、神宮外苑広場(建園記念文庫)において既存樹木の活力調査を行う。
 注2) 野球場様の工事後の四季にいちよう苗木(4列)の動物相調査を行う。調査時期については、動物の生息状況が定常状態となった時期を考慮して調査を行う。
 注3) 秋季、春季、夏季に調査。植物群落については夏季に調査。
 注4) 四季に調査。
 注5) 環境保全のための措置の効果が確認できる時期に調査。
 注6) 段階供用のため、各施設の供用時期が異なるが、全施設の供用が通常状態となった時期に調査。

資 料 編

目 次

■ 移植樹木位置図	p. 102～103
■ 移植樹木モニタリング票	p. 104～199
■ 毎木調査エリア図及び枯損等一覧表	p. 200～229
■ 樹木調査診断	p. 230
■ いちょう並木（4列）等の毎木調査結果一覧	
・ 5月	p. 231～240
・ 7月	p. 241～250
・ 10月	p. 251～260
■ いちょう並木（4列）等の毎木調査結果の推移	p. 261～263
■ 2025年10月時点で活力度Cとなったいちょうの評価	p. 264～268

■移植樹木位置図及び移植樹木のモニタリング結果

移植した樹木の配置は、p.102～103 に示すとおりである。

また、移植樹木のモニタリング結果は、p.104～195 に示すとおりである。移植樹木 96 本のうち、移植後のモニタリングを行っていない 4 本（KE-002 ヤエザクラ、KE-003 ヤエザクラ、KE-156 モミジ、KE-157 シラカシ）については移植前のモニタリングを行っており、その結果は資料編 p.196～199 に示すとおりである。なお、当該 4 本の移植後のモニタリング結果については、以降の事後調査報告書にて報告する予定である。

■ ラグビー場棟敷地への移植位置図（移植前）

建国記念文庫エリアより

移植先⑤					
番号	樹種名	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	株立ち周 (cm)
KE-002	ヤエザクラ	10.0	134	9.0	-
KE-003	ヤエザクラ	10.5	2本立	10.0	155.91
KE-156	モミジ	7.0	61	7.0	-
KE-157	シラカシ	15.0	163	7.5	-
⑤計					4本

第二球場エリアより

移植先⑨ 仮移植					
番号	樹種名	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	株立ち周 (cm)
YG-020	マチハシイ	7.5	2本立	7.0	92.81
YG-031	マチハシイ	10.0	142	5.5	-
YG-047	マチハシイ	8.5	88	5.0	-
YG-053	シイキ	8.0	91	5.0	-
YG-059	シイキ	6.5	81	2.5	-
YG-061	ケヤキ	11.5	170	7.5	-
YG-066	マチハシイ	8.0	73	4.0	-
YG-072	マチハシイ	6.5	62	3.0	-
YG-102	サノコジュ	4.0	3本立	3.0	35.3327
YG-108	コブシ	10.0	2本立	7.5	96.86
YG-118	ケヤキ	12.5	220	13.0	-
⑨計					11本

移植先⑩

番号	樹種名	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	株立ち周 (cm)
YG-019	ヒトツバクワ	10.0	126	7.0	-
⑩計					1本

移植先⑪

番号	樹種名	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	株立ち周 (cm)
YG-015	ツハキ	2.8	4本立	2.0	30.3020.21
⑪計					1本

凡例

- : 本移植
- : 仮移植
- : 移植予定樹木
- : 既存樹木
- : 2025年6月末段階の移植未施工樹木及び仮移植樹木の移植先



S=1:800 (A3)



計画建物位置
※既存第二球場等の既存施設解体済み

※2025年6月末段階は未施工

※2025年6月末段階は未施工

移植先⑤・⑩・⑪ (仮移植→本移植)

移植先⑩ 仮移植

移植先⑪

■ラグビー会場棟敷地への移植位置図 (移植後)

仮移植地より

移植先 ⑨

番号	樹種名	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	株立ち周 (cm)
YG-020	マテバシイ	7.5	2本立	7.0	92.81
YG-031	マテバシイ	10.0	142	5.5	-
YG-047	マテバシイ	8.5	88	5.0	-
YG-053	シイキ	8.0	91	5.0	-
YG-059	シイキ	6.5	81	2.5	-
YG-061	ケヤキ	11.5	170	7.5	-
YG-066	マテバシイ	8.0	73	4.0	-
YG-072	マテバシイ	6.5	62	3.0	-
YG-102	サングジュ	4.0	3本立	3.0	35.33.27
YG-108	コブシ	10.0	2本立	7.5	96.86
YG-118	ケヤキ	12.5	220	13.0	-
⑨計					11本

第二球場エリアより

移植先 ⑩

番号	樹種名	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	株立ち周 (cm)
YG-019	ヒトツバコ	10.0	126	7.0	-
⑩計					1本

移植先 ⑪

番号	樹種名	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	株立ち周 (cm)
YG-015	ツバキ	2.8	4本立	2.0	30.30.20.21
⑪計					1本

建国記念文庫エリアより

移植先 ⑫

番号	樹種名	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	株立ち周 (cm)
KE-002	ヤエザクラ	10.0	134	9.0	-
KE-003	ヤエザクラ	10.5	2本立	10.0	155.91
KE-156	モミジ	7.0	61	7.0	-
KE-157	シラカシ	15.0	163	7.5	-
⑫計					4本

凡例

- : 本移植
- : 仮移植
- : 移植予定樹木
- : 既存樹木



S=1:800 (A3)



計画建物位置
※既存第二球場等の既存施設解体済み

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	20	樹種	マテバシイ	本移植日	2025.11.08
						仮移植日	2025.05.15
規格		樹高	6.3	目通り	2本立ち	葉張り	5.0
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー3本支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	幹上部に枯れ枝あり。樹形やや崩れる、剪定が望ましい。				



2025年5月28日



根元：稲わらマルチ



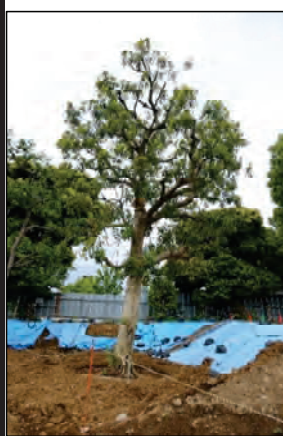
2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日	2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	31	樹種	マテバシイ	本移植日 2025.11.08 仮移植日 2025.04.18
規格	樹高 m	10.0	目通り m	1.02	葉張り m	6.1

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄いが緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	ほぼ元の樹形を保ち、枝葉も伸長、良好。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	47	樹種	マテバシイ	本移植日	2025.11.04
						仮移植日	2024.11.09
規格		樹高	7.8	目通り	0.89	葉張り	4.2
		m		m		m	

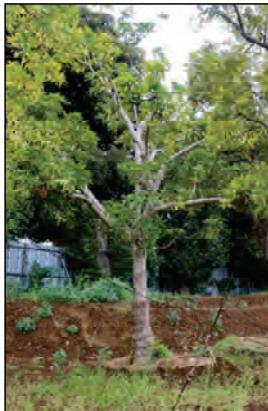
評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。土壌水分調査70.7% (61.0,75.8,75.5) 湿潤。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	若干葉が増えたが、まだ少ない。				



2025年5月9日



稲わらマルチ、わら下湿潤



2025年10月24日



根元と土壌水分測定

移植樹木モニタリング票			モニタリング日	2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	53	樹種	シイノキ	本移植日 2025.11.01 仮移植日 2024.11.09
規格	樹高 m	6.7	目通り m	1.00	葉張り m	3.4

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝葉はほとんど変わらない。				



2025年5月9日



稲わらマルチ、下部湿潤



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	59	樹種	シイノキ	本移植日	2025.11.05
						仮移植日	2024.11.09
規格		樹高	5.7	目通り	0.85	葉張り	3.6
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	春からあまり変化なし。枝葉はやや粗。				



2025年5月9日



稲わらマルチ、下部湿潤



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	61	樹種	ケヤキ	本移植日	2025.11.26
						仮移植日	2024.11.29
規格		樹高	8.9	目通り	1.74	葉張り	4.7
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、土壌は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	新たな新芽が良く出ている。樹勢良好。				



2025年5月9日



稲わらマルチ、下部湿潤







2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	66	樹種	マテバシイ	本移植日	2025.11.01
						仮移植日	2024.11.02
規格		樹高	7.3	目通り	0.78	葉張り	3.6
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	春とほとんど変化無し。				

			
2025年5月9日	稲わらマルチ、下部湿潤	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	72	樹種	マテバシイ	本移植日	2025.11.01
						仮移植日	2024.10.31
規格		樹高	5.7	目通り	0.63	葉張り	3.0
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝葉の伸長は少ない。上部枯れ枝見られる。移植時剪定のこと。				



2025年5月9日



稲わらマルチ、下部湿潤



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日	2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	102	樹種	サンゴジュ	本移植日 2025.11.01 仮移植日 2024.10.31
規格	樹高 m	3.8	目通り m	0.67	葉張り m	2.1

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：二脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	春とほぼ変わらない。				



2025年5月9日



稲わらマルチ、下部湿潤



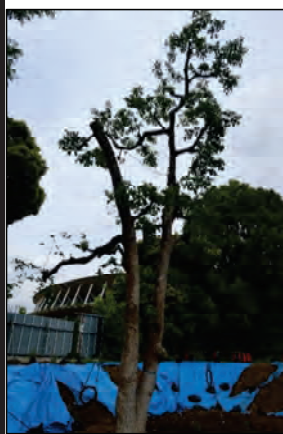
2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日	2025年10月24日	樹木医	直木 哲	
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	108	樹種	コブシ	本移植日	2025.11.21
						仮移植日	2024.11.27
規格		樹高	9.0	目通り	1.34	葉張り	5.6
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄いが緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝葉の伸長はほとんど見られない。衰退はしていない。				



2025年5月9日



稲わらマルチ、下部湿潤



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日	2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	118	樹種	ケヤキ	本移植日 2025.11.26 仮移植日 2024.11.29
規格	樹高 m	11.2	目通り m	2.25	葉張り m	8.2

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	萌芽枝葉多少伸長増加。				



2025年5月9日



稲わらマルチ、下部湿潤



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	24	樹種	マテバシイ	本移植日	2025.04.04
						仮移植日	—
規格		樹高	11.3	目通り	1.15	葉張り	5.4
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー1本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチ＋灌水パイプ設置、マルチ下部湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で剪定されているが比較的枝葉があり、コンパクトにまとまっている。 春と比較して少し伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	28	樹種	マテバシイ	本移植日	2025.04.04
						仮移植日	—
規格	樹高	9.5	目通り	0.91	葉張り	4.8	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチ＋灌水パイプ設置、マルチ下部湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬でやや枝葉は少ないが、衰退は見られない。 春と比較して枝葉伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	64	樹種	シイノキ	本移植日	2024.11.05
						仮移植日	—
規格		樹高	10.0	目通り	1.17	葉張り	3.7
		m		m		m	

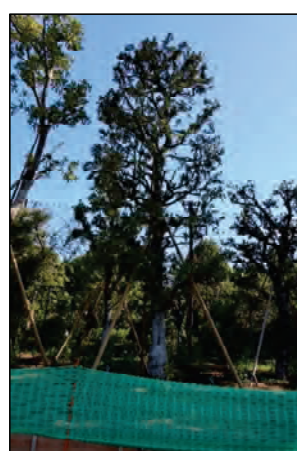
評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（3本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチ＋灌水パイプ設置、マルチ下部湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	比較的枝葉がバランスよく残り良好である。春に比してより枝葉充実。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ







2025年10月17日



根元・除草要





移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	93	樹種	シイノキ	本移植日	2024.11.05
						仮移植日	—
規格	樹高	8.4	目通り	1.24	葉張り	3.6	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチ＋灌水パイプ設置、マルチ下部湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・剪定でやや樹形が乱れる。枝葉はやや少ないが衰退は見られない。 春と比較して枝葉やや伸長。				

			
2025年5月9日	根元：稲わらマルチと灌水パイプ	2025年10月17日	根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	101	樹種	シイノキ	本移植日	2024.11.07
						仮移植日	—
規格	樹高	10.0	目通り	2.19	葉張り	4.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチ＋灌水パイプ設置、マルチ下部湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	葉張りのある巨木であったが、移植・運搬で大きく切断・剪定。新たに萌芽しつつある。春と比較して枝葉充実する。				

			
2025年5月9日	根元：稲わらマルチと灌水パイプ	2025年10月17日	根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	105	樹種	ウバメガシ	本移植日	2025.04.08
						仮移植日	—
規格	樹高	6.8	目通り	2.10	葉張り	5.1	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（3本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチ＋灌水パイプ設置、マルチ下部湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	株立ちで枝葉が多かったが、移植・運搬で剪定。残された枝葉はほぼ良好で衰退は見られない。春と比較してかなり伸長、密度アップ。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	134	樹種	ケヤキ	本移植日	2025.01.28
						仮移植日	—
規格	樹高	9.6	目通り	2.34	葉張り	7.2	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	灌水パイプ、稲わらマルチ、土壌水分測定－15cm、3回平均50.4%(49.5,50.3,51.6)				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大きく切断・剪定されている。残された枝からは順調に芽出し、開葉。 春と比較してかなり伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	135	樹種	ヤマモモ	本移植日	2024.11.02
						仮移植日	—
規格	樹高	6.1	目通り	1.02	葉張り	3	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー2本支柱で健全		
土壌状況	稲わらマルチ+灌水パイプ設置、マルチ下部湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝葉少なくやや衰弱傾向。枝の先端から萌芽も見られるが勢いは低い。 春よりは枝葉増えるがまだ少ない。褐変もある。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	10	樹種	ケヤキ	本移植日	2025.01.28
						仮移植日	—
規格	樹高	12.1	目通り	2.65	葉張り	6.3	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	もともと高さ20mの巨木であるが、移植・運搬で大きく切断・剪定。残された枝、幹から芽出し、開葉中。春よりは枝葉かなり伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	14	樹種	トウカエデ	本移植日	2025.01.29
						仮移植日	—
規格		樹高	14.0	目通り	1.24	葉張り	2.5
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で剪定されたが比較的上部まで枝葉が残る。枝葉からは芽出し。春より多少枝葉伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ







2025年10月17日



根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	16	樹種	シラカシ	本移植日	2025.05.23
						仮移植日	—
規格	樹高	11.7	目通り	1.77	葉張り	3.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大きく大枝切断・剪定されている。春と比較して少し枝葉は増えたがまだ少ない。				

			
2025年7月9日	根元：稲わらマルチと下の湿り	2025年10月17日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	17	樹種	ケヤキ	本移植日	2025.02.21
						仮移植日	—
規格	樹高	11.7	目通り	1.39	葉張り	2.4	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	もともと下枝が少ない樹。移植・剪定で幹3本が残る。幹より萌芽中。春に比べかなり萌芽伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	18	樹種	フウ	本移植日	2025.03.07
						仮移植日	—
規格	樹高	12.0	目通り	2.03	葉張り	3.2	
	m		m		m		

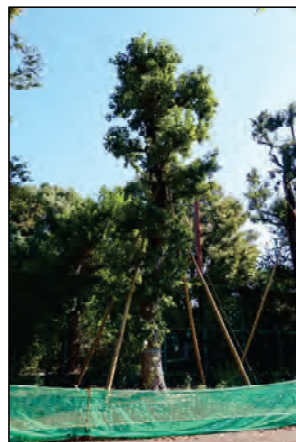
評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で上部切断、もともと下枝が高く、春は葉張り、枝葉はやや少なかったが、かなり増加成長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	19	樹種	フウ	本移植日	2025.03.14
						仮移植日	—
規格	樹高	13.0	目通り	1.93	葉張り	4.7	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で特に上部が切断。もともと下枝高く、やや枝葉も少ない。 残された枝から芽出し。春と比べて枝葉かなり伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	20	樹種	シイノキ	本移植日	2025.06.13
						仮移植日	—
規格	樹高	13.3	目通り	1.2	葉張り	3.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	もともと下枝が少ない樹。移植・剪定で幹3本が残る。幹より萌芽中。春よりやや生育。				



2025年7月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	22	樹種	クヌギ	本移植日	2025.02.14
						仮移植日	—
規格	樹高	11.4	目通り	2.30	葉張り	4.2	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で特に上部が大きく切断・剪定されている。 もともと下枝は高く、残された枝葉は少ない。春に比して枝葉かなり増加・伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ







2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	25	樹種	ケヤキ	本移植日	2025.03.07
						仮移植日	—
規格	樹高	8.1	目通り	2.15	葉張り	5.4	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大きく大枝切断・剪定されている。春からはかなり枝葉が成長。				

			
2025年5月9日	根元：稲わらマルチと灌水パイプ	2025年10月17日	根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	26	樹種	クスノキ	本移植日	2025.06.06
						仮移植日	—
規格	樹高	13.8	目通り	1.06	葉張り	4.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で特に上部が大きく切断・剪定されている。 もともと下枝は高く、残された枝葉は少ないが、萌芽・開葉。 春と比較してあまり変わらず。夏季高温の衰退は見られない。				



2025年7月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



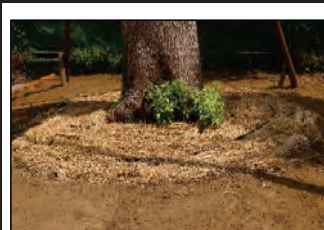
根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	31	樹種	クスノキ	本移植日	2025.06.20
						仮移植日	—
規格	樹高	14.5		目通り	1.5	葉張り	4.0
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で上部切断、もともと下枝が高く、葉張り、枝葉はやや少なかったが、葉のボリュームが増えてきている。				



2025年7月9日



稲わらマルチと下の湿り



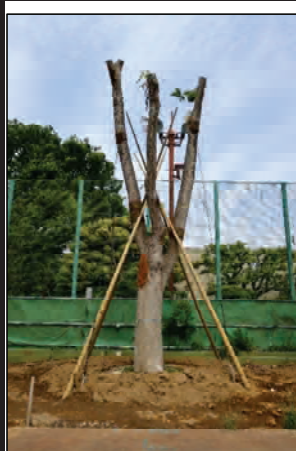
2025年10月17日



除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	33	樹種	ケヤキ	本移植日	2025.02.21
						仮移植日	—
規格	樹高	10.0	目通り	2.31	葉張り	3.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大きく切断され太い幹3本が残る。残された幹からは萌芽中。春と比べかなり萌芽。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	35	樹種	シラカシ	本移植日	2025.05.30
						仮移植日	—
規格	樹高	13.4	目通り	1.95	葉張り	3.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	もともと下枝が少ない樹。移植・剪定で幹3本が残る。幹より萌芽中。 春と比べてあまり成長はない。夏季の高温の衰退は見られない。				



2025年7月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	36	樹種	シイノキ	本移植日	2025.03.21
						仮移植日	—
規格	樹高	12.2	目通り	2.17	葉張り	6.1	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大きく大枝切断・剪定されて特に頂端は枝葉少ない。 下部は春に比べ繁茂。頂端も枝葉が伸長。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ







2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	38	樹種	トウカエデ	本移植日	2025.03.28
						仮移植日	—
規格	樹高	14.5		目通り	1.61	葉張り	4.2
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で上部が大きく切断。もともと葉張りは少ない。残された枝からは萌芽・開葉。春に比べかなり繁茂。				

			
2025年5月9日	根元：稲わらマルチと灌水パイプ	2025年10月17日	根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	41	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	2025.03.28
						仮移植日	—
規格		樹高	13.5	目通り	2.10	葉張り	7.3
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチ、下部湿り、灌水パイプあり。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で剪定。細かい枯れ枝やや目立つ。剪定要。比較的葉張りはある。 残された枝からは芽出し、開葉。春に比して枝葉増加は少ない。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	48	樹種	シイノキ	本移植日	2025.05.23
						仮移植日	—
規格	樹高	13.1	目通り	2.0	葉張り	4.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄いが緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチ＋灌水パイプ設置、マルチ下部湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	葉張りのある巨木であったが、移植・運搬で大きく切断・剪定。新たに萌芽しつつある。枝葉伸長し充実。				



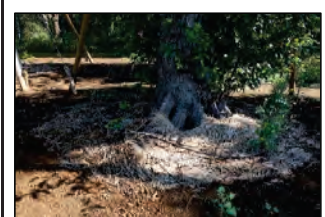
2025年7月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	84	樹種	シラカシ	本移植日	2025.06.06
						仮移植日	—
規格	樹高	10.0	目通り	1.56	葉張り	4	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で上部断幹、大枝剪定。残された枝から芽出し、開葉中。春より密度増える。				



2025年7月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	88	樹種	ウバメガシ	本移植日	2025.05.30
						仮移植日	—
規格	樹高	6.1		目通り	4.5	葉張り	3.5
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	もともと高さ20mの巨木であるが、移植・運搬で大きく切断・剪定。 残された枝、幹から芽出し、開葉中。春より密度充実。				



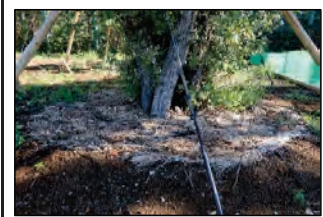
2025年7月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ







2025年10月17日



根元





移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	136	樹種	シラカシ	本移植日	2025.06.13
						仮移植日	—
規格	樹高	13.2	目通り	1.72	葉張り	3.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大きく大枝切断・剪定されて特に頂端は枝葉少ない。 春と比較してあまり成長していない。夏季の高温による衰退は見られない。				

			
2025年7月9日	根元：稲わらマルチと灌水パイプ	2025年10月17日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	140	樹種	エノキ	本移植日	2025.02.07
						仮移植日	—
規格	樹高	12.5	目通り	1.68	葉張り	2.9	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大きく大枝切断・剪定されて葉張りは少ない。残された枝からは芽出し。 春よりはやや増えたがまだ少ない。				

			
2025年5月9日	根元：稲わらマルチと灌水パイプ	2025年10月17日	根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	141	樹種	ケヤキ	本移植日	2025.02.07
						仮移植日	—
規格	樹高	13.0	目通り	1.86	葉張り	5.8	
	m		m		m		

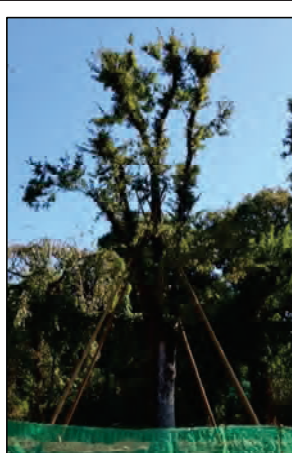
評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大枝が大きく切断・剪定され、春よりは葉が増加しているが、まだ不十分。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元・土壌水分測定

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	151	樹種	フウ	本移植日	2025.03.14
						仮移植日	—
規格	樹高	11.2	目通り	1.69	葉張り	5.2	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で上部断幹、大枝剪定。残された枝から芽出し、開葉中。春よりかなり繁茂。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月17日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館前エリア	樹木番号	158	樹種	エノキ	本移植日	2025.02.14
						仮移植日	—
規格	樹高	11.2	目通り	1.69	葉張り	4.7	
	m		m		m		

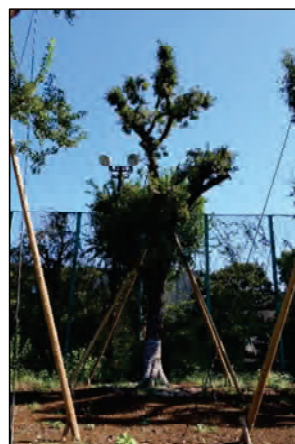
評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：（4本長丸太支柱＋ワイヤー3本支柱併用）健全		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ有、下は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植・運搬で大きく切断・剪定されている。残された枝からは萌芽・開葉。春よりやや繁茂。				



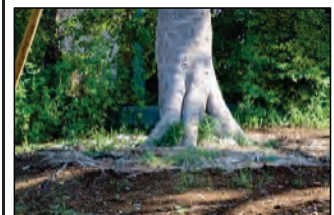
2025年5月9日



根元：わらマルチと灌水パイプ



2025年10月17日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	9	樹種	シイノキ	本移植日	2024.11.08
						仮移植日	—
規格	樹高	6.7	目通り	0.66	葉張り	2.9	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	全体に枝葉が少ない。春からほぼ変わらず。				



2025年6月24日



根元・稲わらマルチ







2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	11	樹種	シイノキ	本移植日	2024.11.08
						仮移植日	—
規格	樹高	7.2	目通り	0.81	葉張り	2.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝葉が少ない。春からほぼ変化なし。				

			
2025年6月24日	根元	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	12	樹種	シイノキ	本移植日	2024.11.08
						仮移植日	—
規格	樹高	7.2	目通り	0.81	葉張り	3.4	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植に伴う剪定で枝葉やや少ない。春からほぼ変化無し。				



2025年6月24日



根元





2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	28	樹種	サンゴジュ	本移植日	2024.11.08
						仮移植日	—
規格	樹高	2.4	目通り	0.34	葉張り	2.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：竹八つ掛け		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	樹の芯が見えないが、葉張りがあり、樹勢は良好。春からほぼ変化無し。				

			
2025年6月24日	根元	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	40	樹種	タブノキ	本移植日	2025.06.26
						仮移植日	—
規格	樹高	10.0	目通り	0.85	葉張り	5.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植後の萌芽は良好、大枝の剪定枝からは新たな芽が多数。葉が詰まって良好になった。				



2025年7月9日



根元






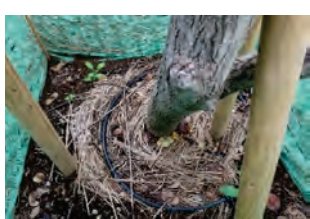
2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	85	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	2025.03.19
						仮移植日	—
規格	樹高	6.0		目通り	0.40	葉張り	6.2
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	下部に枯れ枝あり。全体としてやや葉は少ない。春からほぼ変わらず。				

			
2025年6月24日	根元	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	144	樹種	スダジイ	本移植日	2025.06.26
						仮移植日	—
規格	樹高	9.8	目通り	1.12	葉張り	3.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植後の萌芽は良好。春からあまり変わらず。				



2025年7月9日



わらと下の湿り







2025年10月24日



根元





移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	33	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	2024.11.13
						仮移植日	—
規格	樹高	4.3		目通り	0.35	葉張り	3.2
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植前は日陰で葉が少なかった。日当たりが良好になり、現在葉はまだ少ないが良好。春からほとんど変わらない。				

			
2025年6月24日	根元・稲わらマルチ	2025年10月24日	根元



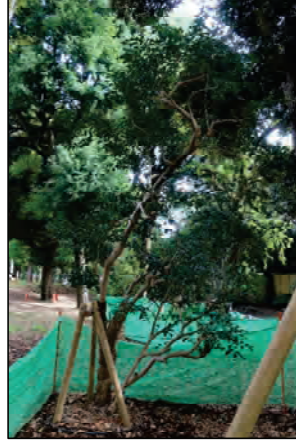

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	35	樹種	マテバシイ	本移植日	2024.10.30
						仮移植日	—
規格	樹高	2.9	目通り	0.35	葉張り	3.4	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	主幹なくブッシュ状であるが、樹勢は良い。春からの伸長はなく、あまり変わらない。				

			
2025年6月24日	根元・稲わらマルチ	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	46	樹種	サザンカ	本移植日	2024.10.30
						仮移植日	—
規格	樹高	3.3	目通り	0.48	葉張り	3.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	樹勢、樹形ほぼ良好。春からの変化ほぼ無し。衰退もない。				

			
2025年6月24日	根元	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	50	樹種	ツバキ	本移植日	2024.10.30
						仮移植日	—
規格	樹高	3.2	目通り	0.36	葉張り	1.7	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：二脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	やや葉が少ないが、ほぼ移植前の樹形、樹勢。春からの変化少ない。				



2025年6月24日



根元・稲わらマルチ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	77	樹種	カラタネオガタマ	本移植日	2024.10.28
						仮移植日	—
規格	樹高	4.7		目通り	0.90	葉張り	2.9
	m			m		m	

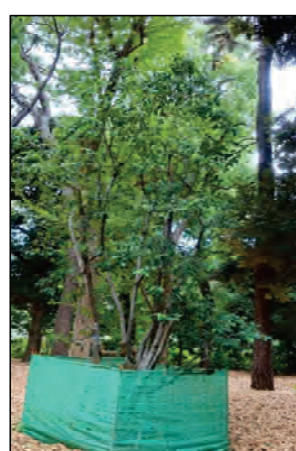
評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	やや葉が粗密。春からの伸長なく、変わらない。				



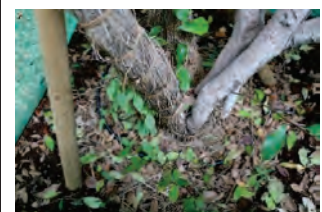
2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	81	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	2024.11.11
						仮移植日	—
規格	樹高	3.8		目通り	0.44	葉張り	1.5
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。土壌水分計測42.4,40.1,42.3=41.6%平均 湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	下部の大枝は枯死は剪定済み。新たな伸長見られず、春からの変化ほぼ無し。				



2025年6月24日



根元・稲わらマルチ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	82	樹種	モクセイ	本移植日	2024.10.29
						仮移植日	—
規格	樹高	2.9	目通り	0.37	葉張り	1.6	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：2脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	コンパクトにまとまった樹形。春からの変化ほぼ無し。				



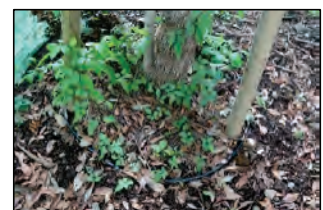
2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	84	樹種	モクセイ	本移植日	2024.10.29
						仮移植日	—
規格	樹高	3.3	目通り	0.50	葉張り	1.4	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植前から擁壁開口部に位置し、枝葉少なく、葉の林縁に褐変あり。春からの変化ほぼ無し。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	87	樹種	モクセイ	本移植日	2024.10.29
						仮移植日	—
規格	樹高	3.0	目通り	0.35	葉張り	1.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	葉先に褐変あり、枝葉少ない。移植前の風の影響が残る。春からの変化ほぼ無し。				



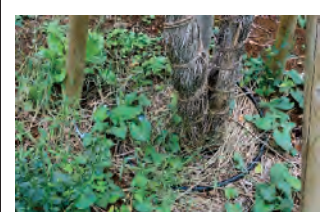
2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	89	樹種	モクセイ	本移植日	2024.10.29
						仮移植日	—
規格	樹高	3.5		目通り	0.60	葉張り	1.5
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、土壌は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	葉先の褐変が目立つ、移植前、擁壁開口部にあり、風の影響。 少ないが開花している。春からの伸長はない。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	94	樹種	マテバシイ	本移植日	2024.10.30
						仮移植日	—
規格	樹高	6.8	目通り	0.75	葉張り	3.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下部は湿り。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	下枝に褐変が見られ、枝葉やや少なく、枯れ枝あり。剪定のこと。新たな伸長はない。				



2025年6月24日



根元・稲わらマルチ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	103	樹種	モッコク	本移植日	2025.04.10
						仮移植日	—
規格	樹高	5.8	目通り	0.43	葉張り	3.1	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	樹形、樹勢ほぼ良好。春からの変化はほぼない。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	110	樹種	モクセイ	本移植日	2025.04.10
						仮移植日	—
規格	樹高	3.8	目通り	0.97	葉張り	3.3	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	やや樹形に乱れはあるが、ほぼ良好。開花中。新たな伸長はない。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	114	樹種	モクセイ	本移植日	2025.04.10
						仮移植日	—
規格	樹高	3.8	目通り	1.23	葉張り	3.1	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	下枝はやや少ないが、上部は良好。開花はない。春からほぼ変わらず。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	115	樹種	ヤマモモ	本移植日	2025.04.15
						仮移植日	—
規格	樹高	5.9	目通り	1.04	葉張り	3.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	少し葉が少ないがほぼ良好。春からの変化はほぼない。				



2025年6月24日



根元



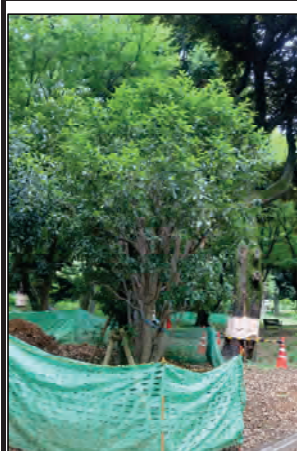
2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	116	樹種	モクセイ	本移植日	2024.04.11
						仮移植日	—
規格	樹高	4.3	目通り	1.19	葉張り	3.3	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	剪定でふところ枝葉やや少ないが、ほぼ良好。春からの成長はほぼなく、変わらず。				



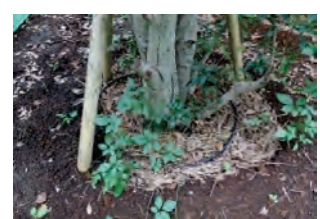
2025年6月24日



根元





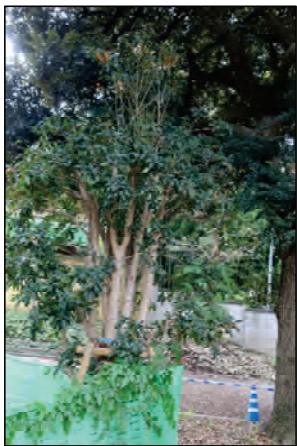

2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	120	樹種	モクセイ	本移植日	2025.04.10
						仮移植日	—
規格	樹高	4.5	目通り	1.16	葉張り	2.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：2脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	芯がやや徒長、下枝葉やや少ない。わずかに開花。新たな伸長はない。				

			
2025年6月24日	根元	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	121	樹種	ヤマモモ	本移植日	2025.05.12
						仮移植日	—
規格	樹高	6.5	目通り	1.03	葉張り	3.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：八つ掛け丸太支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	こぶ病あり。				
コメント・対応	中枝はやや少ないが、新たな新芽は良好。密度やや増加。				



2025年6月24日



根元・わら下の湿り



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	122	樹種	モクセイ	本移植日	2025.04.11
						仮移植日	—
規格	樹高	4.0	目通り	1.23	葉張り	3.1	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	下枝やや少なく、樹形の乱れも多少あるが、ほぼ良好。上部に少し開花。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元・開花

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	123	樹種	モクセイ	本移植日	2025.04.15
						仮移植日	—
規格	樹高	4.2	目通り	1.16	葉張り	2.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄いが緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：2脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植で剪定されているが、しっかりした樹形。開花は少ない。春からほとんど変わらず。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	124	樹種	モクセイ	本移植日	2025.04.15
						仮移植日	—
規格	樹高	3.3	目通り	1.27	葉張り	2.3	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	少し剪定されているが、樹形、樹勢良好。開花ほぼ無し。新たな伸長もない。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	128	樹種	ヤマモモ	本移植日	2025.05.12
						仮移植日	—
規格	樹高	7.5	目通り	1.10	葉張り	4.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	新しい新芽が多く出ている。新芽固まる。変化は少ない。				



2025年6月24日



根元



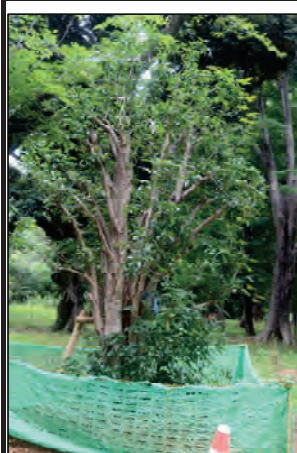
2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	129	樹種	モクセイ	本移植日	2025.04.21
						仮移植日	—
規格	樹高	3.7	目通り	1.36	葉張り	4.1	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：2脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植で剪定され、枝葉やや粗。開花は少ない。春からの変化ほぼ無し。				



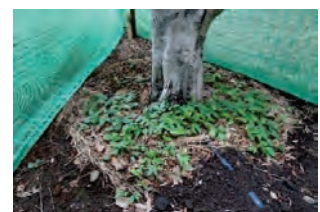
2025年6月24日



根元・ひこばえ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	130	樹種	モクセイ	本移植日	2025.04.21
						仮移植日	—
規格	樹高	4.4	目通り	1.37	葉張り	2.7	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	剪定されているが、しっかりした樹形。開花は少ない。成長もほぼ無し。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元・開花

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	131	樹種	モクセイ	本移植日	2025.05.08
						仮移植日	—
規格	樹高	4.8	目通り	1.17	葉張り	3.3	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：2脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	大きなモクセイで少し剪定されている。開花少ない。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元・開花

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	132	樹種	モクセイ	本移植日	2025.05.08
						仮移植日	—
規格	樹高	4.8	目通り	1.17	葉張り	3.3	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：2脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝葉多少乱れているが、ほぼ良好。春からの変化はほぼない。				



2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	133	樹種	カラタネオガタマ	本移植日	2025.05.08
						仮移植日	—
規格	樹高	4.2	目通り	5本立ち	葉張り	4.2	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	葉がやや少ない。少し葉が充実。				



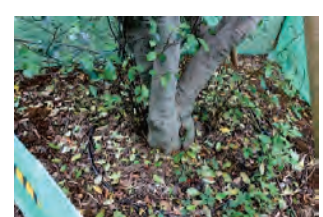
2025年6月24日



根元



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	御観兵衛エリア	樹木番号	136	樹種	モクセイ	本移植日	2024.11.04
						仮移植日	—
規格	樹高	3.7	目通り	1.31	葉張り	2.9	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：3脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ、藁の下は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	下枝やや少ない、葉先に少し褐変が見られるが、大きな問題ではない。春からの成長はほぼない。				



2025年6月24日



根元・稲わらマルチ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館裏エリア	樹木番号	42	樹種	シイノキ	本移植日	2024.11.02
						仮移植日	—
規格	樹高	6.0	目通り	1.17	葉張り	3.2	
	m		m		m		

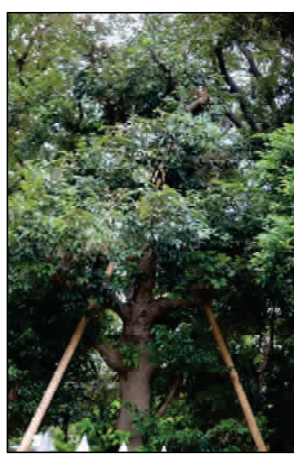
評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け		
土壌状況	稲わらマルチ、下部は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝葉が充実してきている。				



2025年5月29日



根元、わら下の湿り



2025年10月24日



根元・除草要

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館裏エリア	樹木番号	111	樹種	ヤマモモ	本移植日	2025.04.21
						仮移植日	—
規格	樹高	6.0		目通り	1.2	葉張り	4.6
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け		
土壌状況	稲わらマルチ、わらの下は湿っている。土壌水分測定、68.6、60.0、74.3=平均67.6% 湿潤				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	葉が充実し、全体的に良好。				



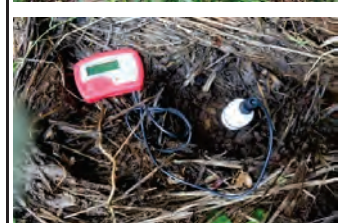
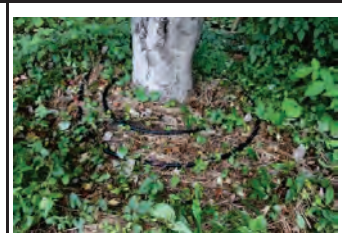
2025年5月29日



稲わらマルチ、土壌水分測定



2025年10月24日



根元・土壌水分測定

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	絵画館裏エリア	樹木番号	137	樹種	ヤマモモ	本移植日	2024.11.02
						仮移植日	—
規格	樹高	6.5	目通り	1.24	葉張り	4.2	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け		
土壌状況	稲わらマルチ、下部は湿っている。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝葉が春より少し成長充実。				



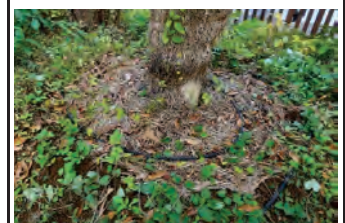
2025年5月29日



根元わらマルチ、湿り



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	42	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.27
規格	樹高	7.7	目通り	0.48	葉張り	5.3	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	ほぼそのままの樹形で移植。樹林下でやや下枝高く、枝葉少ない。春からの成長はほとんど無し。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ







2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	97	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.27
規格	樹高	7.5	目通り	0.67	葉張り	4.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	樹林下にある、下枝高い。細い枯れ枝あり。剪定要。春からの成長はほとんど無し。				

			
2025年5月9日	根元：稲わらマルチと灌水パイプ	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	137	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.20
規格	樹高	7.2	目通り	0.31	葉張り	2.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	三脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植前樹林下に在り、下枝高い。春からの成長ほとんど無し。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	139	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.20
規格	樹高	7.2	目通り	0.40	葉張り	2.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植前樹林下にあり、すらりとした樹形。春からほとんど成長無し。				



2025年5月9日



根元







2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	143	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.20
規格	樹高	6.7	目通り	0.32	葉張り	3.0	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	三脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植前に樹林下であり、下枝少なく、やや乱れ樹形。春からほとんど成長無し。				

			
2025年5月9日	根元：稲わらマルチと灌水パイプ	2025年10月24日	根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	147	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.20
規格	樹高	7.3	目通り	0.39	葉張り	2.5	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	移植前に樹林下であり、下枝少なく、やや乱れ樹形。春からほとんど変化無し。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	148	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.20
規格	樹高	6.6	目通り	0.31	葉張り	2.4	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	三脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	比較的四方に枝あり。春からの変化はほとんど見られない。				



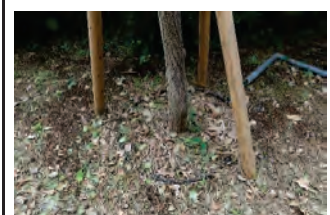
2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	152	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.20
規格	樹高	9.0		目通り	0.57	葉張り	4.3
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	丸太八つ掛け支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	やや下枝の少ない樹形。春からの変化はあまり見られない。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	神宮外苑苗圃エリア	樹木番号	153	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	—
						仮移植日	2025.02.20
規格	樹高	4.2	目通り	0.27	葉張り	4.2	
	m		m		m		

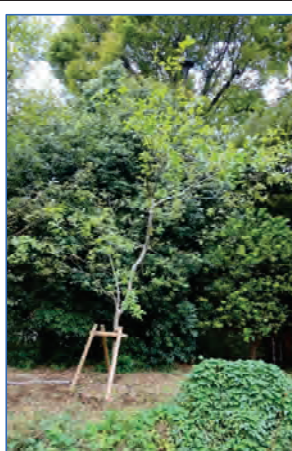
評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	三脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチと灌水パイプ。灌水土壌水分測定GL-15cm。3回平均49.6% (47.1、54.6、47.2)				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	比較的四方に枝葉あり。日当たり良好地で今後の育成観察。				



2025年5月9日



根元：稲わらマルチと灌水パイプ



2025年10月24日



根元

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年12月11日	樹木医	直木 哲
エリア	建国記念文庫	樹木番号	15	樹種	ツバキ	本移植日	2025年11月8日
						仮移植日	—
規格	樹高	3.0	目通り	4本立ち	葉張り	1.8	
	m		m		m		

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：2脚支柱		
土壌状況	稲わらマルチ				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	樹形良好、現状やや葉が少ないが、春の萌芽期待				



2025年12月11日	稲わらマルチ		
-------------	--------	--	--

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年12月11日	樹木医	直木 哲
エリア	新ラグビーエリア	樹木番号	19	樹種	ヒトツバタゴ	本移植日	2025年11月28日
						仮移植日	—
規格		樹高	9	目通り	1.31	葉張り	7.0
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	稲わらマルチ				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	非常に樹形良好、葉の色は落葉期で不明、密度は枝・細枝を見て判断				



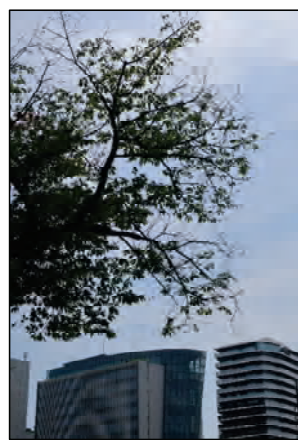
2025年12月11日	稲わらマルチ		
-------------	--------	--	--

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	建国記念文庫	樹木番号	2	樹種	ヤエザクラ	本移植日	2025年11月18日
						仮移植日	—
規格		樹高	10.0	目通り	1.35	葉張り	9.0
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	やや乾燥				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	根回し樹で秋に移植予定。枝先に枯れ枝がやや目立つ。 夏季の猛暑も影響している。移植時に剪定のこと。				



2025年8月6日



枝先に枯れあり



2025年10月24日



枝先に枯れ枝

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	建国記念文庫	樹木番号	3	樹種	ヤエザクラ	本移植日	2025年11月18日
						仮移植日	—
規格		樹高	10.5	目通り	2本立ち	葉張り	10.0
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	やや乾燥				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	枝の先端に細い枯れ枝あり。 夏季の猛暑・乾燥で葉が一部落葉、枯れ枝も増えている。移植時に剪定のこと。				



2025年8月6日



先端の細い枯死枝



2025年10月24日



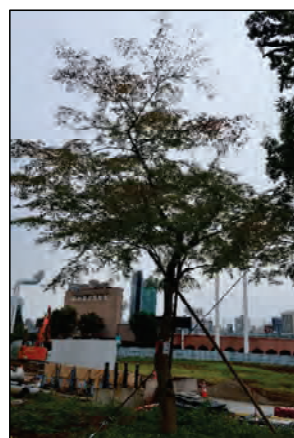
枯枝状況

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	建国記念文庫	樹木番号	156	樹種	モミジ	本移植日	2025年11月12日
						仮移植日	—
規格	樹高	7.0		目通り	0.64	葉張り	7.0
	m			m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：2本丸太		
土壌状況	やや乾燥				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	樹勢、樹形よく良好。夏季の傷みは見られない。				



2025年8月6日



2025年10月24日

移植樹木モニタリング票			モニタリング日		2025年10月24日	樹木医	直木 哲
エリア	建国記念文庫	樹木番号	157	樹種	シラカシ	本移植日	2025年11月11日
						仮移植日	—
規格		樹高	15.0	目通り	1.56	葉張り	7.5
		m		m		m	

評価項目	優	良	やや不良	不良	枯死寸前
樹勢	旺盛な生育 被害ほぼ無し	幾分被害 目立たない	軽微な異常あり	異常あり	ほぼ枯死
樹形	自然な樹形	軽微なみだれ 目立たない	多少みだれ	著しい乱れ	ほぼ崩壊
枝葉の密度	充分な枝葉	やや少ないが 目立たない	やや少ない	著しく少ない	ほとんど無い
葉の色	濃い緑を保つ	やや薄い緑	黄色 褐色がある	大半が黄色 褐色	ほぼ黄色 褐色
先端の衰弱枯損	なし	少しあるが 目立たない	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
大枝の枯損	なし	ほぼなし	やや目立つ	かなり目立つ	ほぼ枯損
支柱状況	健全	やや不良	指示事項：ワイヤー支柱		
土壌状況	やや乾燥				
その他(病虫害等)	無し				
コメント・対応	樹勢・樹形良好・夏季高温乾燥の影響は見られない。				



2025年8月6日



2025年10月24日

■毎木調査エリア図及び枯損等一覧表

計画地全体の存置、移植、伐採樹木の配置は、移植作業の着手前（令和6年9月末時点）が資料図-1～14の（1）に、移植計画の完了後（令和7年12月末時点）が資料図-1～14の（2）に示すとおりである。

このうち、変更届（令和6年9月）から追加となった枯損等の樹木については、資料表-1に示すとおりである。

資料表-1 事後調査において枯損等が確認された樹木一覧

エリア	枯損等樹木	備考 (令和5年の樹木調査における所見)
建国記念文庫	KE-001 ヤエザクラ (伐採対象樹木)	幹に打音異常 H0.0m~1.2mあり。開口空洞 15×18×40/40(貫通)あり。根元の穴に前回調査ではベッコウタケの子実体が確認されたが今回は消失。樹幹傾斜あり。枯枝(西側H4.5), φ10, L=2.0mあり。移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。
建国記念文庫	KE-004 ヤエザクラ (伐採対象樹木)	幹H1.2mに開口空洞 10×10×15あり。高さH1.2mに入り皮あり。ぶつ切り剪定痕からの腐朽(中)あり。幹芯から歩道縁石までの離隔距離1.1m。移植後の樹形維持が困難なため移植不適。
建国記念文庫	KE-043 ヤマザクラ (存置対象樹木)	ひこばえ、胴吹き枝が多数あり。下枝が高い。枯枝(南 H6.5m) φ20, L=6.0mあり。移植後に健全な状態への回復が見込めない。移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。
建国記念文庫	KE-061 コブシ (存置対象樹木)	断幹痕(H4.0m)からの腐朽が進行している。根元・幹に打診音異常(大) H0.0~1.5mあり。枯枝(H2.3m) φ10, L=3.0mあり。
建国記念文庫	KE-080 ヤエザクラ (存置対象樹木)	樹幹傾斜(大)(北側)あり。幹(東 H1.5m)に開口空洞 25×15×15/30(芯達)あり。幹に打診音異常(小) H1.5~2.5mあり。大枝(北 H3.5m)にスタブカット(切り残し枝)φ20, L=0.7mあり。フェンスが1.0m(北側)の距離にある。
建国記念文庫	KE-105 マテバシイ (存置対象樹木)	大枝がぶつ切り剪定されている。幹(西側)に大枝剪定痕からの腐朽あり。根元・幹に打診音異常(大) H0.0m~2.5mあり。幹に樹皮枯死が多数あり。フェンスが近接している。
建国記念文庫	KE-130 ヒトツバタゴ (存置対象樹木)	被圧による枝枯れ、腐朽あり。
第二球場	YG-027 マテバシイ (伐採対象樹木)	幹に枯死あり。株立ちになっている。隣接樹木との距離が近く、適正根鉢の確保が困難である。樹形に乱れがあり(高さ1mで断幹)、移植後の回復が難しい。移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。
第二球場	YG-029 ネズミモチ (伐採対象樹木)	根元に開口空洞(大)あり。葉に虫害あり。移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。
第二球場	YG-030 サングジュ (伐採対象樹木)	株の1本が割けたことによる樹皮欠損(大)あり。根元に揺らぎあり。樹冠に偏りあり。樹勢が衰退し、枯死寸前の状態である。移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。
野球場3塁側	Y01-011 マテバシイ (存置対象樹木)	根本・幹 H0.1m~4.0mに開口空洞(大)(芯達)あり。被害が進行中であり、幹折れの可能性あり。枝にてんぐ巣病の症状が多数あり。土留め壁が根元にあり。
野球場3塁側	Y01-041 シイノキ (伐採対象樹木)	根元・幹に開口空洞 55×10(196)×15/50あり。幹H2.5mに開口空洞 20×5(150)×10/30あり。根元・幹に打診音異常あり。幹にコフキタケの発生あり。樹形に乱れあり(樹冠に道路側への大きな偏り)。大枝に腐朽(中)あり。万年塚が根元にあり。斜面に位置する。移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。
野球場3塁側	Y01-043 シイノキ (伐採対象樹木)	幹芯から土留めまでの離隔距離1.4m。樹形に乱れあり不適(樹冠に道路側への大きな偏り、樹幹傾斜)。幹H3mにコフキサルノコシカケあり。幹H4.5mに開口空洞あり。枯枝(西側歩道上 H4.5m) Φ15, L=2m、ほか多数あり。要切除。移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。
野球場1塁側	Y02-056 マテバシイ (伐採対象樹木)	幹(西側)H1.0mに開口空洞 90×15(貫通)あり。根元・幹に打診音異常 H0.0m~2.5mあり。主幹の枯れ下がりあり。幹折れの可能性あり。ポンプ、配管、制御盤に近接している。活力度が悪く移植後の健全な生育が困難。移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。
テニス場室内コート・御台場西	T02-135 マテバシイ (存置対象樹木)	根元にコフキタケの発生あり。根元・幹に打診音異常(大) H0.0~2.0mあり。露出根が多数あり。巻き根(中)あり。ひこばえが多数あり。石積みから1.8mの距離にある。石垣の上に位置する。大枝に剪定痕・腐朽、剪定こぶが多数、てんぐ巣症状あり。大枝の枯損が多数あり、緊急切除の必要あり。
銀杏並木東Cエリア	C-255 クヌギ (存置対象樹木)	北西側に開口空洞(35×15×20)、空洞部のふくらみ(肥大生長)、打音異常あり。下枝が高く、枝葉量が少ない。

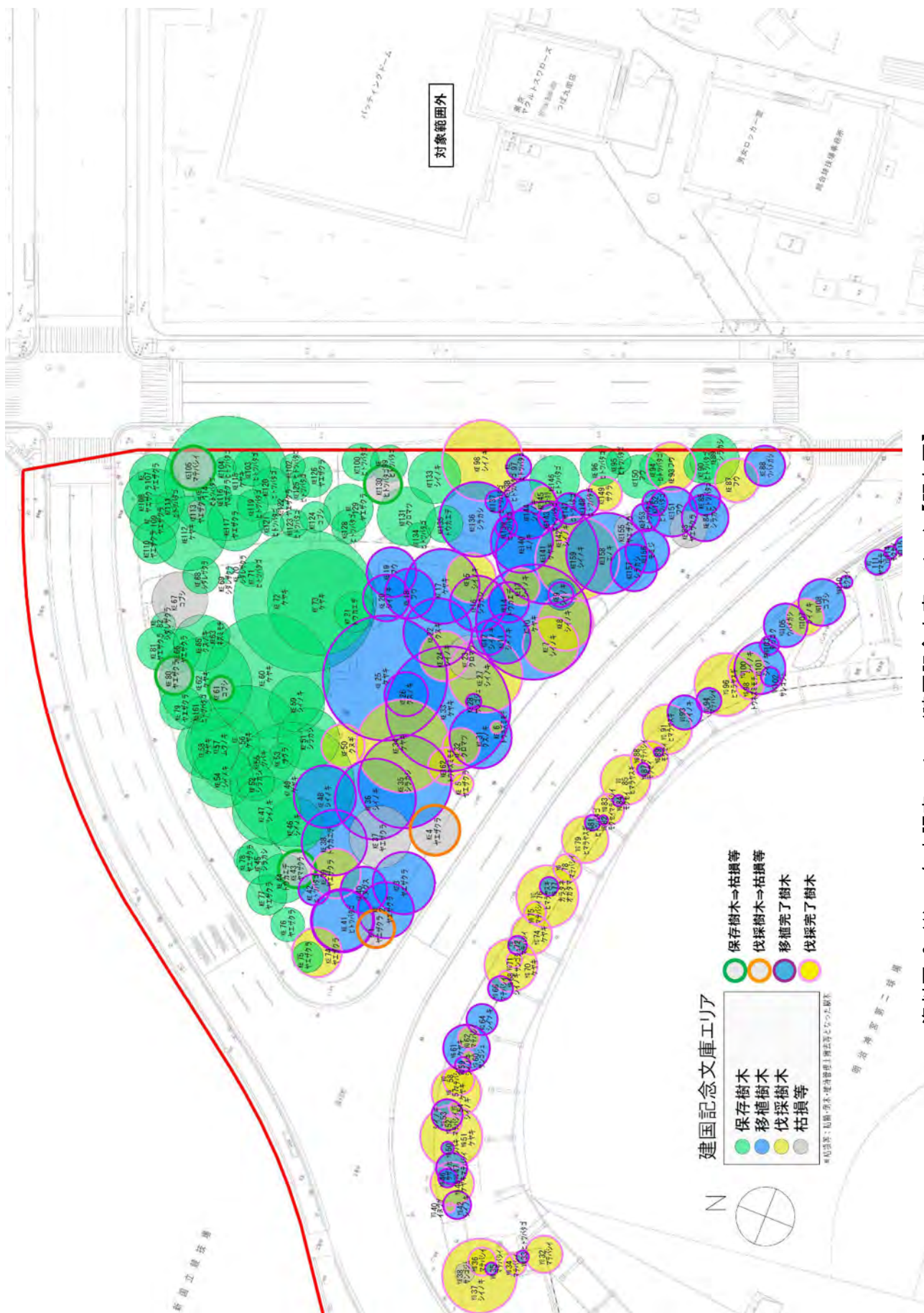
注) 変更届(令和6年9月)に記載の枯損等の本数は調査を行なった令和5年時点での本数であり、記載している樹木は令和6年以降に枯損等となった樹木を示す。



注) 軟式野球場東側エリア及び西側エリアは別事業である。

■ 樹木配置図 (既存)

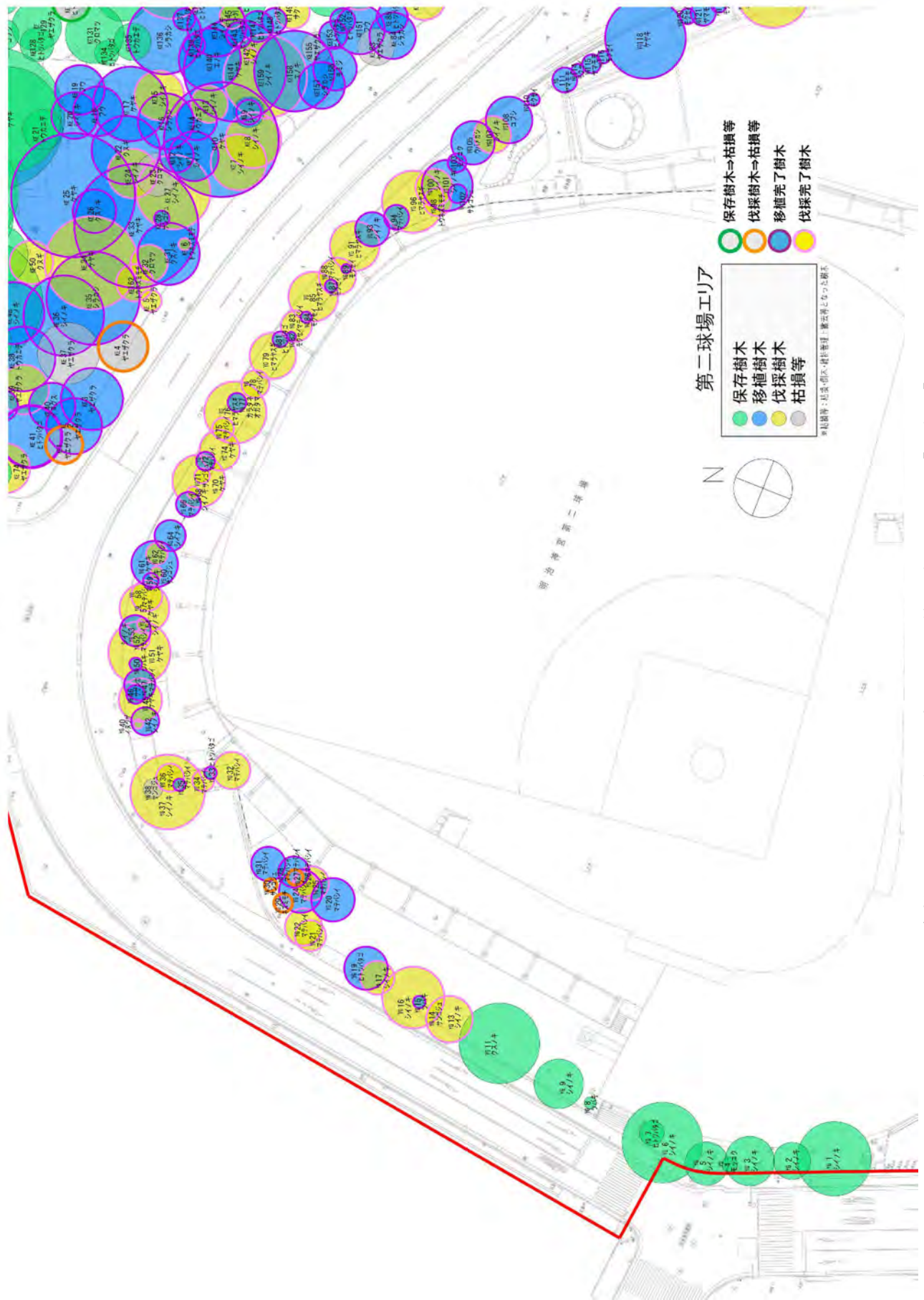
資料図-1 (1) 毎木調査エリア (計画地全体) 【既存図】



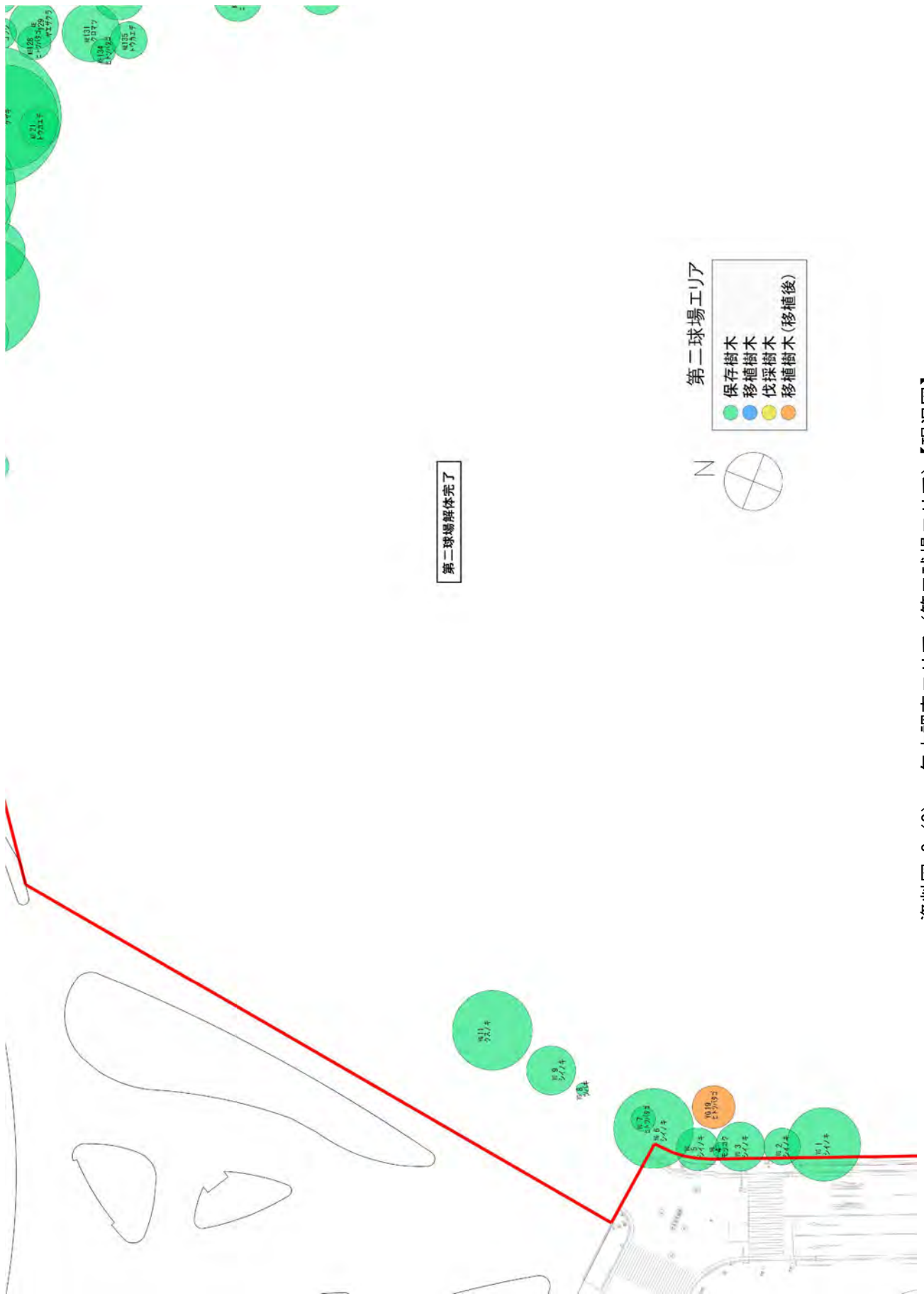
資料図-2 (1) 毎木調査エリア (建国記念文庫エリア)【既存図】



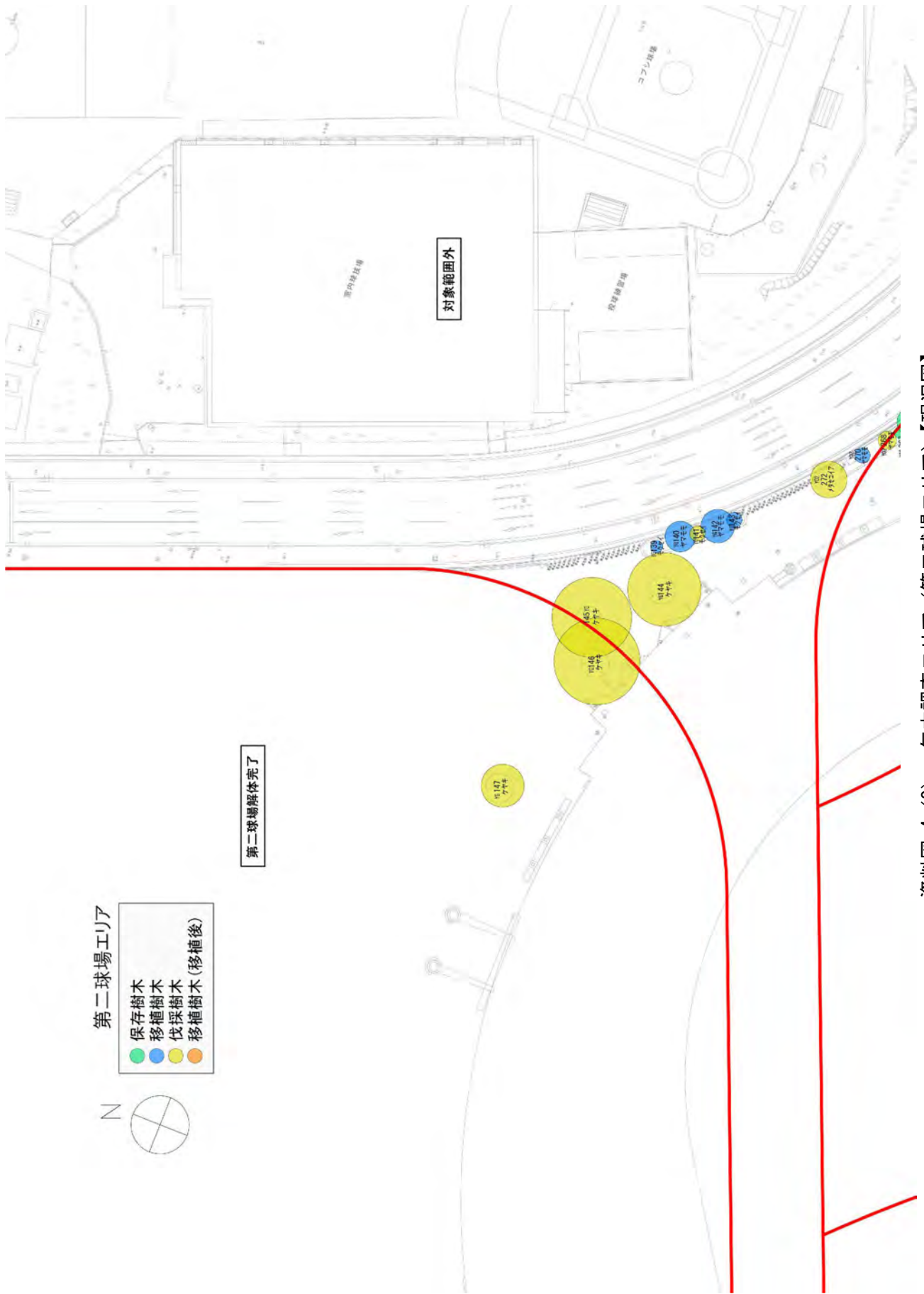
資料図-2 (2) 毎木調査エリア (建國記念文庫エリア) 【現況図】



資料図-3 (1) 毎木調査エリア (第二球場エリア) 【既存図】



資料図-3 (2) 毎木調査エリア (第二球場エリア) 【現況図】



資料図-4 (2) 毎木調査エリア (第二球場エリア) 【現況図】



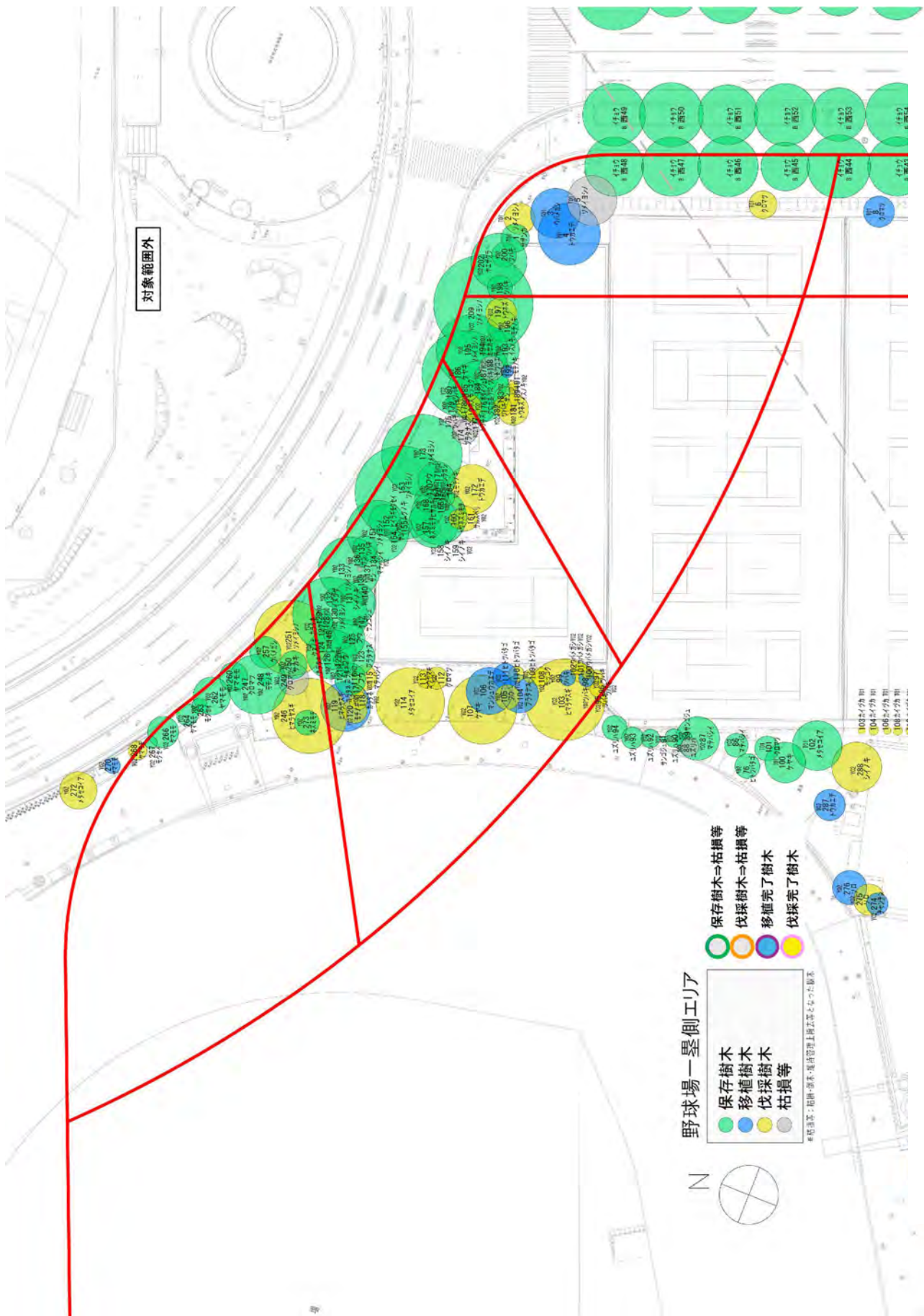
資料図-5 (1) 毎木調査エリア (野球場三塁側エリア) 【既存図】



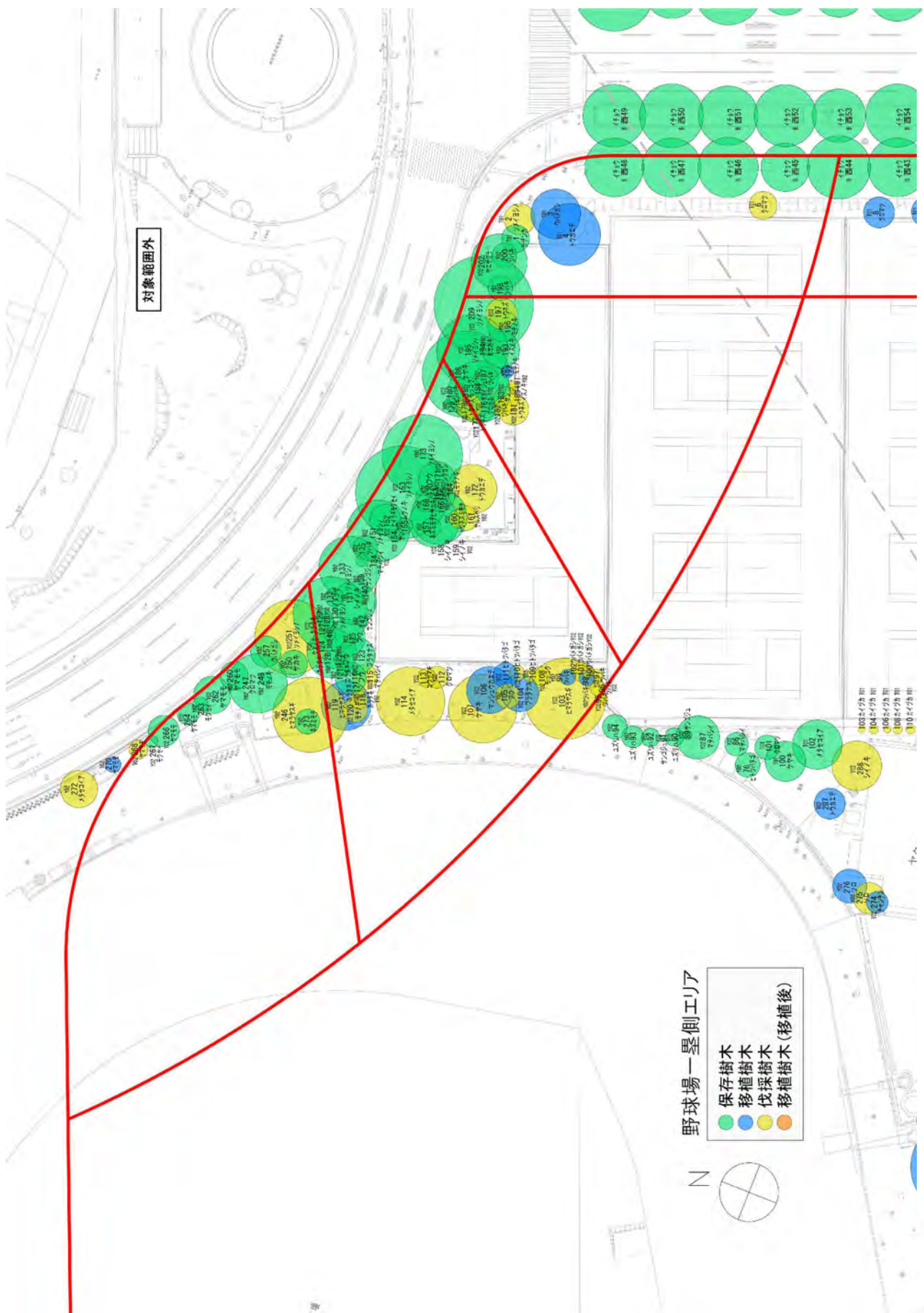
資料図-5 (2) 毎木調査エリア (野球場三塁側エリア) 【現況図】



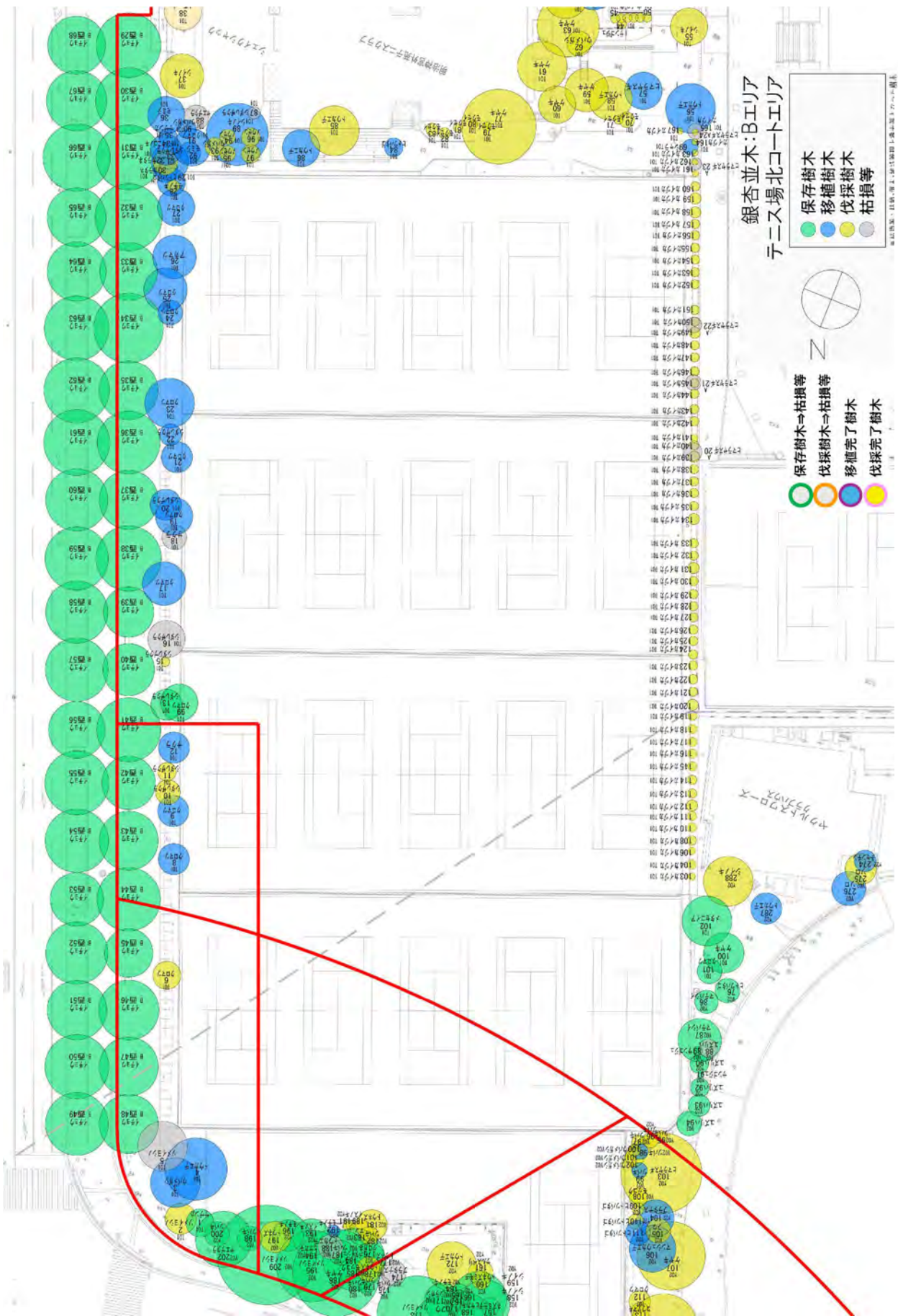
資料図-6 (1) 毎木調査エリア (野球場一塁側エリア) 【既存図】



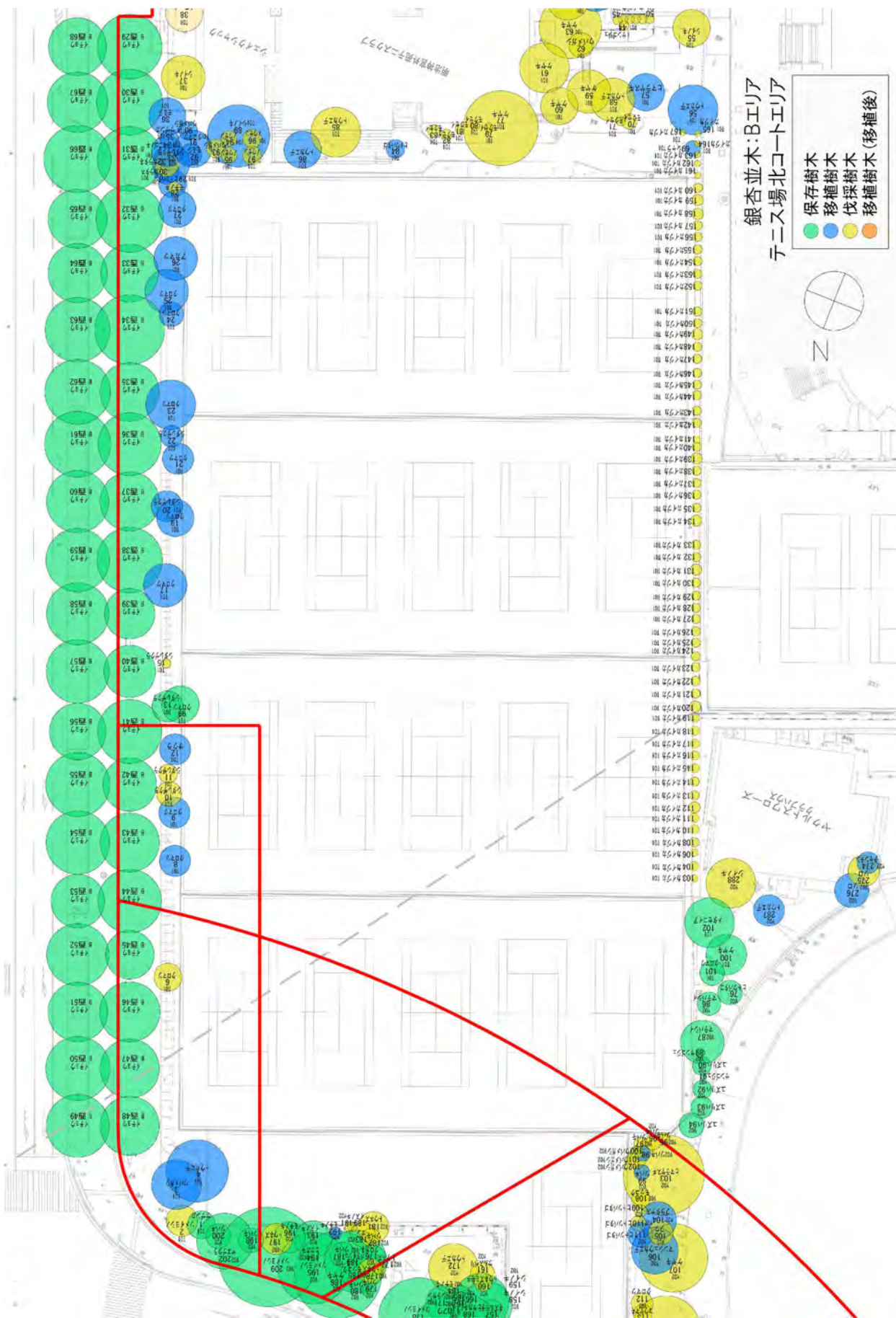
資料図-7 (1) 毎木調査エリア (野球場一塁側エリア・テニス場北コートエリア・銀杏並木Bエリア)【既存図】



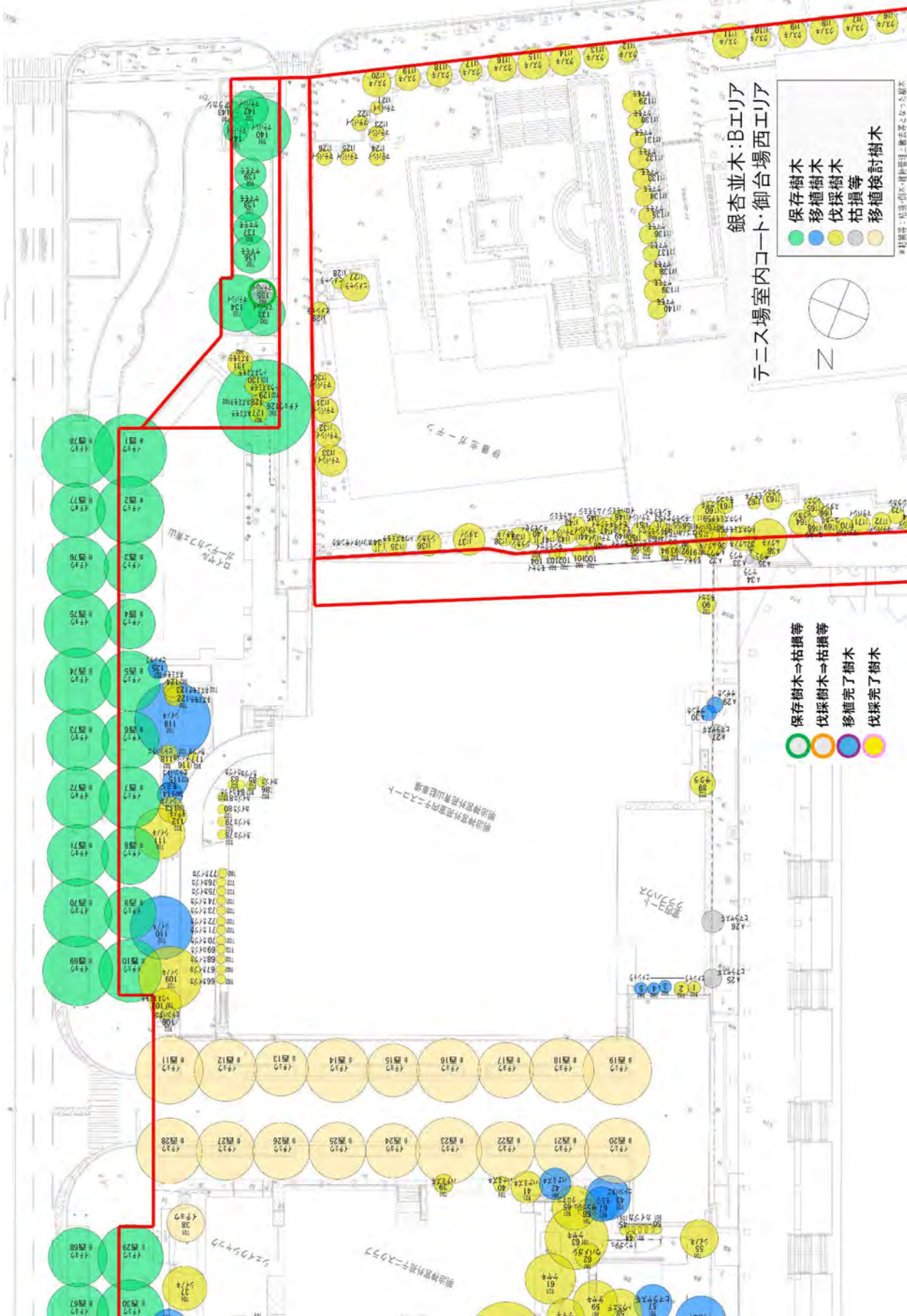
資料図-7 (2) 毎木調査エリア (野球場一塁側エリア・テニス場北コートエリア・銀杏並木Bエリア) 【現況図】



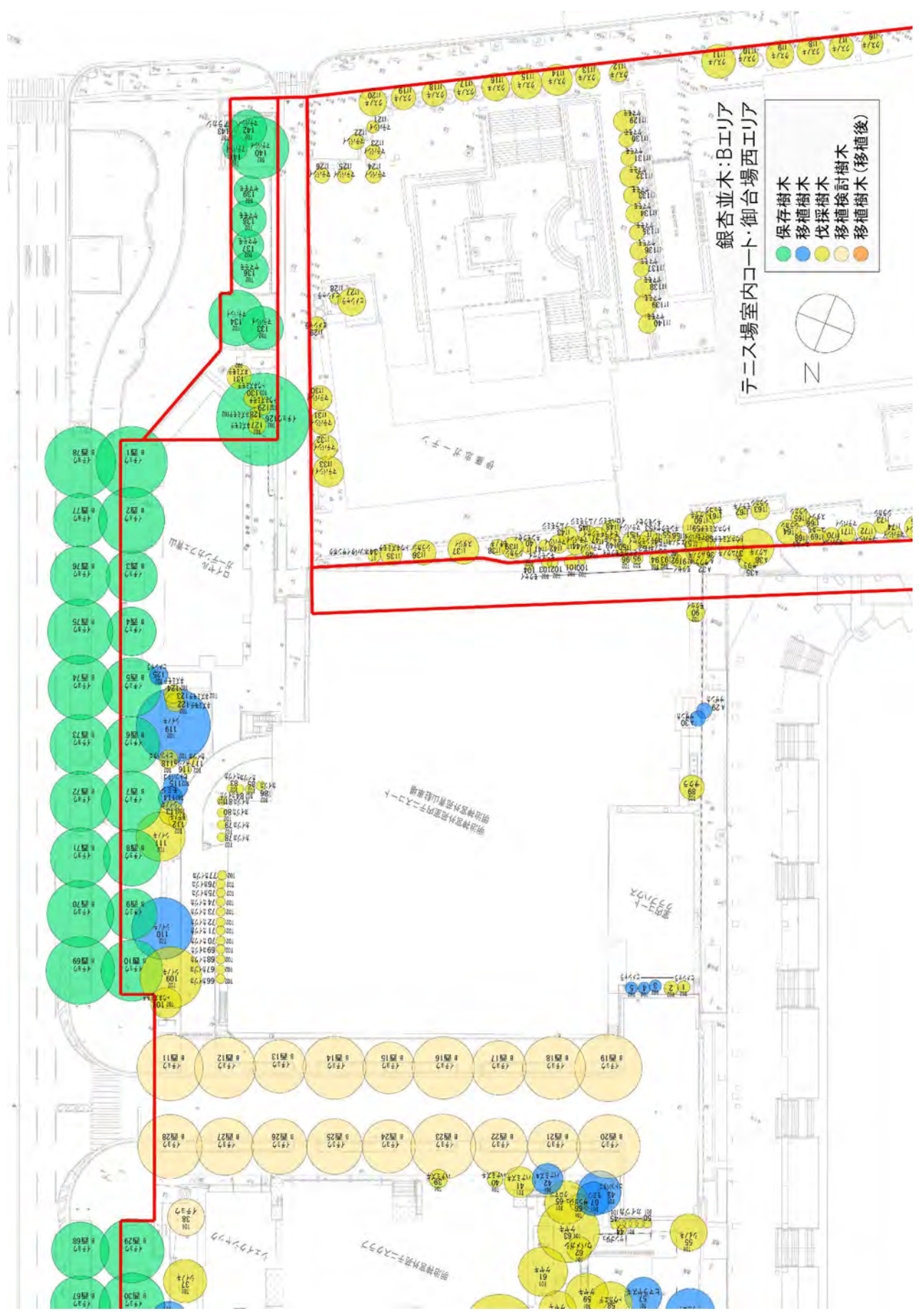
資料図-8 (1) 毎木調査エリア (野球場一塁側エリア・テニス場北コートエリア・銀杏並木Bエリア) 【既存図】



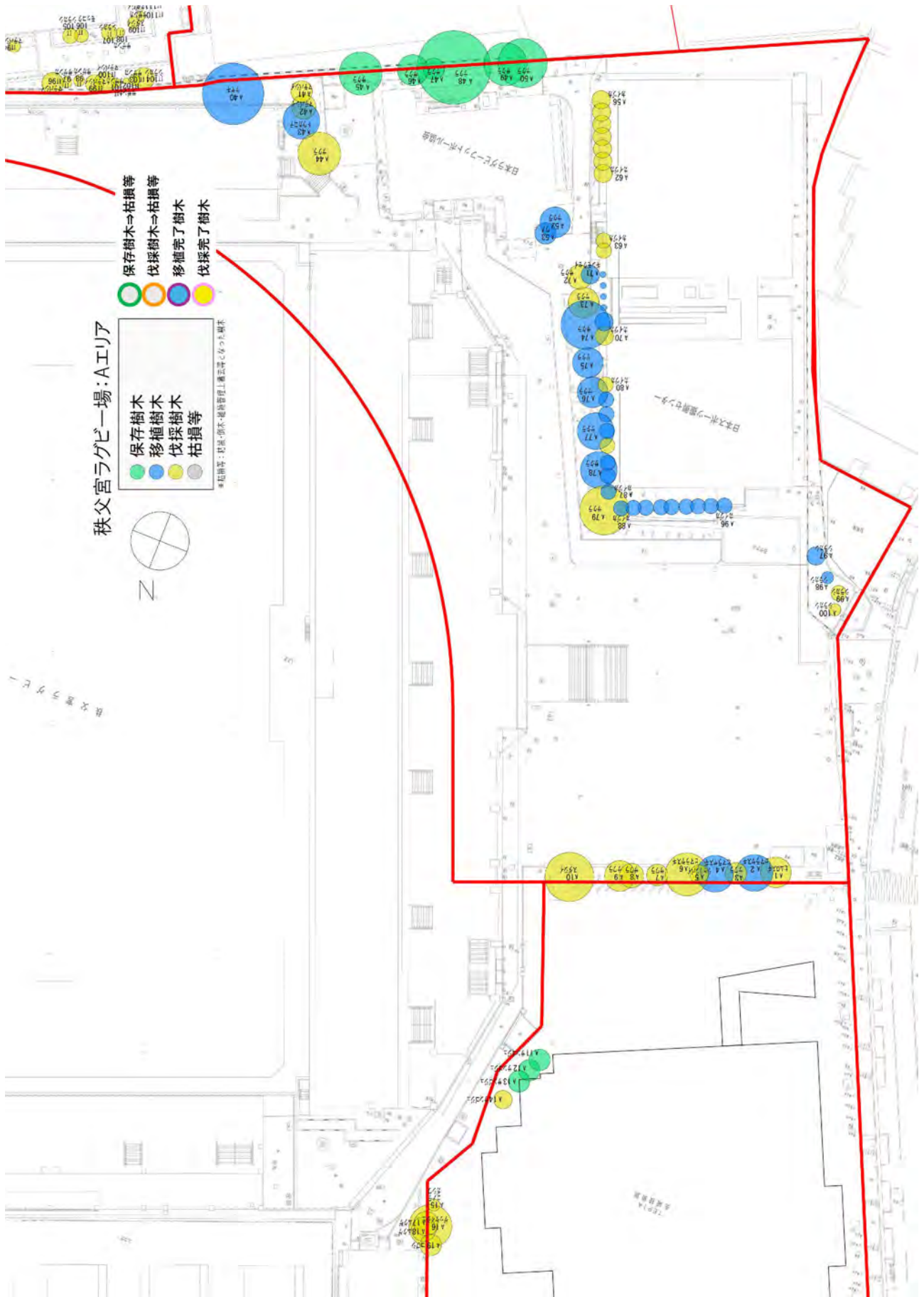
資料図-7 (2) 毎木調査エリア (野球場一塁側エリア・テニス場北コートエリア・銀杏並木Bエリア) 【現況図】



資料図-9 (1) 毎木調査エリア (テニスコート内コート・御台場西エリア 銀杏並木Bエリア 伊藤忠ビル周りエリア) 【既存図】



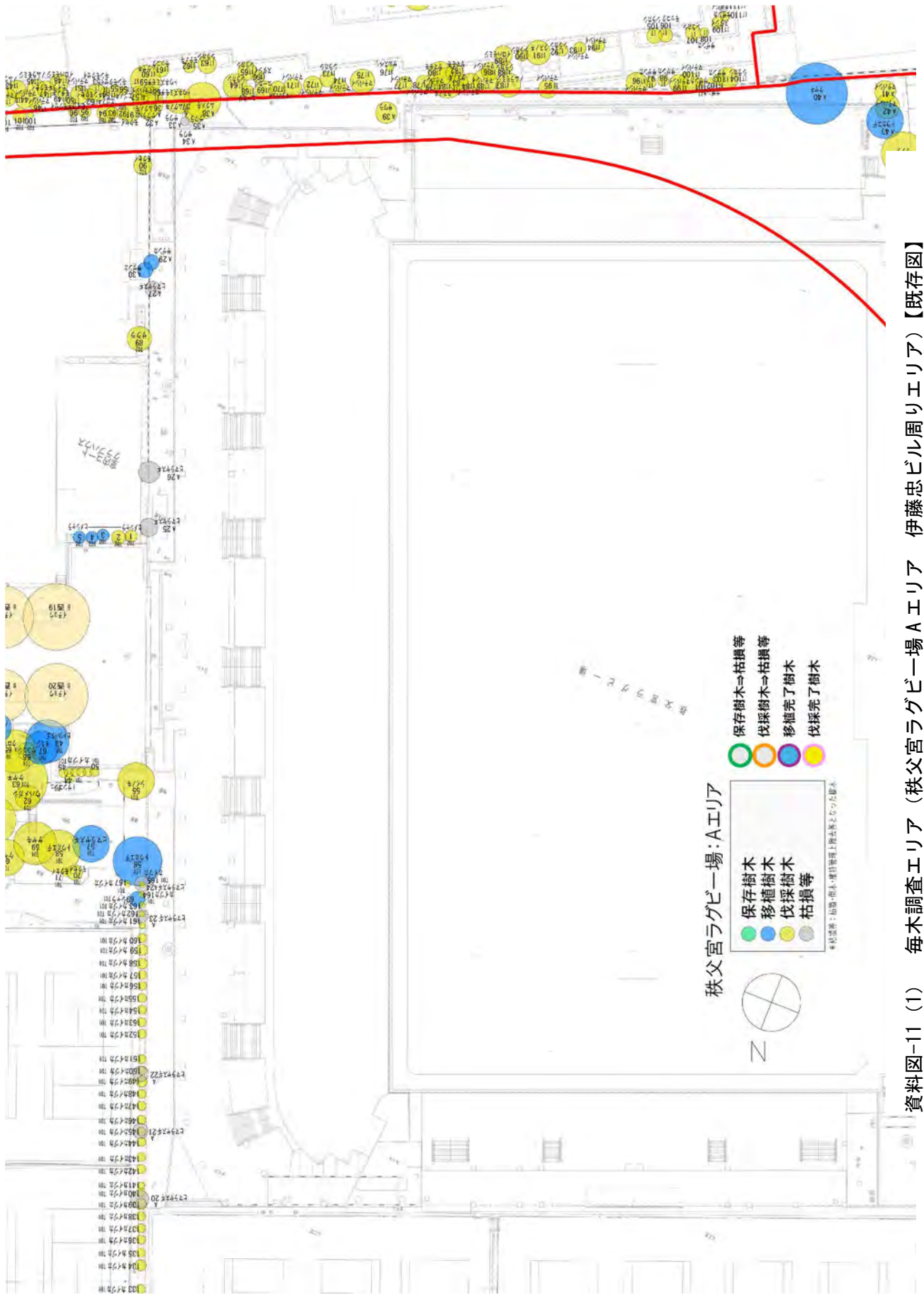
資料図-9 (2) 毎木調査エリア (テニスコート内コート・御台場西エリア) 銀杏並木Bエリア 伊藤忠ビル周りエリア)【現況図】



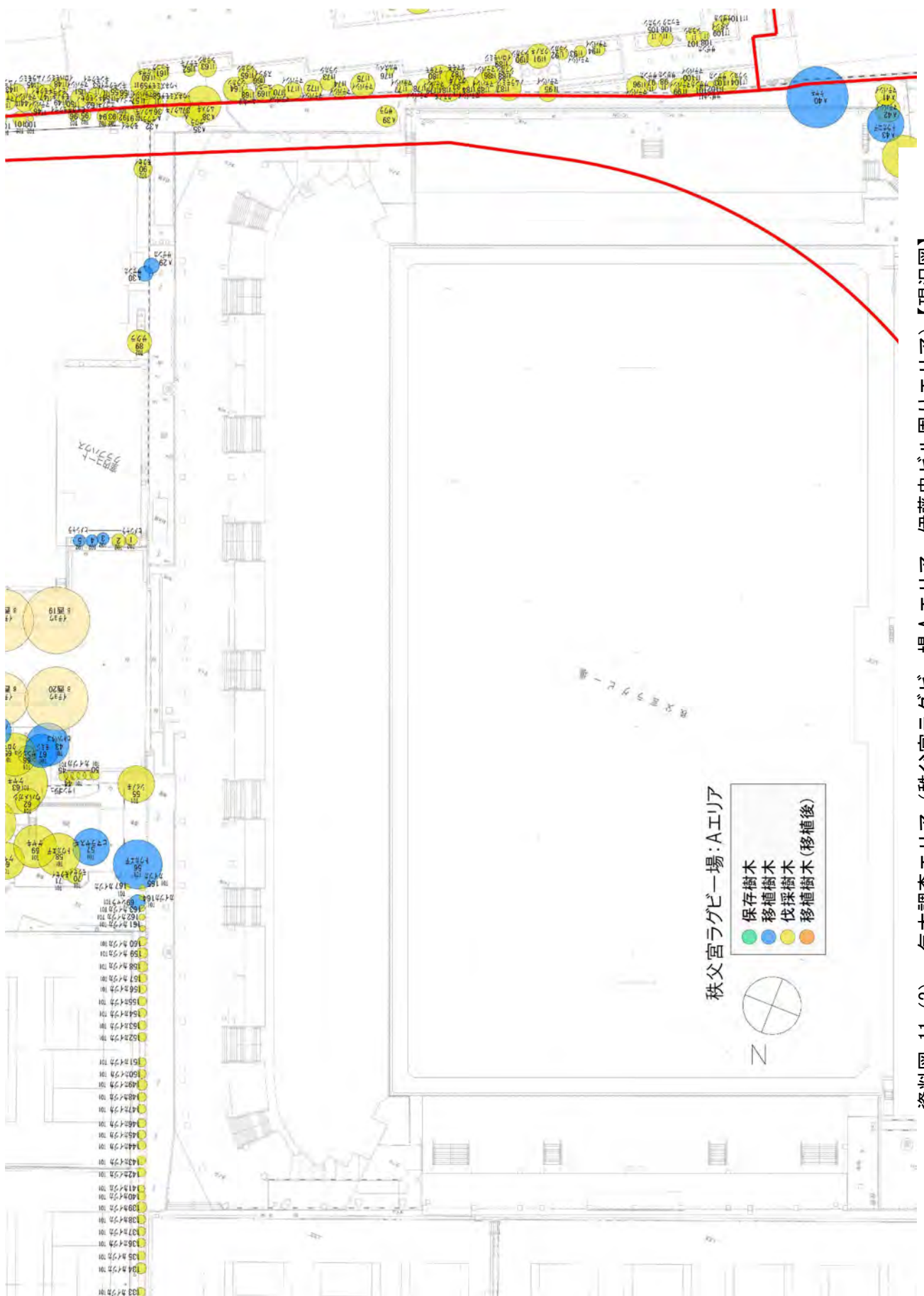
資料図-10 (1) 毎木調査エリア (秩父宮ラグビー場 A エリア) 【既存図】



資料図-10 (2) 毎木調査エリア (秩父宮ラグビー場 A エリア) 【現況図】



資料図-11 (1) 毎木調査エリア (秩父宮ラグビー場 A エリア 伊藤忠ビル周りエリア) 【既存図】



資料図-11 (2) 毎木調査エリア (秩父宮ラグビー場Aエリア 伊藤忠ビル周りエリア) 【現況図】

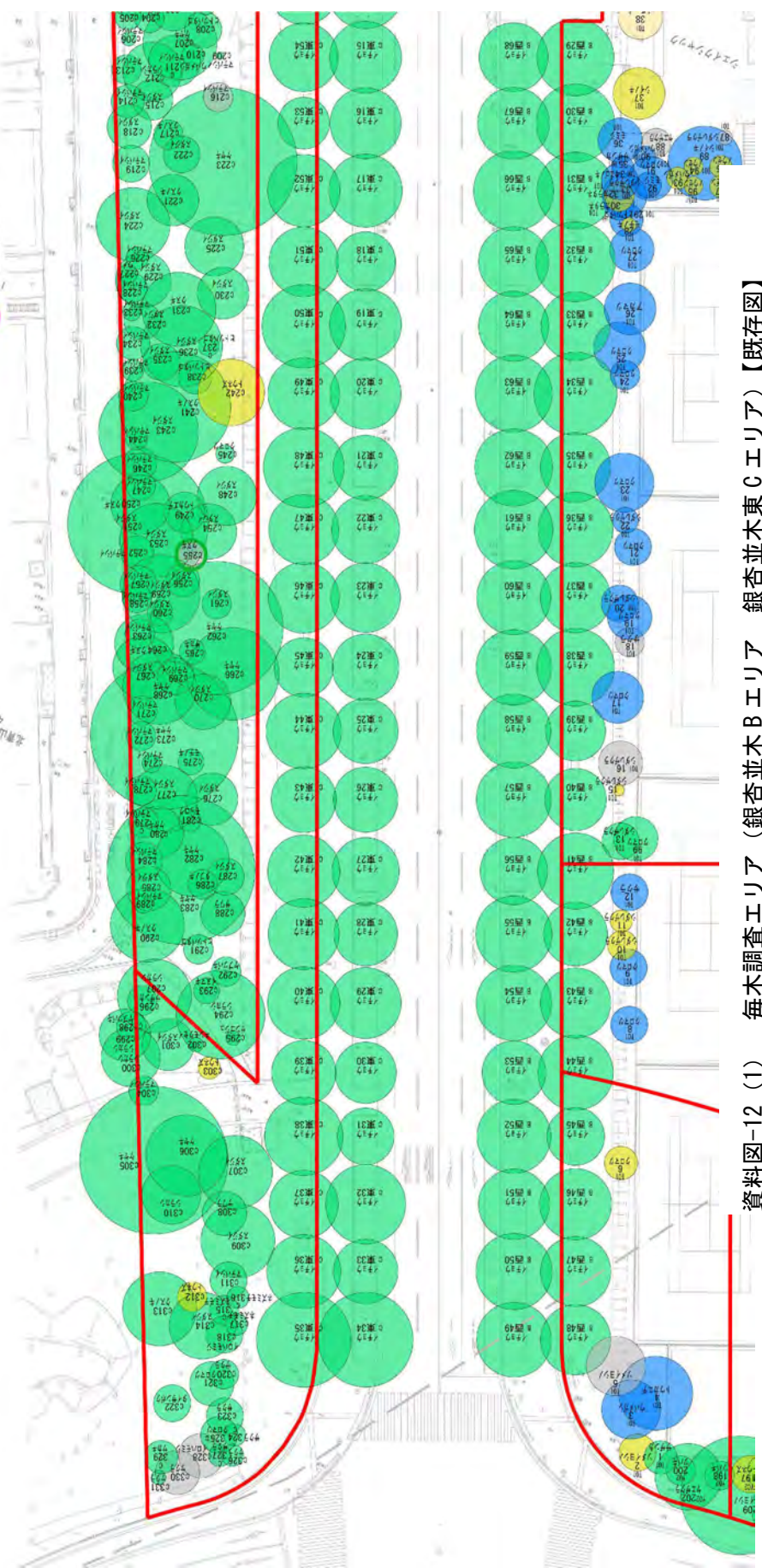
銀杏並木:Bエリア
銀杏並木東:Cエリア

●	保存樹木
●	移植樹木
●	伐採樹木
●	枯損等



※枯損等：足型、部小、経年管理上置去等となった樹木

○	保存樹木⇒枯損等
○	伐採樹木⇒枯損等
○	移植完了樹木
○	伐採完了樹木



資料図-12 (1) 毎木調査エリア (銀杏並木Bエリア 銀杏並木東Cエリア) 【既存図】



資料図-12 (2) 毎木調査エリア (銀杏並木Bエリア 銀杏並木東Cエリア) 【現況図】

銀杏並木:Bエリア
銀杏並木東:Cエリア

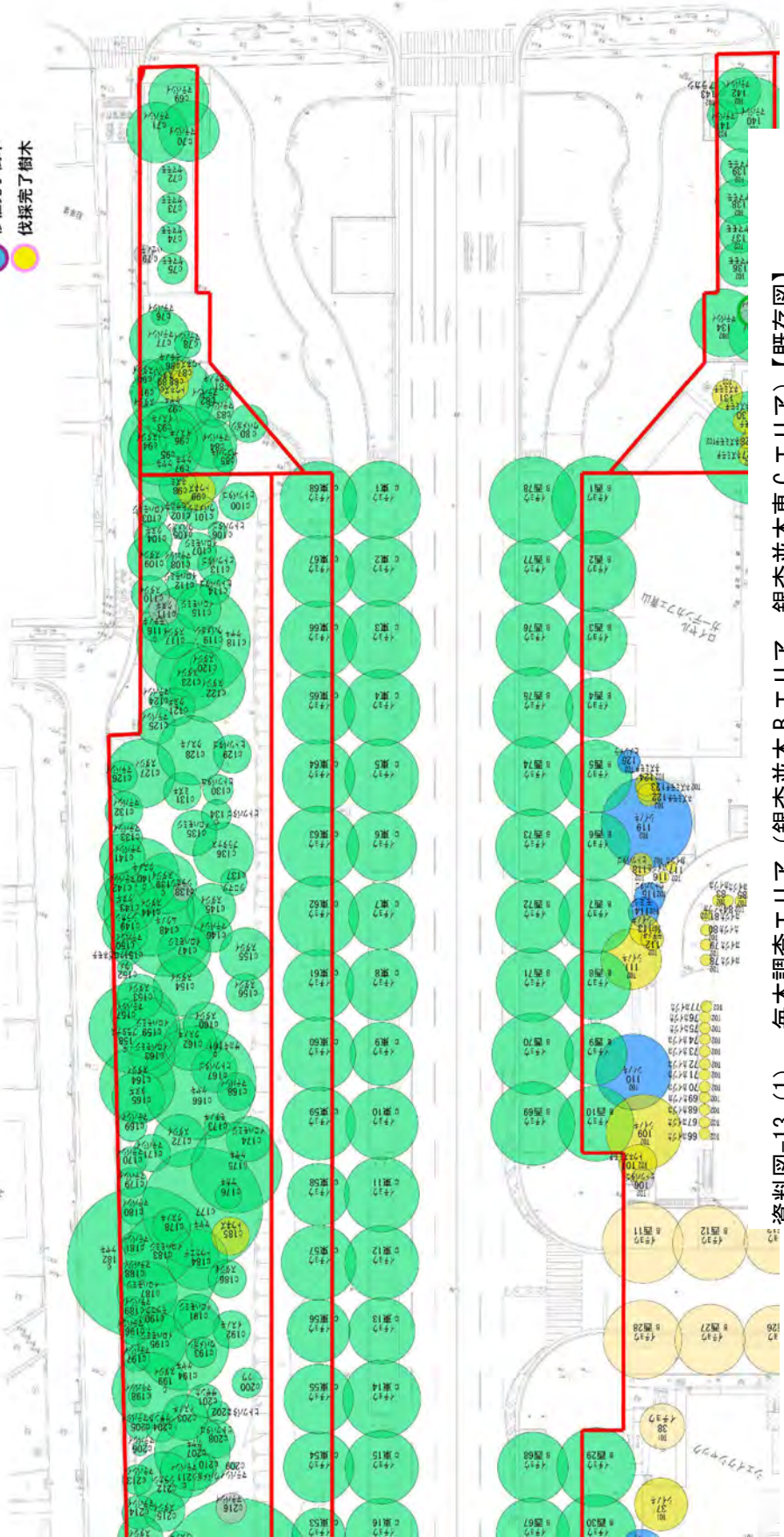


※枯損等：枯損・倒木・埋没管理 工事法等とった樹木



新山一丁目7-1-1

新山一丁目7-1-1



資料図-13 (1) 毎木調査エリア (銀杏並木Bエリア 銀杏並木東Cエリア) 【既存図】

銀杏並木:Bエリア
 銀杏並木東:Cエリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 移植検討樹木
- 移植樹木 (移植後)



資料図-13 (2) 毎木調査エリア (銀杏並木 B エリア 銀杏並木東 C エリア) 【現況図】



資料図-14 (1) 毎木調査エリア (秩父宮ラグビー場Aエリア 伊藤忠ビル周りエリア)【既存図】



資料図-14 (2) 毎木調査エリア (秩父宮ラグビー場Aエリア 伊藤忠ビル周りエリア) 【現況図】

樹木調査診断

活力度：樹勢・樹形等

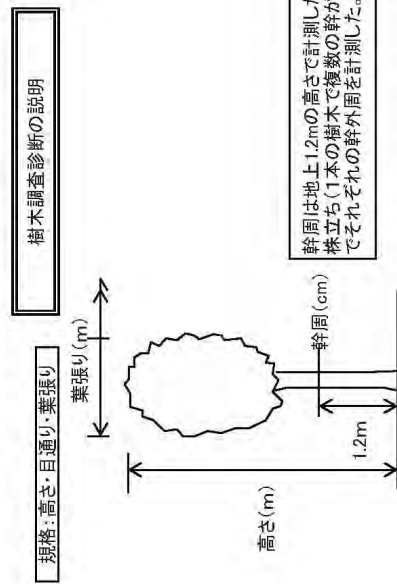
活力度測定項目		1	2	3	4
樹勢	旺盛な生育状態を示し、被害が全く見られない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状態が極めて劣悪である	ほとんど枯死
樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが自然樹形に近い	自然樹形がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
枝伸長量	正常	幾分少ないが、それほど目立たない	枝は短小となり細い	枝は極度に短小、しよが状の節間がある	
大枝・幹の欠損・傷	なし	少しあるがあまり目立たない	かなり目立つ	著しく目立つ、傷からの腐朽も著しい	
梢端の枯損	なし	少しあるがあまり目立たない	かなり多い	著しく多い	
枝葉の密度	正常、枝及び葉の密度バランスがとれている	普通、1に比べてやや劣る	やや疎	枯れ枝が多く、葉の発生が少ない。密度が疎く疎	
葉形	正常	少し歪みがある	変形が中程度	変形が著しい	
葉の大きさ	正常	幾分小さい	中程度の小さい	著しく小さい	
葉色	正常	やや異常	かなり異常	著しく異常	
ネクロシス	なし	わずかにある	かなり多い	著しく多い	
緑量	正常	幾分小さい	中程度の小さい	著しく小さい	
褐変	なし	少し	かなり多い	全面	
落葉	なし	少し	かなり多い	完全落葉	

イ
チ
ヨ
ウ
並
木
追
加
診
断
項
目

- 調査方法
 - 外観による樹勢・樹形の評価調査と問題となる欠損・腐朽の有無、程度、木髓による幹空洞部分診断、等を外観調査から行った。
 - 傾斜判断には枝の伸長、大枝・幹の欠損、樹皮の代謝、胴吹き・ヒコバエ等を加味して判定した。
 - 枝・大枝・幹の枯損・腐朽は影響がある場合は備考に記載した(キノコも含める)。
 - 活力度に関する評価項目は別紙記載の項目を行った。
- 調査結果

調査結果を保存の適否と移植の可否、問題点と外観の特徴を記載した。

結果を下記の基準により、結果一覧にまとめた。



活力度調査
樹勢・樹形・枝伸長量、大枝・幹の欠損・傷、梢端の枯損、枝葉の密度、葉形、葉の大きさ、葉色、ネクロシス各項目を1~4で評価(梢端の枯損に幹・大枝枯損も含める)

保存
活力度を主にしながら、樹種特性及び樹形等を総合的に加味した。

移植
移植の可・難・不可について評価する。保存の必要性の高・中に限った。保存低については移植は不可判定とした。

参考項目
根元構造物の有無は移植評価の参考、片枝樹形(相互被圧含む)項目は樹勢、樹形の参考として記載

備考
外観からの特徴や特筆すべき点を記載した。

ネクロシスは隠死のことであるが、病害虫、汚染等による被害も加えた精算とした。
(実際のネクロシスはほとんど無いため、病害虫による被害等による被害を加えた判断とした。)

活力度の評価は落葉樹の葉の調査後、全ての項目の平均評価を算出記載した。

評価	A	B	C	D
評価	1.00~1.75	1.76~2.50	2.51~3.25	3.26~4.00
状態	両項、正常なもの	普通、正常に近い	悪化のかなり進んだもの	顕著に悪化の進んでいるもの

保存の必要性	高・中・低	活力度を主にしながら、樹種特性及び樹形等を総合的に加味し判断する。
移植の評価	可	移植をする際に活着する可能性が高く樹勢、樹形の維持または回復が望める樹木
	難	樹高や目通りが大きく物理的に移植が難しい樹木、または健全に活着することが難しい樹木
	不可	難A<B<Cにて移植難易度の高さを判断・分類を行い、その内、難A・B評価の樹木を移植対象とする。樹木の活力度が低い樹木や、根鉢の適切な確保が難しいなど、移植を認めても健全に活着することが望めない樹木

注) 評価書時の診断方法に比べて赤四角で囲んだ診断項目(葉についての診断項目)を追加している。

評点： 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日： 2025年5月27日・28日

連番	樹木番号	規格				全体	先端部(頂部)以外の枝葉							先端部(頂部)							総合評価結果	備考								
		樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m)	方位		大枝幹の欠損・備	梢端の伸長・備	枝の密度	緑葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	梢端の伸長	枝の密度	緑葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	梢端の伸長	枝の密度	緑葉の大きさ			葉の大きさ	葉の大きさ	平均評点	評価結果	総合評点			
1	東1	28.5	237	10.0	10.1	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.34	A	1.27	イチョウ並木の最南端に位置。東1~34東京都市管理。樹冠全体の枝葉が充実し、葉色も濃く、樹勢・樹形良好。
2	東2	28.5	230	9.7	9.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.35	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
3	東3	29.5	276	11.2	10.7	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.53	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
4	東4	29.0	244	10.1	9.6	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.50	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
5	東5	29.0	249	9.6	9.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.58	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。 下記傷害は、処置と経過観察を要す。 大枝付け根の開口空洞(幹側側) H:1.3m 75×15×5/15(68)cm。 大枝付け根(大枝付け根) H:1.3m 20×10×15/50(230)cm。
6	東6	29.0	233	10.0	9.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.50	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
7	東7	28.5	201	9.2	9.4	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.56	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞(大枝付け根) H:2.0m 60×10×15/50(230)cm。
8	東8	28.0	228	10.2	9.7	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.50	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
9	東9	28.0	214	8.1	9.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.56	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞(大枝側側) H:1.7m 30×15×15/60(230)cm。 大枝付け根(歩道側) H:1.5m 60×10×3/15(63)cm。
10	東10	27.5	197	9.9	10.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.50	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
11	東11	28.5	312	10.7	10.3	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.53	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。下記傷害は、要経過観察。 大枝付け根 開口空洞 H:1.5m 50×30×15/40cm(未芯達)。
12	東12	27.5	212	9.8	9.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.50	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
13	東13	25.0	187	9.4	9.1	3.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.56	A	1.66	樹高がやや低く、幹の梢端が屈曲。 樹冠下部は枝葉充実。頂端部は葉量やや疎で、葉色薄い。 樹勢・樹形、概ね異常なし。
14	東14	28.0	226	11.2	10.3	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.58	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。下記傷害は、要経過観察。 大枝 開口空洞 H:2.0m 40×20×20/45cm(未芯達)。
15	東15	29.0	242	11.0	10.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.53	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。下記傷害は、要経過観察。 幹 樹皮欠損(大枝側側) H:1.9m 30×20cm。
16	東16	29.0	230	10.3	9.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.50	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし・良好・正常・被害なし)~4.0(問題あり)

評点： 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日： 2025年5月27日、28日

連番	樹木番号	規格				先端部 (頂部) 以外の枝葉										先端部 (頂部)				総合評価結果	備考									
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	葉張り (m) 東西 南北	大枝幹の欠損・備	梢端の枯損量	枝の伸長量	枝葉の密度	緑葉の量	葉色	葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	梢端の枯損量	枝の伸長量	枝葉の密度	緑葉の量	葉色			葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	平均評点	評価結果	総合評点	評価結果		
49	東49	実	31.5	259	9.4	10.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.45	A	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
50	東50	実	32.5	268	11.8	10.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.56	A	1.53	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
51	東51		31.0	235	9.1	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.56	A	1.53	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
52	東52	実	33.0	240	9.0	10.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.56	A	1.61	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。下記傷害は、処置と経過観察を要す。 大枝開口空洞(歩道側) H:1.6m 50×15×10/20cm(芯通)。	
53	東53	実	28.5	200	7.4	7.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.56	A	幹の梢端が北側に屈曲。 樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.7m 140×20×15/80(芯芯通)。	
54	東54	実	31.5	239	8.2	10.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.53	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。下記傷害は、要経過観察。 大枝付け根開口空洞(南側) H:1.6m 120×10×20/25cm(貫通)。 緑地内大枝開口空洞(貫通)は排腐被覆材の発達あり。	
55	東55	実	30.5	235	9.1	9.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.45	A	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。	
56	東56		31.5	238	9.1	9.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.45	A	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。	
57	東57		31.5	261	8.9	10.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	A	樹勢・樹形、概ね異常なし	
58	東58		32.5	242	7.5	9.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	A	樹勢・樹形、概ね異常なし	
59	東59		32.0	226	10.9	10.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
60	東60	実	33.5	235	10.3	10.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.56	A	1.53	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
61	東61	実	32.5	237	9.8	10.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
62	東62	実	34.0	248	10.5	11.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
63	東63	実	31.0	257	10.8	10.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.45	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
64	東64		30.5	240	9.3	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
65	東65	実	31.5	243	9.7	10.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.34	A	1.40	A	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。	

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし)・良好・正常・被害なし)~4.0(問題あり)

評点： 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日： 2025年5月27日、28日

連番	樹木番号	規格			全体	先端部 (頂部) 以外の枝葉										先端部 (頂部)					総合評価結果	備考										
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		東	西	南	北	大枝幹の欠損・備	梢端の伸長枯損量	枝の伸長量	枝葉の密度	緑葉の量	葉色	葉の大きさ	葉形	梢端の伸長枯損量	平均評点	評価結果			平均評点	評価結果	総合評点	評価結果						
80	西12	26.0	235	10.6	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.57	A	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.56	A	1.61	A	例年同内容 7月調査 黒緑 5月調査 青 10月調査 茶
81	西13	26.5	244	9.7	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.63	A	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.58	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。
82	西14	25.0	269	11.3	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.66	A	2023年、葉の凋落症状が顕現。 樹勢・樹形、概ね異常なし。 葉の黄変、梢変、枯下り症状なし。
83	西15	26.5	272	9.7	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.56	A	2023年、24年、葉の凋落症状が顕現。 樹勢・樹形、概ね異常なし。 葉の黄変、梢変、枯下り症状なし。
84	西16	26.0	251	10.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.56	A	1.66	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。
85	西17	25.5	273	8.7	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.75	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.61	A	不定根誘導処置 幹 南側 H:0~6.0m、W:30cm。 樹勢・樹形、概ね異常なし。
86	西18	26.5	259	9.6	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	2.0	1.44	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.43	A	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。
87	西19	25.5	253	9.2	1.0	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.25	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.34	A	1.27	A	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。	
88	西20	25.0	298	11.2	1.0	1.0	1.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.38	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.34	A	1.32	A	不定根誘導処置 幹 北側 H:0~5.0m、W:50cm。 樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。	
89	西21	24.5	250	9.2	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.88	B	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.56	A	1.74	A	不定根誘導処置 幹 北側 H:0~7.0m、W:45cm。 樹勢・樹形、概ね異常なし。	
90	西22	24.5	240	7.8	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.69	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
91	西23	25.0	269	10.8	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.32	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.34	A	1.29	A	樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。	
92	西24	25.0	230	8.9	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.72	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
93	西25	26.0	220	10.6	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.61	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
94	西26	26.0	213	9.1	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.61	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
95	西27	26.0	205	9.6	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.69	A	樹勢・樹形、概ね異常なし。	
96	西28	25.5	273	11.3	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.56	A	西11~28 港区管理。植栽樹齢1.6m(内径)。 樹冠全体の枝葉が充実し、樹勢・樹形良好。下記備考は、要経過観察。 幹 開口空洞H:1.8m 25×5×10/80cm(赤心蓮)、損傷被覆材発達。	

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし・良好)・正常・概善なし)~4.0(問題あり)

評点： 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日： 2025年5月27日・28日

連番	樹木番号	規格				全体	先端部(頂部)以外の枝葉										先端部(頂部)					総合評価結果	備考																						
		樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m)	方位		大枝幹の欠損・備	梢端の枯損量	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	梢端の枯損量	平均評点	評価結果	梢端の枯損量	平均評点	評価結果			総合評点	評価結果																				
128	西60	25.0	183	9.4	10.4	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.78	B	1.79	B	黒 緑	例年同内容 7月調査 青 5月調査 赤 10月調査	葉量やや疎。葉色やや薄い。樹勢・樹形、概ね異常なし。
129	西61	24.0	186	9.5	11.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.88	B	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.84	B	1.87	B	黒		葉量やや疎。葉色やや薄い。樹勢・樹形、概ね異常なし。
130	西62	24.5	182	10.9	9.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.78	B	1.79	B	黒		頂端部の葉量がやや疎。樹勢・樹形、概ね異常なし。
131	西63	28.0	202	9.8	10.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.72	A	黒		樹勢・樹形、概ね異常なし。
132	西64	29.5	225	10.1	9.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.72	A	黒		樹勢・樹形、概ね異常なし。下記傷害は、処置を要す。
133	西65	25.5	224	10.0	8.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.72	A	黒		樹勢・樹形、概ね異常なし。
134	西66	28.5	226	9.5	11.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A	黒		葉色がやや薄い。樹勢・樹形、概ね異常なし。
135	西67	27.0	187	10.4	9.4	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B	黒		葉量やや疎。樹勢・樹形、概ね異常なし。
136	西68	28.5	222	10.0	10.4	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.69	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.61	A	黒		樹冠全体の枝葉が充実し、葉も濃く、樹勢・樹形良好。
137	西69	29.0	248	9.4	11.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.63	A	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.67	A	1.69	A	黒		樹勢・樹形、概ね異常なし。
138	西70	28.5	214	10.7	10.4	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.69	A	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.67	A	1.72	A	黒		樹勢・樹形、概ね異常なし。
139	西71	29.0	190	10.3	9.7	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B	黒		頂端部の葉量がやや疎。樹勢・樹形に大きな異常なし。
140	西72	28.0	216	9.6	11.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A	黒		頂端部の葉量がやや疎。樹勢・樹形に大きな異常なし。
141	西73	27.5	209	9.5	10.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A	黒		頂端部の葉量がやや疎。樹勢・樹形、概ね異常なし。
142	西74	28.5	233	10.5	10.1	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.82	B	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.67	A	1.77	B	黒		葉量やや疎。樹勢・樹形、概ね異常なし。
143	西75	27.5	214	11.3	10.3	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.75	A	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A	黒		葉量やや疎。樹勢・樹形、概ね異常なし。
144	西76	27.0	249	11.3	10.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.57	A	1.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.64	A	黒		葉量やや疎。樹勢・樹形、概ね異常なし。

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし・良好)・2.0(問題なし・良好)・3.0(正常)・4.0(問題あり)

評点： 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日： 2025年7月24日～8月5日

連番	樹木番号	規格				先端部 (頂部) 以外の枝葉										先端部 (頂部)					総合 評価 結果	備 考							
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	方位	大枝幹 の穴損 -備	梢端 の穴損 -備	梢端 の伸長 枯損 量	枝の 伸長 量	枝葉 の 密度	緑葉 の 量	葉色 の 濃さ	葉の 大き さ	葉の 形	葉の 大き さ	葉の 形	葉の 大き さ	葉の 形	葉の 大き さ	葉の 形			葉の 大き さ	葉の 形	葉の 大き さ	平均評 点	評価 結果	総合 評点	
17	東17	29.0	217	9.1	10.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.62	A	1.66	梢先端部の葉色やや薄く、葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 樹皮欠損(大枝切除痕) H:1.2m 50×30(217)cm。
18	東18	28.0	195	9.2	8.3	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.50	A	1.56	樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝 樹皮欠損 H:4.0m 30×10(40)cm。	
19	東19	29.0	248	9.4	9.8	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.50	A	1.58	樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.9m 150×25×20(90)cm(未芯達)。 大枝 樹皮欠損 H:3.0m 30×8(45)cm。	
20	東20	28.0	196	9.5	9.8	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.62	A	1.64	樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝 樹皮欠損 H:2.0m 20×15×20(50)cm(未芯達)。 着種多数。周囲木と比べ、樹冠全体の葉色やや薄い。	
21	東21	26.0	184	9.3	9.2	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.62	A	1.64	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.4m 35×8×15(70)cm(未芯達)、損傷被覆材剥離。 大枝 樹皮欠損 H:3.0m 20×15×20(50)cm(未芯達)。	
22	東22	29.0	218	9.3	9.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.56	A	1.56	樹形・樹勢、概ね異常なし。	
23	東23	28.0	192	8.5	10.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.56	A	1.56	樹形・樹勢、概ね異常なし。	
24	東24	26.0	183	10.7	9.2	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.62	A	1.66	梢先端部の葉量やや薄く、樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.5m 35×20cm。 大枝 樹皮欠損(車道上部) H:4.0m 20×15(40)cm。 大枝開口空洞(歩道側) 60×10×22(22)cm(貫通)。ケーシング処理済。	
25	東25	27.5	211	8.4	9.2	1.5	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.67	A	1.72	樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.5m 35×20cm。 大枝 樹皮欠損(車道上部) H:4.0m 20×15(40)cm。 大枝開口空洞(歩道側) 60×10×22(22)cm(貫通)。ケーシング処理済。	
26	東26	28.0	207	10.9	8.2	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.62	A	1.66	樹冠中梢部の葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。	
27	東27	28.0	232	9.6	9.7	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.39	A	1.37	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。	
28	東28	27.5	204	10.1	9.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.56	A	1.56	樹形・樹勢、概ね異常なし。	
29	東29	28.0	277	10.7	10.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.56	A	1.58	樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝 樹皮欠損 H:3.8m 50×15(45)cm。	
30	東30	28.0	200	10.1	7.9	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.62	A	1.61	樹形・樹勢、概ね異常なし。	
31	東31	29.5	230	10.0	8.6	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.56	A	1.58	梢先端部の葉色やや薄く、葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.3m 50×15×15(85)cm(未芯達)、損傷被覆材剥離。	

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・被害なし～4.0(問題あり)

評点: 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチョウ並木評価調査結果一覧

調査日: 2025年7月24日~8月5日

連番	樹木番号	規格				全体	先端部(頂部)以外の枝葉						先端部(頂部)						総合評価結果	備考														
		樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m)	葉張り(m)		大枝幹の穴損・備	梢端の伸長・枯損	枝の伸長・密度	葉の緑量	葉色	葉の大きさ	葉の緑量	葉色	葉の大きさ	葉の緑量	葉色	葉の大きさ			梢端の伸長・枯損	枝の伸長・密度	葉の緑量	葉色	葉の大きさ	葉の緑量	葉色	葉の大きさ	梢端の伸長・枯損	枝の伸長・密度	葉の緑量	葉色	葉の大きさ	平均評価点
48	東48	28.5	286	11.3	11.3	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.0	2.0	2.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.34	A	1.43	黒 緑 例年同内容 7月調査 青 茶 5月調査 10月調査
49	東49	31.5	259	9.4	10.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.45		
50	東50	32.5	268	11.8	10.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.57	A	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.53	樹形・樹勢、概ね真帯なし。 下記傷害は、処置を要す。	
51	東51	31.0	235	9.1	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.57	A	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.53	樹形・樹勢、概ね真帯なし。	
52	東52	33.0	240	9.0	10.7	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.82	B	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.64	樹形・樹勢、概ね真帯なし。 下記傷害は、処置と経過観察を要す。 大枝開口空洞(歩道側) H:1.6m 50×15×10/20cm(芯通)。	
53	東53	28.5	200	7.4	7.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.75	A	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.66	幹の梢端が北面に屈曲。 樹形・樹勢、概ね真帯なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.7m 140×20×15/80(未芯通)。	
54	東54	31.5	239	8.2	10.6	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.75	A	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	1.61	樹形・樹勢、概ね真帯なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝付け根開口空洞(南側) H:1.6m 120×10×20/25cm(貫通)。 緑地内大枝開口空洞(貫通)は損傷被覆材の充満あり。	
55	東55	30.5	235	9.1	9.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	樹形・樹勢、概ね真帯なし。	
56	東56	31.5	238	9.1	9.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.45	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。	
57	東57	31.5	261	8.9	10.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	樹形・樹勢、概ね真帯なし。	
58	東58	32.5	242	7.5	9.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	樹形・樹勢、概ね真帯なし。	
59	東59	32.0	226	10.9	10.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	樹形・樹勢、概ね真帯なし。	
60	東60	33.5	235	10.3	10.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	樹形・樹勢、概ね真帯なし。	
61	東61	32.5	237	9.8	10.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	樹形・樹勢、概ね真帯なし。	
62	東62	34.0	248	10.5	11.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.48	樹形・樹勢、概ね真帯なし。	
63	東63	31.0	257	10.8	10.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.45	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。	

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・被害なし~4.0(問題あり)

評点： 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日： 2025年7月24日～8月5日

連番	樹木番号	規格			全体	先端部 (頂部) 以外の枝葉										先端部 (頂部)				総合評価結果	備考									
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		樹形	樹勢	大枝幹の欠損・備	梢端の伸長・枯損量	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉の大きさ	葉形	葉形	梢端	落葉			平均評点	評価結果	総合評点						
79	西11	26.5	294	11.2	11.5	1.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.63	A	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.73	A	1.69	黒 例年同内容 緑 7月調査 青 5月調査 赤 10月調査
80	西12	26.0	235	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.61	西11～28 港区管理。植栽幅1.6m(内径)。梢端多数、梢先端部の葉色やや薄く、葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。下記傷害は、要経過観察。幹 開口空洞 H:1.3m 80×10×13/60cm(未到達)。大枝 樹皮欠損(車道側) H:3.5m 100×20(60)cm。樹形・樹勢、概ね異常なし。
81	西13	26.5	244	9.7	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.39	A	1.50	樹形・樹勢、概ね異常なし。
82	西14	25.0	269	11.3	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.61	2023年、葉の凋落症状が顕現。梢先端部(高さ20m以上)の葉色やや薄く、葉量やや疎ら。他に葉色や葉量、樹形・樹勢、概ね異常なし。
83	西15	26.5	272	9.7	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.5	1.0	1.67	A	1.64	2023年、葉の凋落症状が顕現。梢先端部(高さ15m単側)の一部に凋落症状あり。他に葉色や葉量、樹形・樹勢、概ね異常なし。
84	西16	26.0	251	10.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.53	樹形・樹勢、概ね異常なし。
85	西17	25.5	273	8.7	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.34	A	1.53	不定根誘導処理 幹 南側 H:0~6.0m、W:30cm。樹形・樹勢、概ね異常なし。
86	西18	26.5	259	9.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.34	A	1.43	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。
87	西19	25.5	253	9.2	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.25	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.34	A	1.27	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。
88	西20	25.0	298	11.2	1.0	1.0	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.38	A	1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.23	A	1.27	不定根誘導処理 幹 北側 H:0~5.0m、W:50cm。樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。
89	西21	24.5	250	9.2	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.45	A	1.66	不定根誘導処理 幹 北側 H:0~7.0m、W:45cm。樹形・樹勢、概ね異常なし。
90	西22	24.5	240	7.8	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.69	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.0	1.67	A	1.72	梢端多数、梢先端部の葉色やや薄く、葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。
91	西23	25.0	269	10.8	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.32	A	1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.23	A	1.24	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。
92	西24	25.0	230	8.9	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.56	A	1.69	梢先端部の葉色やや薄く、葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。
93	西25	26.0	220	10.6	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.45	A	1.58	樹形・樹勢、概ね異常なし。
94	西26	26.0	213	9.1	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.45	A	1.58	樹形・樹勢、概ね異常なし。

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・被害なし)~4.0(問題あり)

評点: 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日: 2025年10月23日~10月29日

連番	樹木番号	規格				先端部 (頂部)										備考																
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	方位	全体	大枝幹の欠損・備	梢端の伸長・枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑葉の量	葉色	葉の大きさ	葉形	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果													
17	東17	29.5	217	8.4	9.9	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.5	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.77	B	黒 緑	例年同内容 7月調査 青 5月調査 赤 10月調査
18	東18	28.5	196	9.5	8.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.66	A		梢先端部の葉量やや減少。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 樹皮欠損(大枝切除痕) H:1.2m 50×30(217)cm。 大枝 樹皮欠損 H:4.0m 30×10(40)cm。 樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.9m 150×25×20(90cm)(未芯達)。 大枝 樹皮欠損 H:3.0m 30×8(45)cm。 着種多数。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.9m 150×25×20(90cm)(未芯達)。 大枝 樹皮欠損 H:3.0m 30×8(45)cm。 着種多数。着種枝の葉が黄葉。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝付け根 開口空洞 H:2.0m 20×15×20(50cm)(未芯達)。 樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.4m 35×8×15(70cm)(未芯達)、損傷被覆材剥離。 樹形・樹勢、概ね異常なし。 樹形・樹勢、概ね異常なし。 樹形・樹勢、概ね異常なし。 樹冠先端部の葉量やや減少。着種多数。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.5m 35×20cm。 大枝 樹皮欠損(車道上部) H:4.0m 20×15(40)cm。 大枝開口空洞(歩道側) 60×10×22(22cm)(貫通)。ケージリング処理済。 樹冠中梢部の葉量やや減少。着種枝の葉が黄葉。着種多数。 樹形・樹勢、概ね異常なし。 樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢、概ね良好。 樹形・樹勢、概ね異常なし。 樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝 樹皮欠損 H:3.8m 50×15(45)cm。 樹冠先端部の枝伸長が短く、葉量やや減少。着種多数。樹形・樹勢、概ね異常なし。 樹冠先端部の葉色やや薄く、枝伸長がやや減少。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.3m 50×15×15(85cm)(未芯達)、損傷被覆材剥離。 樹形・樹勢、概ね異常なし。
19	東19	29.5	248	9.1	10.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.69	A	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.62	A	1.64	A			
20	東20	27.5	196	9.2	11.1	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	1.5	2.0	2.0	3.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.74	A			
21	東21	26.5	185	8.9	9.6	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.74	A				
22	東22	29.0	218	9.6	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.66	A				
23	東23	28.0	192	8.7	10.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.66	A				
24	東24	26.5	183	10.3	10.0	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.5	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.5	2.0	3.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.82	B			
25	東25	27.5	210	9.0	10.0	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.0	2.5	2.0	3.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B			
26	東26	28.0	207	10.4	9.4	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.5	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.79	B				
27	東27	28.5	233	9.7	10.2	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.44	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.56	A	1.48	A			
28	東28	28.0	204	10.0	9.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.57	A	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A				
29	東29	28.0	276	10.3	10.6	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.64	A				
30	東30	28.5	200	9.8	8.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.77	B				
31	東31	29.5	229	9.3	9.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	1.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.72	A				

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・被害なし~4.0(問題あり)

評点： 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日： 2025年10月23日～10月29日

連番	樹木番号	規格				全体	先端部 (頂部)										備考																		
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	方位		大枝幹の欠損・備	梢端の伸長・枯損	枝の伸長・密度	葉の緑量	葉色	葉の大きさ	葉の緑量	葉色	葉の大きさ	葉の緑量		葉色	葉の大きさ	梢端の伸長・枯損	平均評点	評価結果	平均評点	評価結果	総合評点	総合結果									
48	東48	28.5	285	12.1	11.9	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.5	2.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.39	A	1.45	A	黒 緑	例年同内容 7月調査 茶 10月調査 青 5月調査	樹形・樹勢、概ね良好。 下記傷害は、処置を要す。
49	東49	31.5	260	9.6	9.9	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.45	A	1.48	A		着種多数、樹形・樹勢、概ね良好。	
50	東50	32.5	269	12.7	10.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.5	1.0	1.0	1.56	A	1.53	A					樹形・樹勢、概ね異常なし。				
51	東51	31.5	236	9.7	9.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.57	A	2.0	2.0	2.0	2.5	1.0	1.0	1.62	A	1.58	A					樹冠下部の高と西側高さ8mに葉縁からの相変葉が僅かに散在。				
52	東52	33.0	240	9.4	11.5	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	1.5	2.5	1.0	1.56	A	1.64	A					樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、処置と経過観察を要す。 大枝開口空洞(歩道側) H:1.6m 50×15×10/20cm(芯通)。			
53	東53	29.0	200	8.1	7.6	2.5	1.5	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.5	1.0	1.0	1.62	A	1.72	A					幹の先端部が北側に屈曲、樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.7m 140×20×15/80(芯芯通)。				
54	東54	31.5	240	8.3	11.1	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.69	A	1.5	2.0	2.0	1.5	2.5	1.0	1.56	A	1.61	A					樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝付け根開口空洞(南側) H:1.6m 120×10×20/25cm(貫通)。 緑地内大枝開口空洞(貫通)は挿条被覆材の茶通あり。				
55	東55	31.0	235	9.8	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.5	1.0	1.50	A	1.50	A					樹形・樹勢、概ね異常なし。				
56	東56	31.5	239	9.4	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.0	1.45	A	1.48	A					樹形・樹勢、概ね良好。				
57	東57	32.0	261	9.5	10.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.5	1.0	1.50	A	1.50	A					樹形・樹勢、概ね異常なし。				
58	東58	32.5	242	8.2	9.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.5	1.0	1.50	A	1.50	A					樹形・樹勢、概ね異常なし。				
59	東59	32.5	227	10.9	10.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.5	1.0	1.50	A	1.50	A					樹形・樹勢、概ね異常なし。				
60	東60	33.5	235	11.0	11.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.5	1.0	1.50	A	1.50	A					着種多数、樹形・樹勢、概ね異常なし。				
61	東61	32.5	238	10.3	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.5	1.0	1.50	A	1.50	A					樹形・樹勢、概ね良好。				
62	東62	34.5	249	11.0	10.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	1.5	1.5	2.5	1.0	1.50	A	1.50	A					樹形・樹勢、概ね良好。				
63	東63	31.0	258	11.1	10.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.0	1.45	A	1.48	A					樹形・樹勢、概ね良好。				

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・概善なし)~4.0(問題あり)

評点: 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチヨウ並木評価調査結果一覧

調査日: 2025年10月23日~10月29日

連番	樹木番号	規格			全体	先端部 (頂部) 以外の枝葉										先端部 (頂部)				総合評価結果	備考											
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		大枝幹の欠損・備	梢端の伸長・枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	平均評点	評価結果	梢端の伸長・枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色			葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	梢端の伸長・枯損	平均評点	評価結果	総合評価結果				
78	西10	31.5	228	10.3	10.7	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.5	1.0	1.57	A	1.5	2.0	2.0	2.0	1.62	A	1.61	A	外年同内容 7月調査 茶 5月調査 青 10月調査 茶 スツギと相互被圧あり。 樹形・樹勢、概ね異常なし。
79	西11	26.5	294	11.8	11.4	1.5	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.5	2.5	3.0	2.5	1.0	1.89	B	1.5	2.0	2.5	1.89	B	1.82	B	西11~28 港区管理。植栽幹幅1.6m(内径)。 樹冠先端部(高さ20m以上)が黄葉し、葉量やや減少。着種多数。 樹形・樹勢、概ね異常なし。下記標置は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:1.3m 80×10×13/60cm(未塗達)。 大枝 樹皮欠損(車道側) H:3.5m 100×20(60)cm。
80	西12	26.5	236	10.8	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	2.0	2.0	2.0	3.0	2.5	1.0	1.78	B	1.5	2.0	2.0	1.78	B	1.74	A	樹冠先端部(高さ20m以上)が黄葉。 樹形・樹勢、概ね異常なし。
81	西13	27.0	245	9.1	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.5	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.50	A	1.61	A	樹形・樹勢、概ね異常なし。
82	西14	25.5	269	10.8	10.8	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.0	1.73	A	1.5	2.0	2.0	1.73	A	1.72	A	2023年、葉の稀薄症状が顕現。 樹冠先端部(高さ20m以上)が黄葉し、葉量やや減少。着種多数。 他に葉色や葉量、樹形・樹勢、概ね異常なし。
83	西15	26.5	273	9.6	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.5	1.0	1.67	A	1.5	1.5	1.5	1.67	A	1.69	A	2023年、葉の稀薄症状が顕現。 葉色や葉量、樹形・樹勢、概ね異常なし。
84	西16	26.0	252	11.2	10.4	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.63	A	1.5	1.5	1.5	2.0	2.5	2.5	1.0	1.56	A	1.5	1.5	1.5	1.56	A	1.64	A	樹形・樹勢、概ね異常なし。
85	西17	26.0	273	8.5	10.3	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.75	A	1.5	1.5	1.5	1.0	2.0	2.5	1.0	1.45	A	1.5	1.5	1.5	1.45	A	1.64	A	不定根誘導処置 幹 南側 H:0~6.0m、W:30cm。 樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢、概ね異常なし。着種多数。
86	西18	27.0	259	9.3	10.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.0	2.0	2.5	1.0	1.45	A	1.5	1.5	1.5	1.45	A	1.53	A	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢、概ね良好。
87	西19	25.5	254	11.4	11.4	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	2.5	2.0	1.0	1.44	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.5	1.0	1.56	A	1.5	1.5	1.5	1.56	A	1.45	A	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢、概ね良好。
88	西20	25.0	298	11.4	11.2	1.0	1.0	2.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.44	A	1.5	1.0	1.5	1.0	2.0	2.5	1.0	1.39	A	1.5	1.0	1.5	1.39	A	1.37	A	不定根誘導処置 幹 北側 H:0~5.0m、W:50cm。 樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。
89	西21	25.0	250	9.7	8.7	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.88	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.5	1.0	1.50	A	1.5	1.5	1.5	1.50	A	1.72	A	不定根誘導処置 幹 北側 H:0~7.0m、W:45cm。 樹形・樹勢、概ね異常なし。
90	西22	25.0	240	8.7	10.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.0	2.0	2.0	3.0	2.5	1.0	1.78	B	1.5	2.0	2.0	1.78	B	1.82	B	樹冠全体の葉色薄く、樹冠先端部(高さ20m以上)は黄葉し、葉量やや減少。着種多数。 樹形・樹勢、概ね異常なし。
91	西23	25.0	269	11.8	11.3	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.38	A	1.5	1.0	1.5	1.0	1.5	2.5	1.0	1.34	A	1.5	1.0	1.5	1.34	A	1.32	A	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢良好。
92	西24	25.5	230	8.8	8.9	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.0	1.5	2.0	2.5	2.5	1.0	1.67	A	1.5	2.0	1.5	1.67	A	1.77	B	樹冠先端部の葉色やや薄く、葉量やや減少。 樹形・樹勢、概ね異常なし。
93	西25	26.0	219	10.8	8.8	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.69	A	1.5	1.5	1.5	2.0	2.5	2.5	1.0	1.56	A	1.5	1.5	1.5	1.56	A	1.66	A	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢、概ね異常なし。

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・被害なし~4.0(問題あり)

調査日：2025年10月23日～10月29日

イチョウ並木評価調査結果一覧

1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

連番	樹木番号	規格				全体	先端部 (頂部) 以外の枝葉										先端部 (頂部)										総合評価結果	備考							
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	方位		大枝幹の穴損・備	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑色の葉量	葉の大きさ	葉の大きさ	葉の緑色	葉の大きさ	葉の緑色	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑色の葉量	葉の大きさ	葉の緑色	葉の大きさ	葉の緑色	梢端の枯損	平均評価点			評価結果	総合評価点					
94	西26	26.0	214	9.8	10.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.66	A	1.66	A	1.66	樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢・樹冠異常なし。
95	西27	26.5	204	9.5	10.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.79	B	1.79	A	1.79	樹形・樹勢・樹冠異常なし。着葉多量。
96	西28	26.0	272	11.8	10.1	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.69	A	1.69	A	1.69	西11～28 港区管理。植栽帯幅1.6m(内径)。樹冠全体の枝葉充実。樹形・樹勢・樹冠異常なし。着葉多量。下記傷害は、要経過観察。幹 開口空洞H:1.8m 25×5×10/80cm(未芯漣)、損傷被覆材発達。
97	西29	31.5	270	11.1	11.4	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.93	C	2.93	D	2.93	2023年、24年、葉の稠密、落葉症状が顕現。要経過観察。樹冠先端部約6m(高さ31.5～25m)は、着葉なし。(全葉落葉)樹冠中間部(高さ25～10m)は、葉が小さく、葉面味ら。樹冠下部(高さ約10mまで)は、葉量が保たれている。着葉部は黄葉しつつある。稠密症状なし。
98	西30	30.5	266	10.8	11.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.64	A	1.64	A	1.64	樹形・樹勢・樹冠異常なし。
99	西31	29.0	264	10.5	11.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.69	A	1.69	A	1.69	樹形・樹勢・樹冠異常なし。下記傷害は、要経過観察。大枝付根 樹皮欠損30×30cm
100	西32	30.5	251	11.5	11.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.61	A	1.61	A	1.61	樹形・樹勢・樹冠異常なし。
101	西33	30.5	234	10.0	9.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.61	A	1.61	A	1.61	2023年、24年、葉の稠密、落葉症状が顕現。要経過観察。一部の稠密葉は落葉し、稠密症状や葉量異常なし。樹形・樹勢・樹冠異常なし。
102	西34	27.0	229	12.9	11.9	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.93	C	2.93	C	2.93	2023年、24年、葉の稠密、落葉症状が顕現。要経過観察。樹冠先端部(高さ27～20m)は、ほぼ全葉が落葉、22mに一部僅かに着葉あり。樹冠中間部(高さ20m)以下の西側に稠密症状多く、樹冠下部の南と西側の葉量減少。2024年10月期調査時に比べ、全落葉であった先端部の葉が僅かに残り、全体の早期落葉が減少。
103	西35	27.5	213	9.9	10.6	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.66	A	1.66	A	1.66	樹冠先端部の葉量やや減少。樹形・樹勢・樹冠異常なし。
104	西36	27.5	287	10.1	11.8	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.74	C	2.74	C	2.74	2023年、24年、葉の稠密、落葉症状が顕現。要経過観察。樹冠先端部(高さ27.5～19m)は、殆どの葉が落葉し、小さく黄変した葉が僅かに残る。樹冠中間部(高さ19m)以下の西側に稠密症状が多く、高さ14～10m西側の枝葉減少。2024年10月期調査時に比べ、全落葉であった先端部の葉が僅かに残り、全体の早期落葉が減少。
105	西37	27.0	248	10.0	10.9	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.58	A	1.58	A	1.58	2023年、葉の黄変症状が顕現。要経過観察。葉色や葉量、樹形・樹勢・樹冠異常なし。

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・被害なし)～4.0(問題あり)

調査日：2025年10月23日～10月29日

イチョウ並木評価調査結果一覧

1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

連番	樹木番号	規格				全体	先端部(頂部)以外の枝葉										先端部(頂部)					総合評価結果	備考									
		樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m)	方位		大枝幹の欠損・備	梢端の伸長・枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	梢端の伸長量	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色			葉の大きさ	葉の大きさ	葉の大きさ	平均評価点	評価結果	総合評価点	総合評価結果		
106	西38	26.5	243	10.0	11.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.57	A	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.58	A	樹形・樹勢、概ね異常なし。
107	西39	27.0	211	9.5	9.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.57	A	1.5	2.0	2.0	2.5	1.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A	樹形・樹勢、概ね異常なし。	
108	西40	27.0	216	9.6	9.3	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.63	C	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	2.62	C	2.64	C	2023年、24年、葉の褐変、落葉状況が顕現。要経過観察。 梢端先端部～中間部、秋の黄葉が始まっている。葉量に大きな異常なし。 樹冠全体の梢側に疎らに褐変症状あり。樹冠下部南西側(高さ9mまでは)、 褐変症状多い。 樹冠中間部(高さ19m周囲)南側は枝葉がやや疎ら。 2024年10月調査時に比べ、部分落葉や褐変症状は続いているが、全体の 早期落葉は大きく減少。		
109	西41	29.5	264	11.0	11.3	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.44	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.45	A	2023年、葉の褐変症状が顕現。要経過観察。 葉色濃く、葉量異常なし。樹形・樹勢、概ね異常なし。		
110	西42	27.0	251	10.2	10.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.50	A	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.62	A	1.56	A	樹形・樹勢、概ね異常なし。			
111	西43	29.0	262	10.7	11.3	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.63	C	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	2.62	C	2.64	C	2023年、24年、葉の褐変、落葉状況が顕現。要経過観察。 樹冠全体の葉量に大きな異常なし。 樹冠南側のほぼ全体(高さ24m以下)に褐変症状あり。樹冠下部南西側の 葉量がやや疎ら。 2024年10月調査時に比べ、部分落葉や褐変症状は続いているが、全体の 早期落葉は減少。		
112	西44	28.5	311	10.7	11.6	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.44	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.45	A	樹冠下部南側(高さ10m)の1枝(一部)に褐変症状あり。 樹冠全体の枝葉充実。樹勢・樹形良好。			
113	西45	28.0	245	8.9	8.7	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.44	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.45	A	樹冠全体の葉色濃く、枝葉充実。樹形・樹勢良好。			
114	西46	28.0	254	11.1	10.3	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.44	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.45	A	樹冠全体の葉色濃く、枝葉充実。樹形・樹勢良好。			
115	西47	27.0	267	10.1	10.6	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.44	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.45	A	幹の先端部が屈曲。 樹冠全体の枝葉充実。樹勢・樹形、概ね良好。			
116	西48	26.5	245	9.6	10.9	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.38	A	1.5	1.5	1.0	1.5	2.0	2.5	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.37	A	イチョウ並木の最北端に位置。西1～10・29～48明治神宮管理。 樹冠全体の葉色濃く、枝葉充実。樹形・樹勢良好。			
117	西49	25.5	257	10.6	11.3	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.38	A	1.5	1.5	1.0	1.5	2.0	2.5	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.37	A	イチョウ並木の最北端に位置。西49～78東京部管理。 樹冠全体の葉色濃く、枝葉充実。樹形・樹勢良好。 下記備考は、要経過観察。 幹開口空洞H:0.9m 40×33/60cm(芯達)、損傷被覆材剥離。			
118	西50	27.5	252	9.7	12.1	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.38	A	1.5	1.5	1.0	1.5	2.0	2.5	1.0	1.0	1.0	1.45	A	1.37	A	樹冠全体の葉色濃く、枝葉充実。樹形・樹勢良好。			
119	西51	25.5	183	10.0	10.8	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	樹冠先端部の葉色やや疎く、枝葉やや疎ら。着葉多数。 樹形・樹勢、概ね異常なし。			
120	西52	28.0	199	10.4	11.2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.88	B	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記備考は、要経過観察。 幹開口空洞(大枝剪定痕) H:1.6m 15×13×10/60cm(未芯達)。			

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・概ねなし)～4.0(問題あり)

評点： 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

イチョウ並木評価調査結果一覧

調査日： 2025年10月23日～10月29日

連番	樹木番号	規格				全体		先端部 (頂部) 以外の枝葉										先端部 (頂部)					総合評価結果	備考							
		樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)	方位	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・備	梢端の欠損・備	梢端の枯損量	枝の伸長量	枝葉の密度	枝葉の緑量	葉色	葉の大きさ	平均評点	評価結果	梢端の枯損量	枝の伸長量	枝葉の密度	枝葉の緑量	葉色			葉の大きさ	葉の緑量	葉色	葉の大きさ	葉の緑量	葉色	葉の大きさ
121	西53	26.5	194	8.2	東西	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	1.0	1.94	B	1.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.98	周囲のイチョウに比べ、秋の黄葉が早い。 樹冠全体の葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.9m 80×17×10/50cm、損傷被覆材発達。
122	西54	27.5	190	9.2	東西	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.84	B	1.85	樹冠全体、特に先端部の葉色やや薄く、葉量やや疎ら。 樹形・樹勢、概ね異常なし。		
123	西55	28.5	207	10.8	東西	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.0	1.89	B	1.87	樹冠全体、特に先端部の葉色やや薄く、葉量やや疎ら。 車道側高24mに枯枝(小)φ2cm、2箇所あり。樹形・樹勢、概ね異常なし。		
124	西56	20.0	186	9.3	東西	2.5	2.5	2.0	1.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.5	2.38	B	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	1.5	1.0	2.23	B	2.32	樹冠全体の葉色薄く、やや疎ら。幹の先端部曲部は黄葉し、着目多数。 樹冠先端部の枝葉が少なく、樹勢はやや衰退傾向。 車道側高24mに枯枝(小)φ2cm、2箇所あり。 幹先端部の屈曲が大きいため、今後、先端部切除の検討を要する。 下記傷害は、要経過観察。 大枝(車道側) 開口空洞 H:1.8m 120×17×3/15cm(未発達)。		
125	西57	28.5	252	10.3	東西	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.88	B	1.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.89	B	1.90	樹冠先端部の葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 大枝付け根 樹皮欠損(車道側) H:1.5m 30×20cm(80)。		
126	西58	28.0	203	9.4	東西	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.95	B	1.90	樹冠先端部の葉量やや疎ら。樹形・樹勢、概ね異常なし。 下記傷害は、要経過観察。 幹 開口空洞 H:0.8m 80×20×10/75cm(未発達)、損傷被覆材発達。			
127	西59	23.5	198	10.3	東西	2.0	2.5	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.19	B	1.5	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	1.5	1.0	2.12	B	2.16	樹冠全体の葉色薄く、やや疎ら。樹冠先端部(高さ20m以上)は黄葉し、着目多数。 樹冠先端部の枝葉が少なく、樹勢はやや衰退傾向。 幹 開口空洞 H:0.6m 100×10×7/45cm(未発達)、損傷被覆材発達。			
128	西60	25.0	183	9.2	東西	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.89	B	1.85	樹冠全体の葉色やや薄く、樹勢はやや衰退傾向。			
129	西61	24.0	186	10.6	東西	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.88	B	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.95	B	1.93	樹冠全体の葉色やや薄く、やや疎ら。着目多数。 樹冠先端部の枝葉が少なく、樹勢はやや衰退傾向。			
130	西62	24.5	182	10.6	東西	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.95	B	1.87	樹冠全体の葉色やや薄く、やや疎ら。 樹冠先端部の枝葉が少なく、樹勢はやや衰退傾向。			
131	西63	28.0	202	10.4	東西	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.78	B	1.79	樹形・樹勢、概ね異常なし。			
132	西64	29.5	225	9.8	東西	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.78	B	1.79	樹形・樹勢、概ね異常なし。			
133	西65	25.5	224	10.0	東西	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.78	B	1.82	樹形・樹勢、概ね異常なし。			
134	西66	28.5	226	10.3	東西	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.78	B	1.82	樹形・樹勢、概ね異常なし。			
135	西67	27.0	188	10.0	東西	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.82	B	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.95	B	1.90	樹冠先端部(高さ25m以上)の枝伸長が短く、疎ら。 樹形・樹勢、概ね異常なし。			

※各評価項目の評点は、1.0(問題なし、良好)・正常・被害なし～4.0(問題あり)

■ いちよう並木（4列）等の毎木調査結果の推移

	2023年			2024年			2025年		
	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月
東1	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東2	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東3	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東4	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東5	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東6	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東7	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東8	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東9	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東10	B	B	A	A	A	A	A	A	B
東11	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東12	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東13	B	B	A	B	B	B	A	A	B
東14	B	B	A	A	A	A	A	A	B
東15	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東16	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東17	B	B	A	A	A	A	A	A	B
東18	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東19	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東20	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東21	B	B	B	B	B	B	A	A	A
東22	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東23	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東24	B	B	A	A	A	A	A	A	B
東25	B	B	A	A	A	A	A	A	B
東26	B	B	A	A	A	A	A	A	B
東27	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東28	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東29	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東30	B	B	A	A	A	A	A	A	B
東31	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東32	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東33	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東34	A	B	A	A	A	A	A	A	A
東35	B	A	A	A	A	A	A	A	A
東36	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東37	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東38	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東39	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東40	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東41	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東42	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東43	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東44	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東45	B	B	B	B	B	B	A	A	A
東46	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東47	B	B	B	B	B	B	A	A	A
東48	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東49	B	B	B	B	B	B	A	A	A

	2023年			2024年			2025年		
	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月
東50	B	B	B	B	B	B	A	A	A
東51	B	B	B	B	B	B	A	A	A
東52	B	B	B	B	B	B	A	A	A
東53	B	B	B	B	B	B	A	A	A
東54	B	B	B	B	B	B	A	A	A
東55	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東56	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東57	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東58	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東59	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東60	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東61	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東62	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東63	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東64	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東65	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東66	B	B	A	A	A	A	A	A	A
東67	B	B	B	A	A	A	A	A	A
東68	B	B	A	A	A	A	A	A	A
西1	B	B	A	A	A	A	A	A	A
西2	B	B	A	A	A	A	A	A	A
西3	B	B	A	A	A	A	A	A	A
西4	B	B	A	A	A	A	A	A	A
西5	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西6	B	B	B	B	B	A	A	A	A
西7	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西8	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西9	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西10	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西11	B	B	B	A	A	A	A	A	B
西12	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西13	B	B	A	A	A	A	A	A	A
西14	B	B	A	A	A	A	A	A	A
西15	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西16	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西17	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西18	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西19	B	A	A	A	A	A	A	A	A
西20	B	A	A	A	A	A	A	A	A
西21	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西22	B	B	B	B	B	B	A	A	B
西23	B	A	A	A	A	A	A	A	A
西24	B	A	B	B	B	B	A	A	B
西25	B	A	A	A	A	A	A	A	A
西26	B	A	A	A	A	A	A	A	A
西27	B	A	B	A	A	A	A	A	B
西28	B	B	B	A	B	B	A	A	A
西29	C	D	D	B	C	C	B	C	C
西30	B	B	B	B	B	B	A	A	A

	2023年			2024年			2025年		
	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月
西31	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西32	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西33	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西34	B	C	C	B	C	C	B	B	C
西35	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西36	B	C	D	B	C	C	B	B	C
西37	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西38	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西39	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西40	C	D	D	C	C	C	B	B	C
西41	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西42	B	B	B	B	B	B	A	A	A
西43	B	C	D	A	B	B	A	A	C
西44	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西45	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西46	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西47	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西48	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西49	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西50	B	B	B	A	A	A	A	A	A
西51	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西52	B	B	B	B	B	B	B	A	B
西53	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西54	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西55	B	B	B	B	B	B	A	A	B
西56	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西57	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西58	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西59	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西60	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西61	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西62	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西63	B	B	B	B	B	B	A	A	B
西64	B	B	B	B	B	B	A	A	B
西65	B	B	B	B	B	B	A	A	B
西66	B	B	B	B	B	B	A	A	B
西67	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西68	B	B	A	A	A	A	A	A	B
西69	B	B	B	B	B	B	A	A	B
西70	B	B	A	B	B	B	A	A	B
西71	B	B	B	B	B	B	B	B	B
西72	B	B	A	B	B	B	A	A	B
西73	B	B	A	B	B	B	A	A	B
西74	B	B	A	B	B	B	B	A	B
西75	B	B	A	B	B	B	A	A	B
西76	B	A	A	B	B	B	A	A	A
西77	B	A	A	B	A	A	A	A	A
西78	B	A	A	A	A	A	A	A	A

樹木番号	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		総合評価
			東西	南北	
西29	31.5	270	11.1	11.4	C

※樹高、幹周、葉張り、評価については10月調査時の値



撮影日 2025/7/24

頂端部落葉、その下やや黄変
中・下部健全

撮影日 2025/8/27

頂端部落葉、その下やや黄変
下部健全

撮影日 2025/9/26

頂端部落葉、その下やや黄変(8月より黄変少)
下部健全

調査時所見(7月)

樹冠下部(高さ約10mまで)は、葉色、葉量、概ね異常なし。
樹冠中間部(高さ10~26m)は、葉色黄変、葉量疎ら、小枝枯れが散在。
樹冠先端部約6m(高さ26~31.5m)は、着葉なし。(全葉が落葉)



撮影日 2025/10/17・23

上部落葉、その下やや黄変
下部健全

植栽緑地状況：SHAKE SHACKテラス内

調査時所見(10月)

樹冠先端部約6m(高さ25~31.5m)は、着葉なし。(全葉落葉) 樹冠中間部(高さ10~25m)は、葉が小さく、葉量疎ら。
樹冠下部(高さ約10mまで)は、葉量が保たれている。着葉部は黄葉しつつある。褐変症状なし。
2024年10月期調査時に比べ、高さ25mより下部の葉量多い。

樹木番号	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		総合評価
			東西	南北	
西34	27.0	229	12.9	11.9	C

※樹高、幹周、葉張り、評価については10月調査時の値



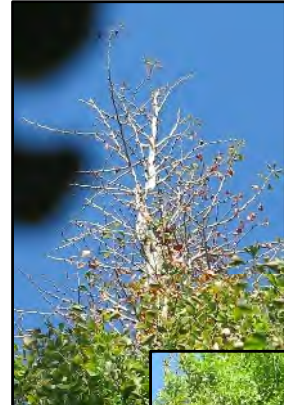
撮影日 2025/7/24
頂端褐変、落葉も多い
西側枝も一部落葉



撮影日 2025/8/27
上部褐変落葉進む
南側8m付近褐変、西側褐変



撮影日 2025/9/26
頂端落葉
南側8m付近褐変、西側褐変



調査時所見(7月)

樹冠下部(高さ20m以下)は、概ね良好。一部9mに褐変症状あり。
樹冠先端部(高さ20~27m)は、褐変葉多く、葉量疎ら、落葉が続いている。



撮影日 2025/10/23



頂部落葉、その下褐変、南側8m付近褐変



調査時所見(10月)

樹冠先端部(高さ20~27m)は、ほぼ全葉が落葉、22mに一部僅かに着葉あり。
樹冠中間部(高さ20m)以下の西側に褐変症状多く、樹冠下部の南と西側の葉量疎ら。
2024年10月期調査時に比べ、全落葉であった先端部の葉が僅かに残り、全体の早期落葉が減少。

樹木番号	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		総合評価
			東西	南北	
西36	27.5	287	10.1	11.8	C

※樹高、幹周、葉張り、評価については10月調査時の値



撮影日 2025/7/24
上部褐変、幹が見える箇所



撮影日 2025/8/27
上部褐変、一部落葉、7月より褐変進む



撮影日 2025/9/26
8月時とほぼ変化無し

調査時所見(7月)

樹冠の先端部以外(高さ20mまで)は、葉色や葉量に異常なく、概ね良好。
樹冠先端部(高さ20～27.5m)は、枝伸長短く、黄変・褐変葉が散在。葉量疎ら。



撮影日 2025/10/23
9月時より褐変部がやや進行



調査時所見(10月)

樹冠先端部(高さ19～27.5m)は、殆どの葉が落葉し、小さく黄変した葉が僅かに残る。
樹冠中間部(高さ19m)以下の西側に褐変症状が多く、高さ10～14m西側の枝葉疎ら。
2024年10月期調査時に比べ、全落葉であった先端部の葉が僅かに残り、全体の早期落葉が減少。

樹木番号	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		総合評価
			東西	南北	
西40	27.0	216	9.6	9.3	C

※樹高、幹周、葉張り、評価については10月調査時の値



撮影日 2025/7/24

上部一部のみ褐変
下部南、西側一部褐変



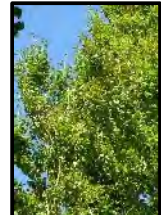
撮影日 2025/8/25

上部ほぼ良好
上部下部褐変少



撮影日 2025/9/26

上部ほぼ良好
上部下部褐変少、西側褐変有



調査時所見(7月)

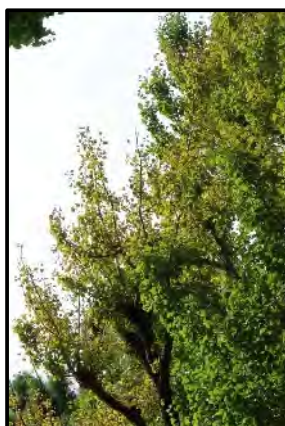
樹冠下部(高さ5~15m)は、褐変葉が散在、葉量やや疎ら。

樹冠中間~先端部(高さ15m以上)は、葉縁が僅かに黄変した葉が散在。葉量は部分的にやや疎ら。概ね異常なし。



撮影日 2025/10/23

上部落葉無いがやや褐変
下部西側褐変



調査時所見(10月)

樹冠先端部~中間部に、秋の黄葉が始まっている。葉量に大きな異常なし。樹冠中間部(高さ19m周囲)南側は枝葉がやや疎ら。

樹冠全体の南側に疎らに褐変症状あり。樹冠下部南西側(高さ9mまで)は、褐変症状多い。

2024年10月期調査時に比べ、部分落葉や褐変症状は続いているが、全体の早期落葉は大きく減少。

樹木番号	樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		総合評価
			東西	南北	
西43	29.0	262	10.7	11.3	C

※樹高、幹周、葉張り、評価については10月調査時の値



撮影日 2025/7/24

上部良好
西側一部褐変



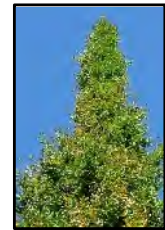
撮影日 2025/8/27

中間部に葉先褐変増



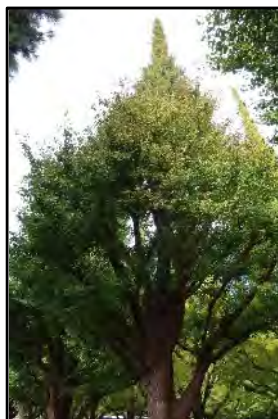
撮影日 2025/9/26

全体的に葉先褐変増



調査時所見(7月)

樹冠下部(高さ7~9m南側)の1枝(一部)に褐変症状あり。
他、葉色や葉量、樹形・樹勢、概ね異常なし。



撮影日 2025/10/23

落葉は少ないが全体的に褐変増



調査時所見(10月)

樹冠全体の葉量に大きな異常なし。
樹冠南側のほぼ全体(高さ24m以下)に褐変症状あり。樹冠下部南西側の葉量がやや疎ら。
2024年10月期調査時に比べ、部分落葉や褐変症状は続いているが、全体の早期落葉は減少。